科目名		教育	「基礎論		学年学	丝期	1年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-02
担当者		山岬	保寿		必修選	髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2四	退	
関連資格	高一(商業) 高一(保体))、高一(情報)、養教一、栄	!)、中一(社: 教一、中一	会)、高一(公 (保健)、高一	民)、中一(· (保健)	保体	.),	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラムポリシーと	の関連性			履修刘	寸象入气	产年度(読替	科目)		
1	2	3	A	В	С								

高度に発達し複雑化した現代社会において、全ての人の成長に関わる教育という営みについて、その理念や意義、その背景となる思想や 歴史を考え理解することは、教職に関する基礎的な資質を養う上で必要不可欠です。さらに、教育の原理として、教育の機会均等を理念 とする学校が果たす役割について考察するとともに、教育に関する基礎的問題を取り上げ、その背景にある要因を理解することによって 、現代の教育問題に対する分析視角を身につけることを目的とします。

学修到達目標

①教育の原理として、現代社会における教育の理念と意義を理解し、説明できる。②教育が目指す理念と学校が果たす役割について関係的に理解し、説明できる。③教育の基礎的問題を取り上げ、背景にある要因を理解し、その一つについて説明できる。④人間の特質と人間の発達要件としての環境の重要性について説明できる。⑤代表的な教育思想について理解し、説明できる。

授業の進め方

講義形式を主として進め、適宜、ワークショップ等を行います。

授美		事前事後学修の時間は1単位科目は1時	1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。							
口	テーマ	内容	3	事前事後学修						
1	ガイダンス	授業内容や進め方の説明などについて	て説明します。	シラバスを読み、授業全体のイメ ージをつかむ(4時間)。						
2	教育の理念	現代社会の特徴と人の成長及び教育の)理念について説明します。	新聞記事のスクラップブック作成 、テキストの予習(4時間)。						
3	教育の意義	現代社会における教育の重要性とその	D意義について説明します。	新聞記事のスクラップブック作成、テキストの予習(4時間)。						
4	教育と学校	教育の機会均等の理念と学校が果たす	育の機会均等の理念と学校が果たす役割について説明します。							
5	学校の目的	法的に見た学校の種類とその基礎的な	内に見た学校の種類とその基礎的な目的ついてに説明します。 E							
6	教育の使命	信州教育の歴史的観点に立った教職の	州教育の歴史的観点に立った教職の使命について説明します。							
7	教育の原理	教育の問題に関する背景の要因とその	うの問題に関する背景の要因とその原理について説明します。 ・							
8	教育の将来	教育に関する動向変化と今後に向けた	に関する動向変化と今後に向けた展望について説明します。							
9	人間の本質1	人間の新生児の特質について説明しま	間の新生児の特質について説明します。							
10	人間の本質2	発達の要件としての環境について説明 の関連についても含みます。	月します。学習指導要領・指導案と	前時の復習、第8回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。						
11	教育の思想1	子ども観、発達観、教育観の変遷にて 指導案との関連についても含みます。	Dいて説明します。学習指導要領・	前時の復習、第10回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。						
12	教育の思想2	子どもの権利、子どもの最善の利益に ・指導案との関連についても含みます	こついて説明します。学習指導要領 け。	前時の復習、第10回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。						
13	教育の歴史1	近代公教育制度の成立について説明し 関連、学生の説明力向上としての模様	ンます。学習指導要領・指導案との 経授業についても扱います。	前時の復習、第12回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。						
14	教育の歴史2	近代公教育制度の発展について説明し 関連、学生の説明力向上としての模様	ンます。学習指導要領・指導案との 経授業についても扱います。	前時の復習、第12回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。						
15	教育の歴史3	近代以降における学校教育の役割にご 学生の説明力の向上を目指します。	Dいて説明します。授業のまとめ、	前時の復習、第12回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。						
テニ	Fスト		成績評価の方法・基準							
431	学校教育の基礎知識(全訂版)」 9002719(生協で購入してくださ	(V)。)	記験:40% 5見カードを指します。S:正しく理解さ 5用しながら、論理的に自分の考え、意 を正しく理解し、論理的に説明できる。 、説明できる。C:授業で取り上げた事							
参表	考書		履修上の注意(学生へのメッセーシ	")						
	大事 大来を拓く教師のため教職課程論 いますが、1年次から用語解説を 学校・高等学校「学習指導要領」			・す。3年次までにこの科目の単位を修得 職科目履修の基礎となる科目ですので、						

													10
科目名		孝	有史		学年学	期	2・3・4年前 期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	A-02
担当者		大蔵	真由美		必修選	髸択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5	限、水曜日3	限
関連資格	高一(商業) 高一(保体))、高一(情報)、養教一、栄	1)、中一(社会 教一、中一(会)、高一(公 (保健)、高一	民)、中一(((保健)	保体	<i>5</i>),	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	カムポリシーと	の関連性			履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)		
1	2	3	A	В	С								

近世から現代にいたる日本における教育の展開を概観し、日本の教育の発展に関する歴史的知見を得るとともに、歴史的視点から現在の 学校や社会が直面しているさまざまな教育問題を読み解く力の基礎を身につけることを目的とします。

学修到達目標

本授業の到達目標は次の5点です。1.近世の教育の場について理解し、事例をあげて説明できる。2.日本における教育制度の成立とその変遷について説明できる。3.日本における教育方法の工夫について理解し、事例をあげて説明できる。4.教員免許制度の変遷について説明できる。5.現代の教育を取り巻く諸問題について関心を持つ。

授業の進め方

講義形式を主として進め、適宜、グループワーク等を行います。必要に応じて資料を配布しますが、資料は授業内容の理解を助け、更に 発展的内容を示していますので、該当する授業前に必ず読み、持参して授業に臨んで下さい。

		、該当する授業前に必ず読み、持参 事前事後学修の時間は1単位科目は1時		記載以外にも適宜課されます。				
回		事的事後子廖沙昭は1年世代日は1時		事前事後学修				
	ガイダンス	授業内容や進め方について説明します		シラバスの読み及び教育史に関して興味を持てそうなテーマを見つける(4時間)。				
2	近世の教育の場1	武家の教育について説明します。		第1回授業で配布した資料の読み 、授業時に指示された内容を行う (4時間)。				
3	近世の教育の場2	庶民の教育について説明します。		前時の復習、第2回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
4	近代の教育1	近代学校教育制度の成立について説師	明します。	前時の復習、第3回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
5	近代の教育2	近代学校教育制度の変遷について説明	明します。	前時の復習、第4回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
6	近代の教育3	大正期の自由教育の思想について説師	明します。	前時の復習、第5回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
7	近代の教育4	大正期の自由教育の実践について説師	前時の復習、第6回授業で配布した資料の読み(4時間)。					
8	近代の教育5	教材と教具について説明します。	前時の復習、第7回授業で配布した資料の読み(4時間)。					
9	戦時体制下の教育	戦時体制下の教育について説明しまっ	前時の復習、第8回授業で配布した資料の該当箇所の読み(4時間)。					
10	ここまでの授業のまとめ	第9回までの授業内容を振り返り、総	括します。	第9回までの授業内容を復習する (4時間)。				
11	昭和戦後期の学校教育制度 の成立と変遷	昭和戦後期の学校教育制度の成立と刻	変遷について説明します。	第8回授業で配布した資料の該当 箇所の読み、授業時に指示された ことを行う(4時間)。				
12	昭和戦後期の学校教育制度 を支えた思想	経験学習について説明します。		前時の復習、第11回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
13	教員免許制度	教員免許制度の変遷について説明しる	ます。	前時の復習、第12回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
14	現代の教育を取り巻く諸問 題	現代の教育を取り巻く諸問題について	て説明します。	前時の復習、第13回授業で配布した資料の読み(4時間)。				
15	まとめ	第10回から第14回の授業を振り返り、 とめを行います。	、総括します。また、授業全体のま	ここまでの授業内容を復習する (4時間)。				
テニ	トスト		成績評価の方法・基準					
使用	用しません。必要な資料を適宜 額		【察の深まりを知る為の授業内での課題へ <評価基準>S:正しく理解された授業内	7容に加え、資料やデータを沽用しつつ NA A:授業内容を正しく理解し 論理				
参	書		履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「弁		泛·教育」遠藤孝夫他著(学術図書出版) 記(三省堂) - 他者(学陽書房)						

科目名		孝	文職論		学年学	期	1年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者		小松 茂美	美・藤江 珰	子	必修選	択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1	限	
関連資格	レク・コーディ(中一(保体)	教育)、高一)、高一(保体	商業)、高一 ()、養教一、	·(情報)、中- 栄教一、中一	·(社会)、高 (保健)、高	5一(一(伊	(公民)、 保健)	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	カムポリシーと	の関連性			履修文	す象入り	学年度 (読替:	科目)		
1	2	3	Α	В	С								

教職とはどのような役割を担い使命を持つ職業なのかについて概説し、教職の意義と教員の使命・資質、仕事内容、学校の組織特性とそのあり方(チーム学校)、教員の服務と身分保障、研修等について理解を深めます。また、今の教育現場が直面している課題等についても取り上げ、学校現場の取り組みについて理解を深めます。加えて、県教育委員会の講話をとおして、教職に対する理解、関心を深めるとともに、教職が自己の適性に適った職業であるかどうかを見極める機会を提供します。

学修到達目標

求められる教員像について理解を深め、"教員"について具体的にイメージできるようになる。併せて、教員を目指すうえで、今日の教育現場の課題等について理解を深め、現状における自己課題が認識できるようになる。

授業の進め方

基本的にテキストの内容に沿う形で、講義形式主体で進めますが、パワーポイント及びプリント資料を使用し、討論の場も設け、より内容が充実したものになるようにします。教育基本法等関連する教育法規等の内容にも触れながら学習を進めます。

	内容 職課程の授業履修等について 教職論」をとおして何を学ぶか	š	事前事後学修				
		レポート①作成(4時間)					
2 教職の専門性 教員	員の歴史と専門職論		事前学習:教員の専門職論 レポート②提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録)(4時間)				
	員に求められる実践的な資質・能力 不易と流行)	Jについて	事前学習:教員に必要な資質能力 レポート②提出準備(本時の内容 を整理・記録)(4時間)				
4 教員の職務内容 教員	員の職務と校務分掌及び学校組織(チーム学校)について	事前学習:チーム学校 レポート②提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録)(4時間)				
5 教員の研修と待遇 初任	任者研修、5年経験者研修、中堅教	諭等資質向上研修等について	事前学習:教員の研修制度 レポート②提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録) (4時間)				
	員の服務及び身分保障並びに懲戒処 テスト①	し分について	事前学習:教員の服務 レポート②提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録)(4時間)				
7 初等・中等教育と教員 各株(公	校種の教員の特性と在り方及び教員 幼稚園、小学校、中学校、高等学校	事前学習:教員の仕事内容 レポート②提出準備(本時の内容 を整理・記録)(4時間)					
8 教員の安全注意義務 しき	員の安全注意義務違反について〜教 注意義務の範囲、程度及び予見のロ テスト②	事前学習:教員の過失 レポート②提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録)(4時間)					
	いじめ」とは(定義および具体的事 員の注意義務及び「いじめ」による	事前学習:いじめの現状 レポート②提出(4時間)					
10 教員を目指すうえでの心構 長野	野県教育委員会の講話		事前学習:教員の不祥事 レポート③作成(本時の学習内容 整理(4時間)				
11 学校の危機管理 事品	故、事件発生時の対応について		事前学習:災害や事故発生時の対 応 レポート③提出(4時間)				
12 教員の懲戒権と体罰 「仮	戒の種類について 体罰」について テスト③		事前学習:教員による体罰 レポート④提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録) (4時間)				
13 特別支援教育について 特別	別支援教育の理念及び推進について		事前学習:特別支援教育 レポート④提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録) (4時間)				
14 学校の果たすべき役割 今日	日の学校教育の目指すべきものにこ	りいて考える	事前学習:学校教育への期待 レポート④提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録) (4時間)				
15 まとめ 教員・孝	員を目指すという進路選択について 教員の厳しさと魅力 ・教員採用記	- 式験について	事前学習:学校現場の課題 レポート④提出準備(本時の内容 を確認し整理・記録)(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準					
「教職論」教職問題研究会編(ミネルウ協で購入してください。)		員の使命等の理解を深め、討論等の場で り適切な意見を述べることができる。B	:教職の意義や教員の使命等について理 ることができる。C:教職の意義や教員				
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「学校経営質疑応答集1・2」(第一法規 「生徒指導提要」文部科学省編		教職の使命(厳しさ)とやりがい(魅力)を理解し、教員になるうえで不足しているものに気づき、その課題解決に積極的に取り組めるようになってください。学校現場での経験を講義に活かします。					

科目名		学校	どの制度		学年学	期	2・3・4年後 期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	A-14
担当者		御代	田 桜子		必修選	訳	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4	限、水曜日4	狠
関連資格	高一(商業) 高一(保体)	、高一(情報)、養教一、栄	(1)、中一(社: (教一、中一)	会)、高一(公 (保健)、高一	民)、中一(f (保健)	呆体.),	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロマ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラ ムポリシーと	の関連性			履修刘	す象入り	芦年度(読替	科目)		
1	2	3	A	В	С								

現在の学校教育は、社会的諸条件の影響を受けながら、公法的秩序のもとで行われています。そのため、教師を目指す私たちは、教育的 諸活動の諸々の側面に関心を寄せ、学校教育を成り立たせている諸条件、組織関係等に関心を払い、それらを検討、見直していくことが 必要なのです。本授業では、現在の学校教育を支える基本的事柄を取り上げ、現在の学校教育を理解することを目的としています。さら に、それらを検討、見直すための視点を得ることをも目的としています。

学修到達目標

①現代の公教育を支えている基本原理を理解し説明できる。②教育制度を支えている法制、教育行政の基本を理解し、文部科学省及び教育委員会の役割について説明できる。③学校制度の基本を理解し、身近な学校の組織運営の特徴について説明できる。④学校と地域の連携及び学校安全について理解し説明できる。⑤制度の意義及び課題について自分なりの考えを持つことができる。

授業の進め方

講義形式を主として進め、適宜、グループワーク等を行います。必要に応じて追加資料を配布しますが、資料は授業内容の理解を助け、 更に発展的内容を示していますので、該当する授業前に必ず読み、持参して授業に臨んで下さい。

授業	削画(各回のテーマ等)※	事前事後学修の時間は1単位科目は1時	時間、2単位科目は4時間が目安です。	記載以外にも適宜課されます。					
回	テーマ	内容	容	事前事後学修					
1	ガイダンス	授業内容や進め方の説明など		事前にシラバスを読んでくる。 新聞に目を通し教育制度に関する 時事問題を一つ以上集めておく。					
2	学校制度の基本原理(1)	学校教育と国民主権及び法律主義の問	関係について説明します。	第1回授業で配布された資料①の 読み(4時間)					
3	学校制度の基本原理(2)	教育行政・学校の一般行政からの独立 いて説明します。	立について、その考え方と背景につ	第2回授業で配布された資料②の 読み (4時間)					
4	学校制度の基本原理(3)	学校教育の地方分権と地方自治につい 明します。	って、その考え方と背景について説	第3回授業で配布された資料③の 読み (4時間)					
5	学校制度の基本原理(4)	学校教育の一定水準の確保と機会均等いて説明します。							
6	学校制度の基本原理(5)	産業革命と市民革命について、そのま	第5回授業で配布された資料⑤の 読み (4時間)						
7	中央教育行政の役割と学校 制度	文部科学省の役割と学校教育とのかな	第6回授業で配布された資料⑥の 読み (4時間)						
8	地方教育行政の役割と学校 制度	教育委員会の役割と学校教育とのかた	第7回授業で配布された資料⑦の 読み (4時間)						
9	学校と教員人事の制度 (1)	教員の養成・採用・研修の考え方とる	第8回授業で配布された資料®の 読み (4時間)						
10	学校と教員人事の制度 (2)	教員の服務・監督、懲戒処分と分限处明します。	心分の考え方とその運用について説	第9回授業で配布された資料®の 読み (4時間)					
11	学校の組織運営	学校と教育行政とのかかわり、校務分ます。	う掌、地域連携などについて説明し	第10回授業で配布された資料⑩の 読み。母校や教育実習先のIP、学 校要覧等で学校の組織を確認する					
12	学校の危機管理	子どもをめぐる物的事故や人的事故の 説明します。	D代表例と事前・事後対応について	第11回授業で配布された資料⑪の 読み。 (4時間)					
13	これからの学校の制度	チーム学校と「開かれた学校づくり」 会を含む)について、政策の動向と5	(学校運営協議会、地域学校協議 た進事例に基づき説明します。	第12回授業で配布された資料⑫の 読み。都道府県・市町村の教育計 画を調べてくる。 (4時間)					
14	諸外国の学校制度の改革	欧米やアジアの学校制度の改革動向な	を説明します。	第13回授業で配布された資料®の 読み。 (4時間)					
15	まとめ	今日の学校制度の改革動向や学校現場 義全体のまとめを行ないます。	前時までに配布の資料①から⑭ま での読み。(4時間)						
テニ	トスト		成績評価の方法・基準						
テンし	キストは使用しません。必要な資 ておいてください。	詳料を適宜配布します。必ず熟読し、保管	ペート:30% 質問を記入するもの、レポートとは期末 養及び問題点についての考えを資料やデ できる。A:講義内容を正しく理解し、制 の考えを論理的に説明できる。B:講義内 いて説明することができる。C:講義内容 質について説明することができる。						
_	考書 教育小六法」市川須美子。小野田	日正利、勝野正章、窪田眞二、中嶋哲彦、	履修上の注意(学生へのメッセージ) この授業では、調べ学習やグループ討議・発表を、複数回、取り入れます。						
成	ストインストールスティン、インドに 鳥隆編(学陽書房) 未来を創る教育制度論」川口洋営		この授業では、調べ字質やグルーノ討議・発表を、複数回、取り入れよす。 積極的な授業への参加が不可欠です。						

科目名		教育	がと発達		学年学	期	2年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	A-18
担当者		川島一夫	モ・岸田 幸	弘	必修選	髮択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日5四	退	
関連資格	レク・コーディ(刺 中一(保体)	教育)、高一()、高一(保体	(商業)、高一 :)、養教一、「	·(情報)、中- 中一(保健)、	-(社会)、高 高一(保健)	ந்—()	公民)、	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	・ ムポリシーと	の関連性			履修文	才象 入学	芦年度(読替	科目)		
1	2	3	A	В	С								

学校での教育活動に必要な、学習と発達に関する教育心理学の基本的な理論や考え方について講義します。この講義を通して、学習のメ カニズム、社会性とパーソナリティ、心身の発達と個人差に関する知識と考え方を身につけられるようにします。同時に、それらの知識 や考え方を教育現場に応用するための方法や視点を学び、児童・生徒の知・情・意の発達への効果的な支援について理解を深められるよ うにします。

学修到達目標

児童・生徒の学習や発達に関して知識として説明できるだけでなく、教職に就いた時に正しい児童生徒理解に役立たせることができるようになる。それによって授業や学級経営に自信を持つことができるようになる。

授業の進め方

|講義の他,グループディスカッションやグループワークを行い,理解を深めます。

授業	業計画(各回のテーマ等)※	事前事後学修の時間は1単位科目は1時	持間、2単位科目は4時間が目安です。	記載以外にも適宜課されます。					
回	テーマ	内容	Š	事前事後学修					
1	授業ガイダンス	教育と発達の意味について、教育心理 いて理解し、教育と発達を学ぶ意義を	里学・発達心理学の概念と内容につ を理解します。 (岸田)	教育と発達の意味について、学校 ではどのように活用するのかレポ ートする(4時間)					
2	ほめることの大切さ①	条件づけの基本として古典的条件づけ 行動理論の立場から人の行動の獲得は さについて教育的な視点から考えます	こついて、とくにほめることの大切	行動理論について、学校ではどの ように活用するのかレポートする (4時間)					
3	ほめることの大切さ②	よい行動の獲得には観察学習や自己強理解し、教師が行っている教育的行為学びます。 (岸田)	強化による学習が有効であることを 急をこれらの理論で説明できるよう	観察学習や自己強化について、学校ではどのように活用するのかレポートする (4時間)					
4	人のやる気を考える①	学習性無力感や統制、自己効力感の构面ではこれらの考え方を効果的に活用 (岸田)	既念は人のやる気と関係し、学習場 用することの大切さを学びます。	自己効力感について、学校ではど のように活用するのかレポートす る(4時間)					
5	人のやる気を考える②	学習や対人行動の結果をどう認知するが成立するにはどうしたらよいかを、)	るか、内発的に動機づけられた学習 理論と方法から学びます。(岸田	内発的動機づけについて、学校ではどのように活用するのかレポートする(4時間)					
6	学校カウンセリングの大切 さ	誰もが多くの発達課題に直面します。 るための理論と方法を、事例を交えて	生もが多くの発達課題に直面します。幼児、児童、生徒の困難に対応するための理論と方法を、事例を交えて学びます。(岸田) ど級集団の特殊性や関係性、学級の雰囲気などが、授業における学習効						
7	学級と学習①	学級集団の特殊性や関係性、学級の 果や人間関係に与える影響を考え、 足せる方法を学びます。(岸田)	学級集団の特殊性や関係性について、学校ではどのように活用するのかレポートする(4時間)						
8	学級と学習②	学級集団の様相を客観的にアセスメン 立たせるための理論と方法を、実践を	人間関係や集団の育成について、 学校ではどのように活用するのか レポートする (4時間)						
9	ピアジェの発達段階	ピアジェの認知の発達理論について、 て講義をします。 (川島)	ピァジェの発達段階について、学 校ではどのように活用するのかレ ポートする(4時間)						
10	子どもはどこまで大きくな るの	身体の発達と遺伝について、教科書を します。 (川島)	を中心にビデオ等を使用して講義を	身体の発達と遺伝について、学校 ではどのように活用するのかレポ ートする(4時間)					
11	モンテッソーリ教育で子ど もの本当の力を引き出す!	モンテッソーリ教育で子どもの本当 <i>0</i> (川島)	り力を引き出す!を読み討論する	モンテッソーリ教育で子どもの本 当の力を引き出す!の討論レポー ト を提出する。(4時間(4時間					
12	人格の発達について考える	フロイトの発達段階、エリクソンのタ 科書を中心にビデオ等を使用して説ロ	発達段階、自我同一性について、教 月します。 (川島))	フロイトの発達段階について、学 校ではどのように活用するのかレ ポートする(4時間)					
13	頭が良いってどういうこと?	知能の発達と知能検査について、教 明します。 (川島)	斗書を中心にビデオ等を使用して説	知能検査について、学校ではどの ように活用するのかレポートする (4時間)					
14	親と子のつながり(家族関 係の発達)	乳児は3ヵ月を過ぎると、次第に母親 学ぶことを理解します。また、そのま 、身体的接触による愛着に基づくこと	との愛着を基本とした人間関係を 基本は2次的動因によるものでなく とを学びます。 (川島)	母親との愛着の知識について、学 校ではどのように活用するのかレ ポートする(4時間)					
15	「子どもの才能は3歳、7歳 、10歳で決まる!」を考え る	「子どもの才能は3歳、7歳、10歳で治す。 (川島)	央まる!」から発達と教育を考えま	「子どもの才能は3歳、7歳、10歳 で決まる!」の討論レポート を提 出する。(4時間)					
テニ	トスト		成績評価の方法・基準						
464 「1 457 「房	やさしい教育心理学」鎌原雅彦・ 11220591(生協で購入してくださ 図で理解する発達」川島一夫・述 「1230493(生協で購入してくださ モンテッソーリ教育で子どもの本 トンテッソーリ教育で子どもの本 アどもの才能は3歳、7歳、10歳 皆(幻冬舎新書) ISBN:978-43。	い。) 起源生編(福村出版) ISBN:978- い。) 、当の力を引き出す!」藤崎達宏著(三笠書 で購入してください。) で決まる!一脳を鍛える 10の方法」林 成 14981997	レポート:50% 小テスト:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、てレポートに取り組み、小テストでは、解し、積極的な探求姿勢をもってでまる。B:授業内容のおおよそを理解しみ、小テストが解ける。C:授業の内容のトに誠実に取り組み、授業で示した例と)、					
参和	学書		履修上の注意(学生へのメッセーシ						
授美	葉時に指定します。		レポートは基本的にワープロ・A4版で携なる可能性があります。期末試験はあり とペ、授業中のスマホでは禁止です。単)ません。★レボートのネットからのコ					
			•						

科目名		特別支	援教育概論		学年学	期	2年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	A-12
担当者		小島 哲也	1・内藤 千	一尋	必修選	訳	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日3	限、金曜日2四	狠
関連資格	高一(商業) 高一(保体))、高一(情報)、養教一、栄	()、中一(社: 教一、中一	会)、高一(公 (保健)、高一	民)、中一(q (保健)	呆体	;),	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	カムポリシーと	の関連性			履修丸	才象入 气	产年度(読替	科目)		
1	2	3	A	В	С								

インクルージョン(共生)理念の普及とともに教師を志す者すべてが特別な教育的ニーズをもつ子どもについて正しく理解し、適切な対応ができることが求められています。この授業は、特別支援教育の歴史と動向、現状と課題について基礎的知識を習得し理解を深めることを目的に、3つの主要テーマ(特別支援教育とは何か、子どもの発達と障害、特別支援教育の現状と課題)について解説します。

学修到達目標

- ①特別支援教育の歴史と動向に関する基礎的知識を習得している。 ②障害のある子どもの発達と障害に関する基礎的知識を修得している。 ③特別支援教育の現状と課題について理解している。

授業の進め方

講義形式を基本に進めます。授業の学習内容によりグループワークや討論も取り入れます。

1 ガイダンス 授業の目的と内容を説明するとともに事前事後学修の方法について解説 合った 設立 たまた 現場後の にます。 (内藤・小島)	にも適宜課されます。	時間、2単位科目は4時間が目安です。	事前事後学修の時間は1単位科目は1時	(計画(各回のテーマ等)※	授美
2 特別支援教育とはなにか① 特別支援教育の理念と意義について解説します。(内藤) 授業ノートを、調べをする(4 特別支援教育とはなにか② 特別支援教育の歴史と動向について解説します。(内藤) 授業ノートを、調べをする(4 特別支援教育とはなにか③ かが国の特別支援教育の歴史と動向について解説します。(内藤) 授業ノートを、調べをする(6 特別支援教育とはなにか④	事前事後学修	容	内容	テーマ	□
特別支援教育とはなにか② 特別支援教育の歴史と動向について解説します。 (内藤) 調べをする (人物) 接業ノートを	修(学習)計画を作成す 、授業ノートをまとめ次 下調べをする(4時間)	に事前事後学修の方法について解説		ガイダンス	1
特別支援教育とはなにか② 特別支援教育における近年の動向について解説します。 (内藤)	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)		特別支援教育の理念と意義について角	特別支援教育とはなにか①	2
特別支援教育とはなにかの 諸外国における特別支援教育の動向について解説します。 (内藤) 授業ノートを	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	解説します。(内藤)	特別支援教育の歴史と動向について角	特別支援教育とはなにか②	3
1 行動文接教育とはなにから 部外的でありが到文接教育の役割と課題について解説します。 (内 接業 / ートを 調べをする (4 特別支援教育とはなにから	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	の動向について解説します。(内藤	わが国の特別支援教育における近年の)	特別支援教育とはなにか③	4
7 中間まとめ 講義内容のまとめと補足、質疑応答を行います。(内藤・小島) これまでの授資間内容を確認 8 子どもの発達と障害① 脳と中枢神経系、その発達について解説します。(小島) 7 ともの発達と障害② 感覚と運動の発達と障害について解説します。(小島) 7 ともの発達と障害② 8 対と重動の発達と障害について解説します。(小島) 7 ともの発達と障害③ 8 対と連動の発達と障害について解説します。(小島) 7 ともの発達と障害③ 8 対象と言語・コミュニケーションの発達と障害について解説します。 7 技業ノートを認べをする(小島) 7 ともの発達と障害③ 8 対象をする(小島) 7 ともの発達と障害③ 8 対象をする(小島) 7 ともの発達と障害③ 8 対象をする(小島) 7 ともの発達と障害。 7 対象をする(小島) 7 対象を変勢をあるともに、解析的なを準備・ 7 対象のまとめ 7 は解析の表法・基準 7 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 8 対象を変勢をもって課題に対象にと思いている。 8 対象が多を重解し、生きの・ 8 対象が多を重解し、生きの・ 8 対象が多を重解し、体験を変勢をもって課題に対象にに対り組んで、 8 対象が多を重解し、を変勢をもって課題に対象には、 8 対象が多を重解し、を変勢をもって課題に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)			特別支援教育とはなにか④	5
7 中間まとめ	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	割と課題について解説します。(内	学校教育における特別支援教育の役割 藤)	特別支援教育とはなにか⑤	6
8	の授業ノートを振り返り を確認する。次回講義の する(4時間)	を行います。(内藤・小島)	中間まとめ	7	
10 子どもの発達と障害③ 認知と言語・コミュニケーションの発達と障害について解説します。	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)		子どもの発達と障害①	8	
11 1 1 1 1 1 1 1 1	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	説します。(小島)	子どもの発達と障害②	9	
12 特別支援教育の現状と課題 言語・聴覚障害のある子どもたちの特別支援教育について解説します。	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	発達と障害について解説します。	子どもの発達と障害③	10	
13	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)		ます。(小島)	(1)	11
14 特別支援教育の現状と課題 外国籍・貧困・虐待等の社会的問題と特別支援教育との関連について解 授業ノートを 間内容を準備 15 授業のまとめ これまでの講義内容をまとめ質疑応答を行います。(小島・内藤) 全授業ノートを に向けた準備 全援業ノート に向けた準備 全援業ノート に向けた準備 では、	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	特別支援教育について解説します。	言語・聴覚障害のある子どもたちの* (小島)	特別支援教育の現状と課題 ②	12
15 授業のまとめ	トをまとめ次回講義の下 る(4時間)	子どもたちの特別支援教育について	発達障害 <asd, adhd="" ld,="">のある子 解説します。 (小島)</asd,>	特別支援教育の現状と課題 ③	13
デキスト	トをまとめ最終授業の質 準備する(4時間)	と特別支援教育との関連について解	外国籍・貧困・虐待等の社会的問題 & 説します。(内藤)	特別支援教育の現状と課題 ④	14
(講義にて配布します。) レポート:50% 定期試験:50% 成績評価は原則として以下の基準に基づいて行う。 S: 授業内容を高度に理解するとともに、積極的な探求姿 組んでいる。A: 授業内容を理解し、探求姿勢をもって課 B: 授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題に誠実にI業内容をある程度理解し、与えられた課題に取り組んでい	ートを振り返り定期試験 準備をする(4時間)	答を行います。(小島・内藤)	これまでの講義内容をまとめ質疑応答	授業のまとめ	15
S: 授業内容を高度に理解するとともに、積極的な探求姿 組んでいる。A: 授業内容を理解し、探求姿勢をもって課 B: 授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題に誠実にI 業内容をある程度理解し、与えられた課題に取り組んでは		成績評価の方法・基準		スト	テニ
会 安 車	探求姿勢をもって課題にとりって課題にとりましている。 は実に取り組んでいる。C:授且んでいる。	S: 授業内容を高度に理解するとともに、 組んでいる A: 授業内容を理解し 探求		義にて配布します。)	(講
一		履修上の注意(学生へのメッセージ		書	参
「発達障害白書(最新年度版)CD-ROM付」日本発達障害連盟著日本発達障害 連盟編(明石書店) ISBN: 9784750347202 「特別支援教育の基礎」宮本信也ほか著(東京書籍) ISBN: 9784487808601	- フィスアワーでも対応しま	授業内容に関する質問や意見は、授業時す。	É達障害白書(最新年度版)CD-F B編(明石書店) ISBN:978475	連	

- 6										_				
	科目名	教育課程総論				学年学	期	2年前期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	W-02
	担当者	山﨑 保寿				必修選	択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2		
	関連資格	連資格 い・コーディ(教育)、高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、同中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高							履修条件	教職	課程履修者			
	ディプロ`	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	の関連性			履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)			
	1	② ③ A B				С								
Γ														

学校における教育活動の全体計画である教育課程(カリキュラム)及びその編成に関する基本的事項を理解したうえで、カリキュラム・マネジメントの理論と実際を学びます。学習指導要領の変遷とその背後にある学力問題や学力観の変化をたどり、新学習指導要領が目指す方向とその重点事項を明らかにし、さらに、学校における教育課程とカリキュラム・マネジメントの事例を取り上げ、その内容と特色について考察していきます。

学修到達目標

1. 教育課程の意義と役割について理解し、説明できる。2. 学習指導要領の変遷とその背後にある学力問題や学力観の変化、新学習指導 要領が目指す方向について理解し、説明できる。3. 教育課程を編成するために必要な基本的事項および編成の方法について理解し、説明 できる。4. 学校における教育課程の事例とその特色について理解し、説明できる。

授業の進め方

講義形式を主としますが、発表や協議(ディスカッション)の時間も設定されています。配布資料や時間外学修は、授業内容の理解を助け発展されるよのなので、該当まる授業前までに必ず読み或けま施し、授業に関する下さい。

		る授業前までに必ず読み或は実施し、授業に臨んで下さい。	
-		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	
口	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス、教育課程の意義	学校における教育活動の全体計画、社会における役割	シラバスの読み、授業全体のイメ ージをつかみ、興味が持てそうな 内容を見つける(4時間)。
2	教育課程の基礎理論	発達段階と教育課程、経験主義、系統主義、編成の基本原理	第1回授業で配布した資料①の読み、授業時に指示した内容を行う (4時間)。
3	教育課程の法的根拠	教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則	前時の復習、第2回授業で配布した資料②の該当箇所の読み(4時間)。
4	教育課程と学習指導要領	学習指導要領に基づく教育課程の編成、<探究課題の指示1>	前時の復習、第2回授業で配布した資料②の該当箇所の読み(4時間)。
5	戦後学習指導要領の成立	戦後学習指導要領の変遷(昭和20年代~30年代)	前時の復習、第2回授業で配布した資料②の該当箇所の読み(4時間)。
6	学習指導要領の変遷	学習指導要領の変遷(昭和40年代~50年代)	第2回から第5回までの授業の復習 (4時間)。
7	平成期学習指導要領の特徴	新しい学力観とその考え方(平成元年~10年)	第6回授業で配布した資料③の読み、授業時に指示した内容を行う(4時間)。
8	確かな学力と一部改正	確かな学力の経緯と学習指導要領一部改正(平成15年)	前時の復習、第7回授業で配布し た資料④の読み(4時間)。
9	現行学習指導要領の特徴	現行学習指導要領の特徴と重点事項(平成20・21年)	前時の復習、第8回授業で配布し た資料⑤の読み(4時間)。
10	教育課程編成と地域連携の 在り方、配慮事項	地域と連携した教育課程編成とその配慮事項、地域連携と教科・領域の 横断、単元・学期・学年の複合、〈探究課題の指示2〉	第2回から第9回までの授業の復習 (4時間)。
11	新学習指導要領が目指す方 向とその検討	新学習指導要領に関する改訂の背景と経緯、目指す方向と重点事項、学力の3要素の検討、主体的・対話的で深い学びの意味	授業配布資料に基づいた次時の予習、教科書指定箇所の予習(4時間)。
12	新学習指導要領と教育課程 の編成、キャリア教育	社会に開かれた教育課程と地域連携、キャリア教育の実践事例、カリキュラム評価の考え方、特別講師による授業も計画する	授業配布資料及び教科書指定箇所 の予習、課題レポートに関する論 文検索と収集(4時間)。
13	キャリア教育とカリキュラ ム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの理論、キャリア教育とカリキュラム・マネジメント、カリキュラム評価の観点と方法	授業配布資料及び教科書指定箇所 の予習、論文検索と収集、課題レ ポート作成(4時間)。
14	教科・領域を横断した教育 課程、キャリア教育	教科等横断的内容の事例とキャリア教育、単元・学期・学年を複合した事例とキャリア教育	課題レポートの作成と発表・プレゼンテーションの練習(4時間)。
15	カリキュラム・マネジメン トの事例の検討と発表	堅実なカリキュラム・マネジメントの事例とグループディスカッション 、全体発表	課題レポート及び発表・プレゼン テーションの修正、授業の復習 (4時間)。
テ	キスト	成績評価の方法・基準	
Γ:	未来を拓く教師のための教職課程	呈論」山﨑保寿編(学事出版)(生協で購入 受講態度:40% レポート:40% 定期	試験:20% 想・質問)、レポート(授業内容の理解度
الٍ'	てください。)	受講態度(授業への意欲、毎時間後の感	は・質問)、レボート(授業内容の理解度

- してください。) 「キャリア教育の基礎・基本」山﨑保寿編(学事出版) ISBN:978-4-7619-2020-3 (生協で購入してください。) 「小学校学習指導要領」(東洋館出版社)(生協で購入してください。) 「中学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。)

受講態度(授業への意然、毎時間後の感想・質問)、レポート(授業内容の理解度や考察の深まりを知る為の授業内小レポートやワーク)、課題(期末課題)を総合して評価します。<評価基準>S:正しく理解された授業内容に加え、資料やデータを活用しつつ、論理的に自分の考え、意見を述べている。A:授業内容を正しく理解し、論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄を理解し説明できる。C:授業で取り上げた事柄を理解している。

「「社会に開かれた教育課程」のカリキュラム・マネジメント」山﨑保寿著 (学事出版) ISBN:978-4-7619-2396-9 「「社会に開かれた教育課程」を実現する教育環境」山﨑保寿編

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分「教育課程及び指導法に関する科目」に該当する科目です。教職課程履修者を対象とする必修科目ですので、3年次までに本科目の単位を修得するようにして下さい。

科目名	道徳の指導法					⊭期	3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	A-01
担当者	征矢野 達彦					髮択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4	限、木曜日2	狠
関連資格	高一(商業) 高一(保体)	、高一(情報 、養教一、栄	{)、中一(社: {教一、中一	民)、中一(1 (保健)	呆体.),	履修条件	教職	課程履修者				
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラ ムポリシー る	この関連性			履修文	付象入 🖰	学年度(読替	科目)		
1	② ③ A B				С								

- ・学習指導要領改訂で、確かな学力を基盤とした生きる力の育成を目的に、道徳教育は最重点課題の一つとして、道徳の教科化が決まり、小学校では30年度から中学校では31年度から「道徳科」として実施されます。そこで、その課題や今後の具体的な授業の工夫等を扱い理解を深めます。 ・この講義では、上記を踏まえ道徳の理論と指導法について講義します。

学修到達目標

道徳教育の目標の理解と共に、道徳教育の理論と指導法の理解と実践力を身につける。

授業の進め方

・道徳教育の現状を踏まえ、道徳授業の基礎・基本(道徳の指導案の書き方、心に響く道徳の授業のあり方、道徳学習方法論、教材開発 等)の理解を深めます。・後半に模擬授業を行い、道徳の授業の実践力を高めます。

		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	
口	テーマ	内容	事前事後学修
1	道徳の理論 I	道徳教育の基礎理論	課題レポート – 道徳教育の基礎理 論 – (4時間)
2	授業の理論Ⅱ	道徳性とは何か、道徳の目標	課題レポートー道徳教育の目標 - (4時間)
3	授業の理論Ⅲ	道徳性の発達理論、道徳性発達理論に基づく道徳教育	課題レポート――道徳性発達理論 (4時間)
4	授業の理論Ⅳ	日本における道徳教育の歴史、諸外国の道徳教育	課題レポートー道徳教育の歴史 - (4時間)
5	授業の指導法 I	道徳教育の計画、道徳科の基本方針	課題レポートー道徳科の目標 - (4時間)
6	授業の指導法Ⅱ	道徳科の学習指導の展開、道徳教材の活用	課題レポート-学習指導案 - (4時間)
7	授業の指導法Ⅲ	道徳科における問題解決的な学習	課題レポート-問題解決学習 - (4時間)
8	授業の指導法IV	道徳科における体験的な学習	課題レポート-体験的な学習 - (4時間)
9	授業の指導法V	道徳科の多様な授業展開例	課題レポート-多様な道徳授業展開-(4時間)
10	授業の指導法VI	教師に求められる道徳的指導力	参観授業観点別評価表の作成 (4時間)
11	学習指導案の作成	学習指導案の作成	指導案作り(4時間)
12	模擬授業 I	模擬授業(1) 導入の工夫	本日の模擬授業振り返りレポート ①(4時間)
13	模擬授業Ⅱ	模擬授業 (2) 発問の工夫	本日の模擬授業振り返りレポート ②(4時間)
14	模擬授業Ⅲ	模擬授業 (3) 板書の工夫	本日の模擬授業振り返りレポート ③(4時間)
15	まとめ	道徳の評価、全体でのシェアリング	総合レポート(4時間)
テニ	Fスト	成績評価の方法・基準	

「道徳の理論と指導法」柳沼 良太著(図書文化)(生協で購入してください 。 「中学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。)

出席レポート:30% レポート:40% 模擬授業30% S:授業内容を確かに理解し、道徳の授業に探求姿勢を持って意欲的に取り組み、創意工夫した道徳の授業ができる。A:授業内容を確かに理解し、道徳の授業に意欲的に取り組み、論理的な指導案が書け、発問を工夫した授業ができる。B:授業内容を理解し、道徳の授業に意欲をもって取り組み、指導案がかけ、道徳の授業ができる。C:授業内容を概ね理解して、道徳の授業に取り組み、児童・生徒のための授業をしようとする。

参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ)

「やさしい道徳授業のつくり方」鈴木由美子・宮里智恵 「心に響く道徳教育講義」赤坂 雅裕 著著(北樹出版) 編編 (溪水社) 模擬授業とレポートの提出を単位認定の条件とします。文部科学省発行の『中 学校学習指導要領』と『中学校学習指導要領解説道徳編』を事前に読んでおい て下さい。

科目名		学年学	⊭期	2年前期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	A-01			
担当者	征矢野 達彦・岸田 幸弘					氎択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、金曜日6限		
関連資格	高一(商業) 高一(保体)	、高一(情報、養教一、栄	()、中一(社: :教一	会)、高一(公	民)、中一(保体	:),	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロマ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラ ムポリシー る	この関連性			履修文	付象入 🖰	学年度(読替	科目)		
1	2	С											

特別活動の意義や目的、実施上の課題等について講義します。学級会活動・児童生徒会活動・学校行事・総合的な学習・部活動についての特質を把握して、活動の実際例や指導案の検討、評価のあり方、実施の意義と方法が分かるように学びます。

学修到達目標

特別活動の内容と指導方法、教育課程における意味についての理解を深める。

授業の進め方

- ・前半は講義形式を中心として基礎知識を習得します。・後半では、学校現場の参観実習、外部講師の話、グループワーク等を取り入れ、理解を深めます。

授訓	禁計画(各回のテーマ等)※ テーマ	事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。 内容	記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修
	, .		
1	特別活動とは何か	教育課程の中での特別活動の位置づけ (征矢野・岸田)	小中時代の活動の整理(4時間)
2	特別活動の原理	学習指導要領における特別活動の目標、内容、活動 (征矢野)	テキスト第2章1節の読み(4時間)
3	特別活動と教育課程の編成	学級会活動・児童生徒会活動・学校行事の年間指導計画と実践 (征矢野)	テキスト第2章2節の読み(4時間)
4	特別活動の内容とその指導	教科学習や道徳、総合的な学習の時間、部活動との関連 (征矢野)	テキスト第2章2節の読み(4時間)
5	学級活動の意義と展開①	学級活動の内容とその指導について資料の具体事例1~3を通しての解説 (岸田)	テキスト第3章1節の読み(4時間)
6	学級活動の意義と展開②	学級活動の内容とその指導について資料の具体事例4~6を通しての解説 (岸田)	テキスト第3章1節の読み(4時間)
7	学級活動と他の教育活動	学級活動と人間関係づくり (岸田)	テキスト第3章1節の読み(4時間)
8	学級活動の実践事例	学級活動の実践事例の発表とグループワークでの検討 (岸田)	学級活動の事例集め(4時間)
9	学級活動と人間関係づくり	学級活動とより良い人間関係づくりの意義 (岸田)	学級活動の課題レポート(4時間)
10	生徒会活動の意義と展開と 課題	生徒会活動の目標と意義、内容と指導について具体事例を通しての解説 、生徒会活動を自主的・自治的活動とするための理念や方法 (征矢野)	テキスト第3章2節を読む(4時間)
11	学校行事の意義と展開	学校行事の目標と意義、内容と指導について具体事例を通して解説 (征矢野)	学校行事の課題レポート(4時間)
12	学習指導案の作成	学習指導案の作成 (征矢野)	学習指導案の見直しと作成(4時間)
13	模擬授業 I	模擬授業(1) 導入の工夫 (征矢野)	本時の模擬授業学習シートの記入 ①(4時間)
14	模擬授業Ⅱ	模擬授業(2) 発問・板書の工夫 (征矢野)	本時の模擬授業学習シートの記入 ②(4時間)
15	まとめ	特別活動の評価、時数、展開に関する解説、シェアリング (征矢野・ 岸田)	総合レポート(4時間)
テー	ニスト	成績評価の方法・基準	

テキスト

「中学校学習指導要領 解説 特別活動編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「「キーワードで学ぶ特別活動 生徒指導 教育相談」」有村久春著著(金子書房) ISBN:978-4760823956 (生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

レポート: 40% 出席レポート: 30% 模擬授業: 30% S:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現できる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことを理解して、立く文章で表現できる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことを理解し取り組み、授業で学んだことについて概ね理解し、文章で表現できる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、授業で学んだことを表現できる。

参考書

「新訂 版社) キーワードで拓く新しい特別活動」日本特別活動学会編(東洋館出 他の参考書については、講義の中で指示します。

- 履修上の注意(学生へのメッセージ)
 - ・模擬授業とレポートの提出を単位認定の条件とします。・文部科学省『中学校学習指導要領解説書 特別活動編』を事前に読んでおいて下さい。

科目名	総合的な学習の時間の指導法					⊭期	3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	A-17
担当者	,	岸田 幸弘	・征矢野	必修選	氎択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4	限、木曜日4	限	
関連資格	高一(商業) 高一(保体)	÷),	履修条件	教職課程履修者									
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラムポリシーと	の関連性			履修刘	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)		
1	2	С											

総合的な学習の時間について、その概要や指導法を身につけます。課題を見付け、素材を分析し、自ら学び自ら考えるといった学習の計画方法や授業方法を身につけます。学習成果をICTや言語活動等を用いて表現する方法を学んでいきます。

学修到達目標

総合的な学習の時間の特性を生かして、素材・教材研究を行いながら、指導案を作成し、授業を行うことができる。

授業の進め方

|講義のほか、具体的な素材研究や教材研究を進め、年間指導案の作成から学習指導案を作成し、模擬授業を展開します。

_			は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。					
旦	テーマ	内名	\$	事前事後学修				
1	総合的な学習の時間の概要	ガイダンス及び総合的な学習の時間の	D概要について学びます。	テキストP1〜9の改訂の要点をノートにまとめる。事後は目標を暗記する。 (4時間)				
2	総合的な学習の時間の具体的な活動の様子	特色ある教育活動と横断的・総合的な	な指導の具体について学びます。	テキストP10〜17を熟読してまと める。事後は中学校の年間指導計 画を入手し,比較する(4時間)				
3	中学校における探究的な過 程と共同的な学び	主体的で探究的な学習過程と共同的な	な学びについて理解します。	テキストP21~32の配慮事項を熟 読し,事後はノートにまとめる (4時間)				
4	地域の文化的特色を生かし た学習(概要)	地域の文化的特色を生かした学習の技	受業概要について学びます。	テキストP33~43を熟読し内容に ついての配慮事項を理解する。事 後はノートにまとめる(4時間)				
5	地域の文化的特色を生かし た学習(地域素材と分析)	生徒が資料を作成する際の留意点にこ	ついて学びます。	地域素材を生かした指導事例を数 点検索し、特徴を理解する。事後 はノートにまとめる(4時間)				
6	地域の文化的特色を生かし た学習(指導案作り)	教材研究及び指導案を作成します。		住んでいる地域の文化的素材を選定し、教材化を考えます。 事後は 授業展開を考えます (4時間)				
7	地域の文化的特色を生かし た学習(模擬授業)	模擬授業を行い、省察します。受講者 方に慣れます。	皆同士で批評しあって, 授業の進め	展開案の点検と習熟(4時間)				
8	地域人材や施設を用いた授 業	地域人材や地域の施設活用について気	どびます。	事前に地域の人材や施設について 調査,検索によって資料を得る。 事後はノートにまとめる(4時間				
9	様々な発表・表現の方法及 び評価について	ポートフォリオを中心にして様々な乳を学びます。	養表方法について具体と評価の方法	様々なポートフォリオの作成の仕 方を調べる。(4時間)				
10	ITCを用いた提示方法	ICTの効果的な活用について学びます 比較し、その特徴や有効な表現方法に	。電子黒板やPPT等の発表ツールを こついて考えます。	ICTの活用についてその効果や活 用法をノートにまとめる(4時間)				
11	地域の自然的特色を生かし た学習(概要)	地域の自然的特色を生かした学習の技	受業概要について学びます。	理科等の学習から教材になりそう な素材を洗い出す。事後はその展 開案を考える(4時間)				
12	地域の自然的特色を生かし た学習(地域素材の分析)	生徒が資料を作成する際の留意点にこ	ついて学びます。	自然や環境問題等について地域の 課題を整理する。事後は展開でき そうな素材をまとめる(4時間)				
13	地域の自然的特色を生かし た学習(指導案作り)	素材研究から教材研究に発展させ,具	体的な指導案を作成します。	指導案の略案を考える。事後は模 擬授業の練習をする(4時間)				
14	地域の自然的特色を生かし た学習(模擬授業)	一人ひとり模擬授業を行い、省察しま	ます 。	板書計画や教材を確認する。事後 は模擬授業の反省をまとめる (4時間)				
15	教科指導やその他の領域と の関連及び評価について	教科学習や学級活動(特別活動)等と体的な事例から学びます。また,評値。	と総合的な学習の時間の関連を、具 品の方法と考え方について学びます	テキストP75~80について予習し ,事後はノートにまとめる(4時間)				
テニ	トスト		成績評価の方法・基準					
	中学校学習指導要領解説 総合的 (生協で購入してください。)	対な学習の時間編」文部科学省編(東山書	定期試験:50% 課題:50% S:授業内容を高度に理解し、指導案の代 きる。A:授業内容を十分に理解し、指導 工夫を凝らすことができる。B:知識的理 えられた課題を行うことができる。C:学 ことができる。	算案を作成して模擬授業では自分なりに 理解がおおむね良好で、模擬授業等の与				
4-	ix.→		屋板 「 の 込 在 (※ 件 ・ の) ・ 、	2)				
_	考書 業の中で指示します。		履修上の注意(学生へのメッセーシ 実務経験として中学校で総合的な学習の	,				
172	☆〜」、C1日小 ○ ひ み り 。		計画や指導法等について検討し、実際に	三全学年で授業を担当した。				

													01
科目名	教育方法論				学年学	纠	2年前期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	非常勤
担当者	田村 徳至・小山 茂喜				必修選	髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	連資格 高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)、中一(高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ゛	・ マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの[履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)		
1	② ③ A B			С									

基本的な学習理論を整理した後、すぐれた実践者の授業から教育内容と教育方法を学び、ICTの活用を含めた模擬的な授業を開発する演習 を通して、わかる授業の授業設計と実践に向けての基礎・基本的知識と技能を習得していきます。

学修到達目標

生徒が学習内容をどのように学ぶことが、最も教育効果を上げることができるかその方法を理解している。学習指導要領の変遷・伝統的な学習理論・ICT・新聞の具体的な活用方法を学ぶことを通して、教育方法に関わるさまざまな理論について理解している。授業記録を探究することで、教育活動における経験法則を学び、教育現場が抱えている方法学的な課題解決の方法を理解している。

授業の准め方

毎時間、授業の前半は前時の振り返りを行うことと本時の理論を概説します。後半は個人演習やグループワークを取り入れながら学修事 項を確実に把握できるようにします。

	を傩美に把握じさるようにし 業計画(各回のテーマ等)※	ンまり。 事前事後学修の時間は1単位科目は1時	寺間、2単位科目は4時間が目安です。	記載以外にも適官課されます。			
回		内名		事前事後学修			
1	ガイダンス	教育課程の基本要素と教育方法学をと	めぐる諸問題について説明します。	教育課程の基本要素、さまざまな 教育方法の特徴をノートにまとめ る(4時間)			
2	学習理論①	言語主義・主知主義・系統主義・5段	階教授法について説明します。	言語主義・主知主義・系統主義・ 5段階教授法についてノートにま とめる(4時間)			
3	学習理論②	児童中心主義・直観主義・経験主義	・感覚主義について説明します。	児童中心主義・直観主義・経験主 義・感覚主義についてノートにま とめる(4時間)			
4	学習理論③	技能主義・問題解決主義・改造主義	・実証主義について説明します。	技能主義・問題解決主義・改造主 義・実証主義についてノートにま とめる(4時間)			
5	学習理論④	行動主義・能力主義・個別主義・判例。	列学習・その他について説明します	行動主義・能力主義・個別主義・ 判例学習・その他の学習方法につ いてノートにまとめる(4時間)			
6	我が国における学習理論の 展開	明治期から現代に至るまでの我が国6 ます。	の学習理論とその方法について学び	明治期~平成(現代)の代表的な 学習理論をノートにまとめる (4時間)			
7	学習指導要領の変遷	戦後の我が国の学習指導要領の変遷と	と教育観について説明します。	昭和22年版~平成29・30年版の学習指導要領についてノートにまとめる(4時間)			
8	授業参観と授業分析の技法①	授業参観と授業分析(ICTを活用した 践例(谷和樹の社会科授業)から学び	授業参観と授業分析(ICTを活用した授業分析を含む)の基本を授業実 践例(谷和樹の社会科授業)から学びます。				
9	授業参観と授業分析の技法②	授業参観と授業分析(ICTを活用した 践例(伴一孝の国語科授業)から学び	授業参観と授業分析(ICTを活用した授業分析を含む)の基本を授業実践例(伴一孝の国語科授業)から学びます。				
10	情報機器の活用①	コンピュータ等の情報機器を活用した	た教育方法を学びます。	ICTを活用した学習で可能なこと ・先進校の事例についてノートに まとめる(4時間)			
11	情報機器の活用②	メディア教材を構成する方法を学びる	ます。	コンピュータを活用した効果的な 授業方法と先進校の取り組みをノ ートにまとめる(4時間)			
12	グループワーク①	ファシリテーションの手法 (マンダうした教育方法について学びます。	ラ法・フィッシュボーン法)を活用	話し合い活動の充実と生徒が主体 的な学習態度になるために必要な ことをノートにまとめる(4時間			
13	グループワーク②	前時に作成したフィッシュボーン表れ びができるようになるための方策を3	を活用しながら、生徒が主体的な学 発表・評価・振り返りを行います。	他者の考えを見聞したことで、自 分の教育方法について考えたこと をノートにまとめる(4時間)			
14	新聞を活用した授業①	今まで学んできた様々な学習理論を の実践方法を学びます。	基に、新聞を活用した具体的な授業	自分が気になった新聞記事を読み、なぜ気になったのか、自分の感 想等をまとめる(4時間)。			
15	新聞を活用した授業②	新聞の読み比べ・本科目のまとめ		一つの記事に関して様々な新聞読 み込み、それぞれの書き方をノー トにまとめる(4時間)			
	トスト		成績評価の方法・基準				
自然さ	^ ₀	片示)解説 総則編」(東山書房) 構入してください。) 宇告示)解説 総則編』 台導要領 解説編』を各自で購入してくだ	S:学習方法に関する講義内容を確実に かつファシリテーションの手法全てを活 A:講義内容を理解しており、主体的に ができる。B:講義内容のおおよそを ションの手法の一部またはICT・新聞を C:講義内容の約60%程度を理解し、基 る。	5用した授業展開ができる。 授業に参加し、学習方法に関する課題を 理解しており、学習方法に関する課題を 理解しており、学習知論とファシリテー 活用した授業展開をすることができる。 本的な課題について解決することができ			
_	学書 デルストログ・マルオーオ	* (March UTC)	履修上の注意(学生へのメッセーシ				
)	哲学のある教育実践」高久清吉著 デザイナーとしての教師 アクタ ISBN:978-4760892396	著(教育出版) ISBN:4-316-36960-1 ヌーとしての教師」吉崎静夫著(金子書房	毎時間、学修事項に関するリアクションす(100~300字)。グループワークを行	/ベーパー(出席レポート)の記述を課 行うので積極的に参加してください。			

科目名	生徒指導概論(進路指導を含む。)			学年学	纟期	3・4年前期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-01	
担当者	藤江 玲子				必修選	髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3階	限	
関連資格	, レク・コーディ(教育)、高一(商業)、高一(情報)、中一(社中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)。高一(保健)						(公民)、	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	この関連性			履修文	付象入 🖰	学年度(読替	科目)			
1	② ③ A B				С								

生徒指導(進路指導・キャリア教育を含む)とは何かということについて、講義・演習、小テスト、レポート作成を通じて考えます。教 科書として、「臨床心理学からみた生徒指導・教育相談」を使用します。また、副読本の読書感想文提出後にグループでの討論も行う予 定です。

学修到達目標

生徒指導および進路指導・キャリア教育とは何かということについて理解をし、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に指導を進めていくために必要な知識を身につけている。

授業の進め方

|講義と演習(ロールプレイ、ペアワーク・グループワーク、討論等)を通じて学びます。また、随時、小テストやレポート作成を行い、

講	義と演習(ロールプレイ、^ 解を深めます。レポートはワ	『アワーク・クループワーク、討論等)を通じて学びます。また、随時、/ 7一プロで作成し、提出期限を厳守してください。	小テストやレポート作成を行い、
	業計画(各回のテーマ等)※ 「 テーマ	事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	
1	授業の説明とオリエンテー ション	内容 授業全体の流れを説明し、生徒指導を学ぶために必要な、基礎となる知識についての概略を解説します。	事前事後学修 授業の内容に関わるレポート(4時間)
2	生徒指導を考える	生徒指導の意義や役割、教育課程や校務分掌上の位置付け等を学び、生徒指導の重要性を理解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
3	発達を考慮した生徒指導 (進路指導を含む)	子どもの発達について理解し、発達を考慮した生徒指導(進路指導を含む)について考えます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
4	学習理論を応用した行動変 容	学習理論を応用した行動変容を学校で活用するために、強化、報酬、罰、無視などのテクニカルタームの意味を学習し、その効果と生徒への影響を理解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
5	討論と読書感想レポート	課題図書を読み、グループで討論を行います。討論では、指定された項目に従って、各自の意見を述べます。討論を行うために必要な技術も学びます。	討論を行った感想をレポート(4時間)
6	学校におけるシステム・ア プローチの利用	システム・アプローチが、対象をシステムという観点で捉え、階層性が あることを理解します。その上で、家族や学校、友人集団などのシステ ムが、どのように機能するかを考えます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
7	発達に関わる課題と対応	発達障害や養育に関わる問題、その影響について理解し、児童生徒の抱える課題に応じた指導と連携のあり方について考えます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
8	生徒指導上の諸課題の現状と対応	「生徒指導提要」と参考資料から、生徒指導上の諸課題の現状と組織的 な対応の概略を学びます。また、生徒指導に関する主な法令について理 解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
9	個別の課題への対応① 「いじめ」	いじめ発生の解釈と対応の原則等を学び、具体的な事例についてグループ討論を行います。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
10	個別の課題への対応② 「非行・暴力行為」	児童生徒の非行・暴力行為の定義と対応の視点を理解し、家庭や地域 (警察・福祉・医療等)との連携を視野に入れた支援と予防のあり方を 学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
11	個別の課題への対応③「不 登校」	不登校の定義と対応の視点を理解し、家庭や地域との連携を視野に入れた支援と予防のあり方を学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
12	個別の問題への対応④「今 日的な生徒指導上の課題」	インターネットや性に関する問題、児童虐待への対応等、今日的な生徒 指導上の課題や関係機関との連携について理解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
13	個別の課題への対応⑤「自 殺予防」	子どもの自殺の実態、サインと対応、自殺予防のための校内体制づくり や関係機関との連携等について学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
14	チームとして取り組む生徒 指導	問題解決的支援をチームで行う方法についてロールプレイを通して学びます。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用についても学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
	進路指導とキャリア教育	進路指導・キャリア教育の意義,学校教育における位置付け,方法(ガイダンスとキャリアカウンセリング、地域との連携等)について学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)
	トスト	成績評価の方法・基準	
購 <i>]</i> 「] I	3DN・310 4400004103 (工) (別) (別)	S:授業内容を高度に理解するとともに、 つサバイバル」土井隆義著(ちくま新書) てレポートに取り組み、小テストでは、	-トに取り組み、殆どの小テストが正解

「発達障害の子どもたち」杉山登志郎著(講談社) ISBN:978-4062800402 (生協で購入してください。) 他1冊

できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。

参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ)

参考文献は、授業時に、紹介します。

【重要】本を読んでのレポートと討論があります。締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。大変ですが楽しみにしてください。

科目名	生徒指導概論(進路指導を含む。)			学年学	期	3・4年前期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-01		
担当者	藤江 玲子					択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限			
関連資格	国連資格 い・コ・ディ(教育)、高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一 履修条件 教職課程履修者 (公民)、中一(保体)、高一(保体)、高一(保健)、高一(保健)													
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラ ムポリシーと	この関連性			履修文	付象入 🖰	芦年度(読替	科目)			
1	2	3	A	В	С									

生徒指導(進路指導・キャリア教育を含む)とは何かということについて、講義・演習、小テスト、レポート作成を通じて考えます。教科書として、「臨床心理学からみた生徒指導・教育相談」を使用します。また、副読本の読書感想文提出後にグループでの討論も行う予定です。

学修到達目標

生徒指導および進路指導・キャリア教育とは何かということについて理解をし、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に指導を進めていくために必要な知識を身につけている。

授業の進め方

講義と演習(ロールプレイ、ペアワーク・グループワーク、討論等)を通じて学びます。また、随時、小テストやレポート作成を行い、

	理解を深めます。レポートはワープロで作成し、提出期限を厳守してください。									
-		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。								
旦	テーマ	内容	事前事後学修							
1	授業の説明とオリエンテーション	授業全体の流れを説明し、生徒指導を学ぶために必要な、基礎となる知識についての概略を解説します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
2	生徒指導を考える	生徒指導の意義や役割、教育課程や校務分掌上の位置付け等を学び、生 徒指導の重要性を理解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
3	発達を考慮した生徒指導 (進路指導を含む)	子どもの発達について理解し、発達を考慮した生徒指導(進路指導を含む)について考えます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
4	学習理論を応用した行動変 容	学習理論を応用した行動変容を学校で活用するために、強化、報酬、罰、無視などのテクニカルタームの意味を学習し、その効果と生徒への影響を理解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
5	討論と読書感想レポート	課題図書を読み、グループで討論を行います。討論では、指定された項目に従って、各自の意見を述べます。討論を行うために必要な技術も学びます。	討論を行った感想をレポート(4時間)							
6	学校におけるシステム・ア プローチの利用	システム・アプローチが、対象をシステムという観点で捉え、階層性が あることを理解します。その上で、家族や学校、友人集団などのシステ ムが、どのように機能するかを考えます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
7	発達に関わる課題と対応	発達障害や養育に関わる問題、その影響について理解し、児童生徒の抱える課題に応じた指導と連携のあり方について考えます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
8	生徒指導上の諸課題の現状と対応	「生徒指導提要」と参考資料から、生徒指導上の諸課題の現状と組織的 な対応の概略を学びます。また、生徒指導に関する主な法令について理 解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
9	個別の課題への対応① 「いじめ」	いじめ発生の解釈と対応の原則等を学び、具体的な事例についてグループ討論を行います。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
10	個別の課題への対応② 「非行・暴力行為」	児童生徒の非行・暴力行為の定義と対応の視点を理解し、家庭や地域 (警察・福祉・医療等)との連携を視野に入れた支援と予防のあり方を 学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
11	個別の課題への対応③「不 登校」	不登校の定義と対応の視点を理解し、家庭や地域との連携を視野に入れた支援と予防のあり方を学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
12	個別の問題への対応④「今 日的な生徒指導上の課題」	インターネットや性に関する問題、児童虐待への対応等、今日的な生徒 指導上の課題や関係機関との連携について理解します。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
13	個別の課題への対応⑤「自 殺予防」	子どもの自殺の実態、サインと対応、自殺予防のための校内体制づくり や関係機関との連携等について学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
14	チームとして取り組む生徒 指導	問題解決的支援をチームで行う方法についてロールプレイを通して学びます。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用についても学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
	進路指導とキャリア教育	進路指導・キャリア教育の意義,学校教育における位置付け,方法(ガイダンスとキャリアカウンセリング、地域との連携等)について学びます。	授業の内容に関わるレポート(4時間)							
	キスト	成績評価の方法・基準								
購] [] []	生徒指導提要」文部科学省著(教 入してください。) 友だち地獄「空気を読む」世代の ISBN:978-4480064165(生協で購 発達障害の子どもたち」杉山登志 :協で購入してください。) 他日	Dサバイバル」 土井隆義著(ちくま新書) 入してください。) 派郡著(講談社) ISBN:978-4062800402 できる。B:授業内容のおおよそを理解し	全問題に正解できる。A:授業内容を理 -トに取り組み 発どの小テストが正解							

|トに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。

参考書

履修上の注意(学生へのメッセージ)

参考文献は、授業時に、紹介します。

【重要】本を読んでのレポートと討論があります。締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。大変ですが楽しみにしてください。

科目名	教育相談			学年学	纟期	3・4年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-01	
担当者	藤江 玲子				必修選	氎択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3四	退	
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歷)、高)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保修					公民	:)、中一(保体	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)		
1	2	3	A	В	С								
						1							

教師が、学校において行う教育相談に関する理論を学ぶとともに、教育現場を想定した実践的な力も育成します。はじめに、学校教育における生徒と教師の関係性やカウンセリング理論の基礎について学習します。その後、教育相談における具体的な事例を交えながら、生徒および保護者に対する支援の方法について理解し応用的な力を伸ばします。

学修到達目標

学校における教育相談に関する様々な知見を習得するとともに、教師として、カウンセリング理論に基づいた相談を、学校教育の中で実践的に展開できるようになる。

授業の進め方

講義形式の授業、および、具体的な相談事例を通して、教育相談およびカウンセリングに関する基礎的な理論を学習します。また、ロールプレイを用いた演習を取り入れ、それらの理論を実践的に学びます。

授美	詳計画(各回のテーマ等)※	です。記載以外にも適宜課されます。					
口	テーマ	内容	事前事後学修				
1	はじめに	受講者のこれまでの体験をもとに、教育相談の意義について理解を るとともに、学校において教師が担う相談に関する課題についても ます。	深め 考え を作成する。(4時間)				
2	教育相談における教師	学校において、相談を受ける立場にある教師自身の自己理解につい察します。「エゴグラム」の理論をもとに、受講者自身の性格の傾ついても、演習課題を通して理解します。	て考 向に				
3	教育相談における生徒	相談の当事者である生徒に対する理解を深めます。「自我同一性」 立と依存」「家族関係」などを鍵概念に、発達段階の特性について く認識します。	「自 正し 発達段階に関するレポートを作成 する。(4時間)				
4	教育相談におけるカウンセ リング理論	来談者中心療法における重要な「傾聴」「受容」「共感」の考え方いて学ぶとともに、ロールプレイを通してそれらの鍵概念を体得し。	につ ます 来談者中心療法に関するレポート を作成する。(4時間)				
5	教育相談における関係性理 論	相談(カウンセリング)における課題について、「転移」「逆転移 鍵概念を取り上げます。学校における教育相談中で起こりうる対人 の事例を取り上げながら、理解を深めます。	」の 転移・逆転移に関するレポートを 作成する。(4時間)				
6	教育相談における生徒理解 の方法	生徒の文章や作品を通して、生徒理解を深める方法について学びま投影法の「SCT」「PFスタディ」などを実習した後、実際の事例にても触れます。	す。 投影法に関するレポートを作成す る。 (4時間)				
7	教育相談における心理的交 流の方法	「交流分析」「アサーション」の理論を通して、より適切な心理的 のあり方について学習します。ロールプレイにより、理解をさらに ていきます。					
8	中間のまとめ	前半の講義に関する振り返りの課題に取り組みます。また、グルー 習や発表を通して学習を深めます。	プ学 授業前半の振り返りのレポートを 作成する。(4時間)				
9	教育相談による生徒支援 不登校の事例	教育相談における不登校に関する事例を取り上げ、多角的に考察し。発達課題とともに、家族関係を含めた生育環境や学校における人係という視点から、理解を深めます。	ます 不登校事例に関するレポートを作 成する。(4時間)				
10	教育相談による生徒支援 いじめの事例	教育相談におけるいじめに関する事例を取り上げ、多角的に考察し。SNSを介したいじめにも注目し、その特徴を読み解きながら、対成仕方についても考えます。					
11	教育相談による生徒支援 非行・虐待・体罰などの事 例	教育相談での非行・虐待・体罰に関する事例を取り上げます。非行族や友人関係について、虐待は家族関係について、体罰は生徒教師について考察し、対応する力を養います。	は家 実係 トを作成する。(4時間)				
12	教育相談による保護者支援	教育相談を活用した保護者支援について学びます。援助の必要な貧 庭を例に上げ、保護者支援のアプローチについて、具体的な対応方 学びます。	型家 伝き 保護者支援に関するレポートを作成する。(4時間)				
13	校内における教育相談体制 の構築	教育相談における組織的な取り組みの必要性について学びます。校 援助資源の有効活用を考えながら、事例に沿った支援会議を演習し 。	内の ます 支援会議の事例に関するレポート を作成する。(4時間)				
14	教育相談における他機関と の連携	学校内のみならず、地域の専門機関(医療、福祉、行政)との連携 の大切さを理解し、その考え方や具体的な連携の方法を学びます。	を作成する。(4時間)				
15	まとめ	学校において教育相談を実施することの意義を再考するとともに、 場面における具体的な方法についても振り返ります。話し合い活動 して、今後の課題について検討します。	相談 授業後半の振り返りのレポートを 作成する。(4時間)				
テニ	Fスト	成績評価の方法・基準					
-	宜,授業の中で資料を配布します	「 レポート:50% 小テスト:50% S:授業内容を高度に理解するととて課題に取り組み、例題からは難、積極的な探究姿勢をもって課題 B:授業内容のおおよそを理解し、が解ける。C:授業内容の60%程度、授業で示した例題と同じレベル	とに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもっしい応用問題が解ける。A:授業内容を理解してい応用問題が解ける。A:授業内容を理解して取り組み、やや難しい応用問題が解ける。与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題を理解し、与えられた課題に誠実に取り組みの問題が解ける。				
参表	善	履修上の注意(学生へのメット	履修上の注意(学生へのメッセージ)				
	スクールカウンセラー実践活動事 スクールソーシャルワーカー実践 『ネット上のいじめ』に関するか	例集」文部科学省編 活動事例集」文部科学省 編 応マニュアル・事例集」文部科学省 編 相談に従事しました。	フークやロールプレイをとおして実践的に学 士として公立の教育機関や学校において教育				

科目名	教育実習事前指導			学年学	丝期	3年後期	単位数	1	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23	
担当者	小松	茂美・山﨑	ティア 保寿・藤	矮江 玲子	必修選	髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1四	退	
関連資格	関連資格 高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歷)、高一(公民))、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)								教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)												
1	2	3	A	В	С								

教育実習をより円滑・効果的に行うための授業です。学部における教育と教育実習との間の距離をできるだけ少なくし、教育実習に抵抗感なく臨めるよう教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につけることを主たるねらいとします。併せて、教員に求められる資質や能力等について理解を深めるとともに、自身の学びが不十分な分野等について理解・把握し、教育実習に向けて必要不可欠な準備を進めることがねらいです。

学修到達目標

教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につける。教員に求められる資質や能力等について理解を深めるとともに、自身の学びが不十分な分野等について理解・把握し、学びを深め課題解決等に取り組み、教育実習に臨めるようになる。

授業の進め方

教育実習の認識を深めるとともに、教育実習の実際を知る機会を提供します。また、教育実習に臨むにあたり、課題や素朴な疑問等につして、また、教育実習に臨むにあたり、課題や素朴な疑問等につして、教育実習に施むにあるより、課題や素朴な疑問等につ

似い	教育美質の認識を深めるとともに、教育美質の美原を知る機会を提供します。また、教育美質に臨むにめたり、課題や素朴な疑問寺について意見交換等をし、教育実習に臨む課題や不安等を解消し、教育実習に臨む準備を整える機会を提供します。										
		事前事後学修の時間は1単位科目は1時									
口	テーマ	内容	学	事前事後学修							
1	事前指導ガイダンス	・教育実習事前指導の位置づけ ・授業内容と進め方 ・教育実習報告会の持ち方について		本時の内容の整理・記録(1時間)							
2	教育実習に向けての課題等 の検討	教育実習に向けての課題や素朴な疑問 まとめる	問点等についてグループ討議をし、	各自の課題の洗い出しとまとめ (1時間)							
3	教育実習に向けて先輩から 学ぶ	前時にまとめた課題や疑問点等につい 理解を深める	先輩の意見・助言等についてまと める (1時間)								
4	教育実習グループ別報告会 I	Aグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教育 き、教育実習と教職についての理解を	本時の学習内容の整理・記録。授 業レポート提出(1時間)								
5	教育実習グループ別報告会 Ⅱ	Bグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教育 き、教育実習と教職についての理解を	本時の学習内容の整理・記録。授 業レポート提出(1時間)								
6	教育実習グループ別報告会 Ⅲ	Cグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教育 き、教育実習と教職についての理解を	本時の学習内容の整理・記録。授 業レポート提出(1時間)								
7	教育実習報告会の総括	教育実習グループ別報告会のまとめ これまでの報告会の内容について意見	見交換とまとめ	これまでの学習内容をまとめてお く。授業レポート提出(1時間)							
8	教育実習に向けて	教育実習に向けて ①教職に就く意思 ②教育実習の心得と事前準備		学校現場の課題について考えてお く。授業後レポートの提出(2時間)							
テニ	トスト		成績評価の方法・基準								
テ講	キストは使用しません。 義内容に応じて、必要な資料を酢		受講態度:40% 出席レポート:20% レポート:40% S:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、期待以上の成果を上げることができた。A:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、期待どおりの成果を上げることができた。B:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、十分な成果を上げることができた。C:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、実習に臨むことができる成果を上げることができた。C:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、実習に臨むことができる成果を上げることができた。								
参和	善		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
i	講義の中で随時、参考となる書籍	等について紹介します。	教育実習を履修する者は必ず履修してください。								

													<u> </u>
科目名		教育実	習 I (中学)		学年学	対期	4年通年	単位数	4	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者	小松 茂美・山﨑 保寿・藤江 玲子					氎択	必修	科目種別	実習	オフィスアワー	前期: 外後期: オ	く曜日1限 に曜日1限	
関連資格	関連資格 中一(社会)、中一(保体)、中一(保健)								教職	課程履修者	(中免取	得者)	
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修刘	付象入等	学年度(読替	科目)		
1	② ③ A B C												

本科目は中学校教諭免許状を取得するために必要な教育実習です。教育実習期間は原則として3週間です。教育実習では、学習指導、生徒 指導、教育相談、進路指導、学級経営、特別活動、部活動等に関する現在の学校教育の実際の姿について理解を深め、基本的な教育技術 の基礎を修得していきます。

学修到達目標

授業分析、授業計画の作成、教材開発等にも十分な時間を取り、授業についての理解を深めるとともに、授業技術の基礎を身につけており、実習生それぞれの状況に応じた実習カリキュラムを作成することができる。また、学級経営や課外活動への参加等、教育現場で行われている授業以外の教育活動に参加することにより、教育実践の全体構造について理解する。

授業の進め方

教育実習生は原則として3週間の教育実習を行います。教育実習を行うためには3年次に『教育実習事前指導』を受講し、予め3年次に実習校への内諾を得ておく必要があります。

授	受業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回		内容		事前事後学修							
1	教育実習直前ガイダンス	教育実習に臨むための留意点等を最終	冬確認します。	教育実習に臨むための準備状況を 確認し、不十分な点があれば整え る。(4時間)							
2	教育実習(3週間)	生徒の心理・行動の理解、教師の仕事 実践的理解と教育技術の基礎の修得、	実習校との打合せ、指導案の作成 等。事後は振り返りや実習校への あいさつなど(4時間)								
3	事後指導1:教育実習報告 会に向けて	教育実習報告会の持ち方について		教育実習報告会資料の準備(1時 間)							
4	事後指導2:教育実習グル ープ別報告会 I	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への即	D取り組み状況について 皆摘された点など 力言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
5	事後指導3:教育実習グル ープ別報告会 Ⅱ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への即	旨摘された点など	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
6	事後指導4:教育実習グル ープ別報告会Ⅲ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への即	D取り組み状況について 旨摘された点など 力言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
テニ	キスト		成績評価の方法・基準								
実	習校の指示に従ってください。		実技:100% 教育実習校からの「教育実習評価報告票」(添付資料)の評価、事後指導の評価及び実習校への訪問指導教員の評価を総合的にみて評価をする。S:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、期待以上の成果を上げることができた。A:授業をはじめや教育活動に積極的に取り組み、期待どおりの成果を上げることができた。B:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、十分な成果を上げることができた。C:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、成果を上げることができた。								
参	考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
実	習校で使用するテキスト、副読 々		教育実習を行うためには、履修条件が設けられていています。履修条件については、「教職課程履修要項(教職課程履修の手引き)」等に記載しています。								

科目名		教育実習	引Ⅱ(高免のる	み)	学年学	糾	4年通年	単位数	4	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者	小松	茂美・山岬	ティア 保寿・藤	矮江 玲子	必修選	髸択	必修	科目種別	実習	オフィスアワー	前期: 丛 後期: 木	√曜日1限 <曜日1限	
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、高一(公民)、高一(保体)、高一(1)	履修条件	教職	課程履修者	(高免の	み)	
ディプロ	1マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	付象入:	学年度(読替	科目)		
1	2	3	A	В	С								

本科目は高等学校教論免許状のみを取得するために必要な教育実習です。教育実習期間は原則として2週間です。教育実習では、学習指導 、生徒指導、教育相談、進路指導、学級経営、特別活動、部活動等に関する現在の学校教育の実際の姿について理解を深め、基本的な教 育技術の基礎を修得していきます。

学修到達目標

授業分析、授業計画の作成、教材開発等にも十分な時間を取り、授業についての理解を深めるとともに、授業技術の基礎を身につけており、実習生それぞれの状況に応じた実習カリキュラムを作成することができる。また、級経営や課外活動への参加等、教育現場で行われている授業以外の教育活動に参加することにより、教育実践の全体構造について理解している。

受業の進め方

教育実習生は原則として2週間の教育実習を行います。教育実習を行うためには3年次に『教育実習事前指導』を受講し、予め3年次に実習 校への内諾を得ておく必要があります。

_	文 wh jmre 同 C40 人 e 安かめ ウよ 9。										
		事前事後学修の時間は1単位科目は1時									
旦	テーマ	内容	字	事前事後学修							
1	教育実習直前ガイダンス	教育実習に臨むための留意点等を最終	冬確認します。	教育実習に臨むための準備状況を 確認し、不十分な点があれば整え る。(4時間)							
2	教育実習(2週間)	生徒の心理・行動の理解、教師の仕事 実践的理解と教育技術の基礎の修得、	事の理解、教育課程、学習指導等の 自己研鑽課題の発見	実習校との打合せ、指導案の作成							
3	事後指導1:教育実習報告 会に向けて	教育実習報告会の持ち方について		教育実習報告会資料の準備(1時 間)							
4	事後指導2:教育実習グル ープ別報告会 I	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への即	旨摘された点など	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
5	事後指導3:教育実習グル ープ別報告会Ⅱ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への即	旨摘された点など	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
6	事後指導4:教育実習グル ープ別報告会Ⅲ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から打 ③これから教育実習をする後輩への即	D取り組み状況について 旨摘された点など 力言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
テ	キスト		成績評価の方法・基準								
実	習校の指示に従ってください。		実技:100% 教育実習校からの「教育実習評価報告票」(添付資料)の評価、事後指導の評価及び実習校への訪問指導教員の評価を総合的にみて評価をする。S:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、期待以おりの成果を上げることができた。A:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、期待どおりの成果を上げることができた。B:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、十分な成果を上げることができた。C:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、成果を上げることができた。C:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、成果を上げることができた。C:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、成果を上げることができた。C:授業をはじめ教育活動に積極的に取り組み、成果を上げることができた。								
参	考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
実·	習校で使用するテキスト、副読オ	Z	教育実習を行うためには、履修条件が設けられていています。履修条件については、「教職課程履修要項(教職課程履修の手引き)」等に記載しています。								

科目名	養護実習事前指導				学年学	期	3年後期	単位数	1	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者	小松 茂美	美・山﨑 伊	呆寿・藤江 節子	玲子・中島	必修選	銀択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1限		
関連資格													
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)												
1	② ③ A B C												

教育実習をより円滑・効果的に行うための授業です。学部における教育と教育実習との間の距離をできるだけ少なくし、教育実習に抵抗感なく臨めるよう教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につけることを主たるねらいとします。併せて、養護教諭に求められる資質や能力等について理解を深めるとともに、自身の学びが不十分な分野等について理解・把握し、教育実習に向けて必要不可欠な準備を進めることがねらいです。

学修到達目標

教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につける。養護教諭に求められる資質や能力等について理解を深めるとともに、自身の学びが不十分な分野等について理解・把握し、学びを深め課題解決等に取り組み、教育実習に臨めるようになる。

授業の進め方

教換	教育実習の認識を深め、教育実習の実際を知る機会を提供します。また、教育実習に臨むにあたり、課題や素朴な疑問等について意見交 換等をし、教育実習に臨む課題や不安等を解消し、教育実習に臨む準備を整える機会を提供します。									
授業	業計画(各回のテーマ等)※	事前事後学修の時間は1単位科目は1時		記載以外にも適宜課されます。						
回	テーマ	内名	容	事前事後学修						
1	事前指導ガイダンス	・養護実習事前指導の位置づけ ・授業内容と進め方 ・教育実習報告会の持ち方について		本時の内容の整理・記録(1時間)						
2	教育実習に向けての課題等 の検討	教育実習に向けての課題や素朴な疑問まとめる	問点等についてグループ討議をし、	各自の課題の洗い出しとまとめ (1時間)						
3	教育実習に向けて先輩から 学ぶ	ハて、先輩との意見交換をとおして	先輩の意見・助言等についてまと める (1時間)							
4	教育実習グループ別報告会 I	Aグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教 き、教育実習と教職についての理解	育実習を終えた4年次生の発表を聞 を深める。	本時の学習内容の整理・記録。授 業レポート提出(1時間)						
5	教育実習グループ別報告会 II	Bグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教 き、教育実習と教職についての理解	育実習を終えた4年次生の発表を聞 を深める。	本時の学習内容の整理・記録。授 業レポート提出(1時間)						
6	教育実習グループ別報告会 Ⅲ	Cグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教 き、教育実習と教職についての理解	育実習を終えた4年次生の発表を聞 を深める。	本時の学習内容の整理・記録。授 業レポート提出(1時間)						
7	教育実習報告会の総括	教育実習グループ別報告会のまとめ これまでの報告会の内容について意!	見交換とまとめ	これまでの学習内容をまとめてお く。授業レポート提出(1時間)						
8	教育実習に向けて	教育実習に向けて ①教職に就く意思 ②教育実習の心得と事前準備		学校現場の課題について考えてお く。授業後レポートの提出(2時間)						
テニ	トスト		成績評価の方法・基準							
テ講	キストは使用しません。 義内容に応じて、必要な資料を酢		受講態度:40% 出席レポート:20% レポート:40% S:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、実習に臨む期待以上の成果を上げることができた。A:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、実習に臨む期待どおりの成果を上げることができた。B:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、実習に臨む十分な成果を上げることができた。C:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、実習に臨むことができる成果を上げることができた。							
参和	芳書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
講	義の中で随時、参考となる書籍	等について紹介します。	教育実習を履修する者は必ず履修してください。							

科目名		養	護実習		学年学	期	4年通年	単位数	4	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者	小松 茂美	美・山﨑 伊	R寿・藤江 節子	玲子・中島	必修選	銀択	必修	科目種別	実習	オフィスアワー	前期: 丛 後期: 木	√曜日1限 └曜日1限	
関連資格	養 教一 履修条件 教職課程履修者 (養教)												
ディプロ	マポリシーと	:の関連性			履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)					
1	② ③ A B C												

本科目は養護教論免許状を取得するために必要な教育実習です。教育実習期間は原則として3週間です。教育実習では、保健室経営を主に取り組み、併せて、学習指導、生徒指導、教育相談、進路指導、学級経営、特別活動、部活動等に関する現在の学校教育の実際の姿について理解を深め、基本的な教育技術の基礎を修得していきます。

学修到達目標

保健室経営に必要な基本的な知識・実践力を身につける。また、学校行事や学級経営、授業等、学校現場で行われている教育活動に積極的に取り組むことにより、教育実践の実際と全体構造について理解を深める。

授業の進め方

教育実習生は原則として3週間の教育実習を行います。教育実習を行うためには3年次に『養護実習事前指導』を受講し、予め3年次に実習 校への内諾を得ておく必要があります。

授	授業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回		内容		事前事後学修								
1	教育実習直前ガイダンス	教育実習に臨むための留意点等を最終		教育実習に臨むための準備状況を 確認し、不十分な点があれば整え る。(4時間)								
2	教育実習(3週間)	保健室経営の実践的な理解と必要なま 徒の心理・行動の理解、教員の仕事の 践的理解と教育技術の基礎の修得、自	基本的な知識・技術の習得及び、生 D理解、教育課程、学習指導等の実 自己研鑽課題の発見。	実習校との打合せ、実習計画や指 導案の作成等。事後は実習の振り 返りなど(4時間)								
3	事後指導1:教育実習報告 会に向けて	教育実習報告会の持ち方について		教育実習報告会資料の準備(1時 間)								
4	事後指導2:教育実習グル ープ別報告会 I	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への助	D取り組み状況について ≦摘された点など カ言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)								
5	事後指導3:教育実習グル ープ別報告会Ⅱ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への助	看摘された点など	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)								
6	事後指導4:教育実習グル ープ別報告会Ⅲ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への助	D取り組み状況について f摘された点など f言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)								
テ	キスト		成績評価の方法・基準									
実	習校の指示に従ってください。		実技:100% 評価方法は教育実習校からの「教育実習評価報告票」(添付資料)の評価、 後指導の評価及び実習校への訪問指導教員の評価を総合的にみて評価をする。 S:保健室経営や教育活動に取り組み、期待以上の成果を上げることができる。 A:保健室経営や教育活動に取り組み、期待どおりの成果を上げることができ 。B:保健室経営や教育活動に取り組み、十分な成果を上げることができた。 C:保健室経営や教育活動に取り組み、成果を上げることができた。									
参	考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
実	習校で使用するテキスト、副読オ	S.	教育実習を行うためには、履修条件が設けられていています。 履修条件については、「教職課程履修要項(教職課程履修の手引き)」等に記載しています。									

科目名		栄養教育実習事前指導					3年後期	単位数	1	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者	小松 茂美	き・山﨑 伊	呆寿・藤江 直子	玲子・廣田	必修選	択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1四	艮	
関連資格	※教一 履修条件 教職課程履修者												
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	・ムポリシーと	の関連性			履修文	才象入 与	学年度 (読替:	科目)		
1	2	3	A	В	С								

教育実習をより円滑・効果的に行うための授業です。学部における教育と教育実習との間の距離をできるだけ少なくし、教育実習に抵抗感なく臨めるよう教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につけることを主たるねらいとします。併せて、栄養教諭に求められる資質や能力等について理解を深めるとともに、自身の学びが不十分な分野等について理解・把握し、教育実習に向けて必要不可欠な準備を進めることがねらいです。

学修到達目標

教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につける。栄養教諭に求められる資質や能力等について理解を深めるとともに、自身の学びが不十分な分野等について理解・把握し、学びを深め課題解決等に取り組み、教育実習に臨めるようになる。

授業の進め方

| 教育実習の認識を深めるとともに、教育実習の実際を知る機会を提供します。また、教育実習に臨むにあたり、課題や素朴な疑問等について意見交換等をし、教育実習に臨む課題や不安等を解消し、教育実習に臨む準備を整える機会を提供しま

		別に臨む課題や不安等を解消し、教育領					
_		事前事後学修の時間は1単位科目は1時					
□	テーマ	内名	~	事前事後学修			
1	事前指導ガイダンス	・栄養教育実習事前指導の位置づけ ・授業内容と進め方 ・教育実習報告会の持ち方について		本時の内容の整理・記録(1時間)			
2	教育実習に向けての課題等 の検討	教育実習に向けての課題や素朴な疑問まとめる	問点等についてグループ討議をし、	各自の課題の洗い出しとまとめ (1時間)			
3	教育実習に向けて先輩から 学ぶ	前時にまとめた課題や疑問点等につい理解を深める。	いて、先輩との意見交換をとおして	先輩の意見・助言等についてまと める (1時間)			
4	教育実習グループ別報告会 I	Aグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教 き、教育実習と教職についての理解	育実習を終えた4年次生の発表を聞 を深める。	本時の学習内容の整理・記録。授業レポート提出(1時間)			
5	教育実習グループ別報告会 II	Bグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教 き、教育実習と教職についての理解	育実習を終えた4年次生の発表を聞 を深める。	本時の学習内容の整理・記録。授業レポート提出(1時間)			
6	教育実習グループ別報告会 III	(グループの発表・報告 教育実習の成果と課題について、教 き、教育実習と教職についての理解	育実習を終えた4年次生の発表を聞 を深める。	本時の学習内容の整理・記録。授業レポート提出(1時間)			
7	教育実習報告会の総括	教育実習グループ別報告会のまとめ これまでの報告会の内容について意!	見交換とまとめ	これまでの学習内容をまとめてお く。授業レポート提出(1時間)			
8	教育実習に向けて	教育実習に向けて ①教職に就く意思 ②教育実習の心得と事前準備		学校現場の課題について考えておく。授業後レポートの提出(2時間)			
テニ	キスト		成績評価の方法・基準				
	キストは使用しません。 義内容に応じて、必要な資料を酢		受講態度:40% 出席レポート:20% レポート:40% S:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、期待以上の成果を上ることができた。A:教育実習に際して必要な事柄について理解・修得し、りどおりの成果を上げることができた。B:教育実習に際して必要な事柄に力、理解・修得し、十分な成果を上げることができた。C:教育実習に際して必要事柄について理解・修得し、実習に臨むことができる成果を上げることがでた。				
参	考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)				
講	議の中で随時、参考となる書籍	等について紹介します。	教育実習を履修する者は必ず履修してください。				
			4				

科目名	栄養教育実習					期	4年通年	単位数	1	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23
担当者	小松 茂美	き・山﨑 伊	R寿・藤江 直子	玲子・廣田	必修選	択	必修	科目種別	実習	オフィスアワー	前期: 丛 後期: 木	√曜日1限 └曜日1限	
関連資格			履修条件	教職	課程履修者	(栄免)							
ディプロ	マポリシーとの関連性カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)		
1	2	3	A	В	С								

本科目は栄養教論免許状を取得するために必要な教育実習です。教育実習期間は原則として1週間です。教育実習では、栄養教諭として求められる基本的な教育技術の基礎を修得するとともに、学習指導、生徒指導、教育相談、進路指導、学級経営、特別活動、部活動等に関する現在の学校教育の実際の姿について理解を深め、基本的な教育技術の基礎を修得します。

学修到達目標

栄養教諭に求められる基本的な知識・実践力を身につける。また、学校行事や学級経営、授業等、学校現場で行われている教育活動に積極的に取り組むことにより、教育実践の実際と全体構造について理解を深める。

授業の進め方

教育実習生は原則として1週間の教育実習を行います。教育実習を行うためには3年次に『栄養教育実習事前指導』を受講し、予め3年次に実習校への内諾を得ておく必要があります。

1四3	授業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
豆豆		事刑事後子修の時间は1単位科目は1時 内容		記載以外にも適且課されます。							
1	教育実習直前ガイダンス	教育実習に臨むための留意点等を最終		教育実習に臨むための準備状況を確認し、不十分な点があれば整える。(4時間)							
2	教育実習(1週間)	栄養教諭としての実践的な理解と必要、生徒の心理・行動の理解、教員の付の実践的理解と教育技術の基礎の修得	要な基本的な知識・技術の習得及び 仕事の理解、教育課程、学習指導等 景、自己研鑽課題の発見。	実習校との打合せ、指導案の作成等。事後は振り返りや実習校へのあいさつなど(4時間)							
3	事後指導1:教育実習報告 会に向けて	教育実習報告会の持ち方について		教育実習報告会資料の準備(1時 間)							
4	事後指導2:教育実習グル ープ別報告会 I	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への助	O取り組み状況について f摘された点など カ言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
5	事後指導3:教育実習グル ープ別報告会 Ⅱ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への助	์ 摘された点など	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
6	事後指導4:教育実習グル ープ別報告会Ⅲ	①学習指導案作りを含めた授業準備の ②授業で困ったこと、指導教諭から指 ③これから教育実習をする後輩への助	D取り組み状況について f摘された点など f言	教育実習報告会資料の準備と本時 のまとめ(1時間)							
テ	トスト		成績評価の方法・基準								
実	習校の指示に従ってください。		実技:100% 評価方法は教育実習校からの「教育実習評価報告票」(添付資料)の評価、事 後指導の評価及び実習校への訪問指導教員の評価を総合的にみて評価をである。 5:栄養教諭としての職務や教育活動に取組、期待以上の成果を上げることができた。A:栄養教諭としの職務や教育活動に取組、期待どおりの成果を上げることができた。B:栄養教諭としての職務や教育活動に取組、十分な成果を上げることができた。C:栄養教諭として職務やの教育活動に取組、成果を上げることができた。								
参	考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
実	習校で使用するテキスト、副読 々		教育実習を行うためには、履修条件が設けられていています。履修条件については、「教職課程履修要項(教職課程履修の手引き)」等に記載しています。								

科目名		教職実践演習(総経)					4年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-02
担当者	山﨑 保美	芽・小松 き	き美・藤江 心	玲子・室谷	必修選	選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2四	限	
関連資格	高一(商業)	、高一(情報	8)、中一(社:		履修条件	教職	課程履修者						
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	の関連性			履修文	才象入 等	学年度(読替	科目)			
1	2	3	A	В	С								

対象:地歴・公民・福祉・商業・情報・社会 大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に現時点での自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわたって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標 ① 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 ② 社会性及び対人関係能力 ③ 生徒理解の能力及び生徒指導能力 ④ 教科の専門的知識及び指導力 ⑤ 学級経営能力 を身につける。

授業の進め方

授業		事前事後学修の時間は1単位科目は1時	持間、2単位科目は4時間が目安です。				
□	テーマ	内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事前事後学修			
1	ガイダンス	ガイダンス ― 「教職実践演習」打 授業の進め方等について説明します。	受業の趣旨と目的 ―	ガイダンスの内容を確認・整理・ 記録(4時間)			
2	期待される教員像について	期待される教員像について — グループ討議 —		事前学習:期待される教員像 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
3	「学校・家庭・地域の連携 及び協働」	「学校・家庭・地域の連携及び協働」	について	事前課題:学校・家庭・地域の連携・協働の在り方/グループ討議の「振り返り」提出(4時間)			
4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解について - グループ討議・ロールプレイ	_	事前学習:子ども理解 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
5	生徒指導上の諸問題 I	生徒指導上の諸問題 I 一 グループ討議(校則・校内 規律	車を中心として) ―	事前学習:校則 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
6	生徒指導上の諸問題Ⅱ	児生徒指導上の諸問題Ⅱ 一 グループ討議(児童・生徒の 問	問題行動を中心として) ―	事前学習:問題行動 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
7	学級経営上の諸問題 I (中)	学級経営上の諸問題 I (中) 一 グループ討議(いじめ・不登校	を中心に) 一	事前学習:いじめの現状 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
8	学級経営上の諸問題Ⅱ(中)	学級経営上の諸問題Ⅱ(中) — 発達障害の子どもの理解とその	り対応の仕方 ―	事前学習:発達障害について グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
9	学級経営上の諸問題Ⅲ(高)	学級経営上の諸問題Ⅲ(高) — グループ討議(進路・メディ)	事前学習:メディアリテラシーについて/グループ討議の「振り返り」提出(4時間)				
10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 — グループ討議(情報管理・事品	牧・災害への対応を中心として) ―	事前学習:学校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
11	学級経営上の諸問題IV	学級経営上の諸問題IV — グループ討議(教員に求められ	1る人権感覚)―(外部講師)	事前学習:学校現場の人権 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)			
12	教材研究と指導案の作成	教材研究と指導案の作成 一 地歴・公民・中学社会の授業を係	別として 一	事前学習:指導案 授業内容を確認し整理・記録する (4時間)			
13	指導案に基づく授業の実践 と再検討	指導案に基づく授業の実践と再検討 一 情報・福祉の授業を例として	_	事前学習:模擬授業の準備 授業内容を確認し整理・記録する (4時間)			
14	学校におけるICT機器の効 果的な活用法	学校におけるICT機器の効果的な活用 — グループ討議 —	法	事前学習:ICTの活用法 グループ討議「振り返り」提出 (4時間)			
15	全体のまとめ	まとめ 課題レポートのテーマについて 一 受講生各自の到達点の確認と	う後の努力目標の設定 ―	事前学習:教職課程への取り組み のまとめ レポート提出(4時間)			
テニ	Fスト		成績評価の方法・基準				
使月	目しません。		受講態度:30% 出席レポート:50% レポート:20% S:探究的な姿勢で意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを十分に理解した適切な内容である。他者の意見も踏まえ、建設的な意見も言える。A:意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを理解した内容である。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。B:概ね意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見が言える。C:課題のねらいを概ね踏まえて、学習活動ができ、何とか自分の意見が言える。C:課題のねらいを概ね踏まえて、学習活動ができ、何とか自分の意見				
参和	書		履修上の注意(学生へのメッセージ)				
		資料を配布し、各学生に応じて必要な参考	考 教職課程のまとめとなる授業です。積極的に参加し、見識を深め知識や技能を確実に良につけましょう。				
書~	や参考文献を紹介します。		確実に身につけましょう。				

科目名	教職	教職実践演習(保健・保健体育)					4年後期	単位数	2	ナンパ・リンク・		研究室	W-02
担当者	山﨑 保寿	・小松 カ	き美・藤江 英明	玲子・岩間	必修選	뫬	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2回	限	
関連資格	中一(保体))、高一(保体	、中一(保信	建)、高一(保			履修条件	教職	課程履修者				
ディプロ	マポリシーと	:の関連性	カリキュラ	の関連性			履修文	才象入 字	学年度(読替	科目)			
			Α	В	С								

対象:保健体育・保健(中・高)大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最 低限必要な実践的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない 部分を生涯にわたって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 社会性及び対人関係能力 生徒理解の能力及び生徒指導能力 教科の専門 的知識及び指導力 学級経営能力 を身につける。

授業の進め方

_	テーマー今後の自己の課題を見出す教職実践演習										
		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です									
回	テーマ	内容	事前事後学修								
1	ガイダンス	ガイダンス 「教職実践演習」授業の意義と目的 授業の進め方等について説明します。	ガイダンスの内容を確認・整理・ 記録(4時間)								
2	期待される教員像について	期待される教員像について グループ討議	事前学習:期待される教員像 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
3	「学校・家庭・地域の連携 及び協働」	「学校・家庭・地域の連携及び協働」について	事前課題:学校・家庭・地域の連携・協働の在り方/グループ討議の「振り返り」提出(4時間)								
4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解 グループ討議・ロールプレイ	事前学習:子ども理解 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
5	生徒指導上の諸問題	生徒指導諸問題 グループ討議(「校則・校内規律」を中心として)	事前学習:校則 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
6	生徒指導上の諸問題	生徒指導上の諸問題 グループ討議(児童・生徒の 問題行動を中心として)	事前学習:問題行動 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
7	学級経営上の諸問題 (中)	学級経営上の諸問題 (中) グループ討議(いじめ・不登校を中心として)	事前学習:いじめの現状 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
8	 学級経営上の諸問題 (中) 	学級経営上の諸問題 (中) 発達障害の子どもの理解とその対応の仕方	事前学習:発達障害について グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
9	 学級経営上の諸問題 (高) 	学級経営上の諸問題 (高) グループ討議(進路・メディアリテラシーを中心として)	事前学習:メディアリテラシーについて/グループ討議の「振り返り」提出(4時間)								
10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 グループ討議(情報管理・事故・災害への対応を中心として)	事前学習:学校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
11	学級経営上の諸問題	学級経営上の諸問題 グループ討議(教師に求められる人権感覚) (外部講師)	事前学習:学校現場の人権 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)								
12	保健体育科の授業づくり	保健体育科の授業づくり 教材開発・カリキュラム構成	事前学習:指導案と教材開発 授業内容を確認し整理・記録する (4時間)								
13	保健体育科の授業づくり	保健体育科の授業づくり 学習指導法・評価方法	事前準備:学習指導と評価 授業内容を確認し整理・記録する (4時間)								
14	保健体育科教員に求められ る資質	保健体育科教員に求められる資質 グループ討議(教科経営を中心として)	事前準備:学校運営と体育科経営 グループ討議「振り返り」提出 (4時間)								
15	全体のまとめ	まとめ 課題レポートのテーマについて 受講生各自の到達点の確認と今後の努力目標の設定	事前学習:教職課程への取り組みのまとめ レポート提出(4時間)								
テ=	キスト	成績評価の方法・基準									
使月	用しません。	。A:意欲的に取り組み、レポート及 ある。他者の意見を踏まえ、自分の意 レポート及び発言は、課題のねらいを	6 レポート: 20% 、レポート及び発言は、課題のねらいを十 すの意見も踏まえ、建設的な意見も言える び発言は、課題のねらいを理解した内容で 気見が言える。B: 概ね意欲的に取り組み、 概ね把握した内容である。自分の意見が えて、学習活動ができ、何とか自分の意見								
参	書	履修上の注意(学生へのメッセー	履修上の注意 (学生へのメッセージ)								
授達書	業ごとに授業内容に応じた講義資 や参考文献を紹介します。	め本講義は、これまでの学習の整理・	教員の学びは、むしろ学校現場に出てからが本当のスタート言えます。そのため本講義は、これまでの学習の整理・復習だけでなく、自分自身が課題を見つけようとする積極的な姿勢が望まれます。								

科目名		教職実践演	[習(養護教]	学年学	期	4年後期	単位数	2	ナンパ・リンク・		研究室	W-02	
担当者	山﨑 保	寿・小松	茂美・藤江 節子	玲子・中島	必修選	戥択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2四	限	
関連資格	養教一					履修条件	教職	課程履修者					
ディプロ	マポリシー。	ヒの関連性	カリキュラ	ラムポリシーと	の関連性			履修文	才象入 🖰	学年度(読替	科目)		
			A	В	С								

対象:養護教諭 大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践 的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわ たって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 社会性及び対人関係能力 児童・生徒理解能力及び児童・生徒指導能力 養護の専門的知識及び指導力 保健室経営管理能力 を身につける。

授業の進め方

ガイダンス 対域を強力 対域を強力を強い 対域を対します 対域を対し		アーマー学後の自己の課題を見出9 教職美政演習 受業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
1 ガイダンス 「教職実践演習」授業の意義と目的 ガイダンスの内容を確認・整理 記録(4時間)												
2 期待される教員像について	凹	ケーマ										
2 期待される教員像について	1	ガイダンス	ガイダンス	受業の意義と目的								
及び協働。	2	期待される教員像について	期待される教員像について グループ討議		グループ討議「振り返り」提出							
4 子どもの心理・児童理解	3	「学校・家庭・地域の連携 及び協働」	「学校・家庭・地域の連携及び協働」	, について	事前課題:学校・家庭・地域の連携・協働の在り方/グループ討議の「振り返り」提出(4時間)							
□ 生徒指導上の諸問題	4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解について グループ討議・ロールプレイ		グループ討議「振り返り」提出							
6 生徒指導上の諸問題	5	生徒指導上の諸問題	生徒指導上の諸問題 グループ討議(「校則・校内規	律」を中心として)	グループ討議「振り返り」提出							
7 学級経営上の諸問題 (中)	6	生徒指導上の諸問題		問題行動を中心として)	グループ討議「振り返り」提出							
8 学級経営上の諸問題 (中) 学	7	学級経営上の諸問題 (中)	学級経営上の諸問題 (中) グループ討議(いじめ・不登校	を中心として)	グループ討議「振り返り」提出							
9 学級経営上の諸問題 (高) 子が経過上の相問題 (電)・メディアリテラシーを中心として) ついて / グループ討議の「振りり」提出 (4時間) 学級の安全と危機管理 学級の安全と危機管理 学級の安全と危機管理 グループ討議 (情報管理・事故・災害への対応を中心として) グループ討議「振り返り」提出 (4時間) 学級経営上の諸問題 アループ討議 (教師に求められる人権感覚) (外部講師) 第 前学習:学校現場の人権 グループ討議 (振り返り」提出 (4時間) 事 前学習:学校現場の人権 グループ討議 (振り返り」提出 (4時間) 字どもの健康課題に対応できる実践力 情報 収集・実施・評価を中心として 対応 授業内容を確認し整理・対応・授業内容を確認し整理・対応・授業内容を確認し整理・対応・投資内容を確認し整理・対応・技術・評価を中心として 場づいープ討議「振り返り」提出 (4時間) まとめ 課題 パループ討議 (振り返り」提出 (4時間) 事 前学習: 保健室経営と組織活動における養護教諭の役割 ずループ討議「振り返り」提出 (4時間) 事 前学習: 保健室経営と組織活動における養護教諭の役割 ずループ討議「振り返り」提出 (4時間) まとめ 課題 パーラジ言法 (4時間) 事 前学習: 教職課程への取り組 が、上ボートのテーマについて 登録を度 33% 出席レポート: 50% レポートの取り組 ルポート及び発音は、課題のおらいを集解したの意見が言える。 5: 概ね意欲的に取り組み、レポート及び発音は、課題のならに意解し知及・レポート及び発音は、課題のならにを解いし続い、「課院のならにを報知となる、他者の意見も踏まえ、建設的な意見も言え。 6: 意然的に取り組み、レポート及び発音は、課題のならにを解しいに対解したが、でき解して経解したの表である。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。 6: 概ね意欲的に取り組み、レポート及び発音は、課題のならにを解いし続い、表述の記し、対解しならにを解いといい、表述の記し、対解しならいを表述の意見が言える。 6: 微れを認めに変別と言える。 6: 意欲を変形に取り組み、レポート及び発音は、課題のならにを解い知及・レポート及び発音は、課題のならにを解いと対解した。 5: 意欲的に取り組み、レポート及び発音は、課題のならにを解いの意見を踏まえ、音報の記しいを紹和を見たした音楽的といる。 2: 意欲のに取り組み、レポート及び発音は、課題のならいを表述の記し、できないとは、表述の記し、とを確認できるました、とを確認できるまうに、との問義・実習、教育実習で学んだことを確認できるまうに、とでの問義・実習、教育実習で学んだことを確認できるまうに、とでの問義・実習、教育実習で学んだことを確認できないとを確認できないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとな	8	学級経営上の諸問題 (中)	学級経営上の諸問題 (中) 発達障害の子どもの理解とその対	対応の仕方	グループ討議「振り返り」提出							
10 学級の安全と危機管理	9	学級経営上の諸問題 (高)	学級経営上の諸問題 (高) グループ討議 (進路・メディス	アリテラシーを中心として)	事前学習:メディアリテラシーについて / グループ討議の「振り返り」提出 (4時間)							
11 学級経営上の諸問題	10	学級の安全と危機管理		女・災害への対応を中心として)	グループ討議「振り返り」提出							
12 保健指導の再点検	11	学級経営上の諸問題	学級経営上の諸問題 グループ討議(教師に求められ	れる人権感覚) (外部講師)	グループ討議「振り返り」提出							
13 さる実践力	12	保健指導の再点検		设活用)	グループ討議「振り返り」提出							
14	13	子どもの健康課題に対応で きる実践力	子どもの健康課題に対応できる実践/ 情報 収集・実施・評価を中心) として	事前学習:子どもの健康課題への 対応 授業内容を確認し整理・記録する(4時間)							
15 全体のまとめ	14	保健室経営と組織活動にお ける養護教諭の役割	保健室経営と組織活動における養護教 グループ討議	牧諭の役割	グループ討議「振り返り」提出							
使用しません。 受講態度:30% 出席レポート:50% レポート:20% S:探究的な姿勢で意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを 分に理解した適切な内容である。他者の意見も踏まえ、建設的な意見も言。A:意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを理解した内容 ある。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。B:概ね意欲的に取り組み レポート及び発言は、課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見 する。C:課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見 言える。C:課題のねらいを概ね踏まえて、学習活動ができ、何とか自分の意 が言える。 参考書 「種修上の注意(学生へのメッセージ) 養護教諭は一人配置が多く、社会に出た時から実践力を求められます。基礎 書や参考文献を紹介します。	15	全体のまとめ	課題レポートのテーマについて	努力目標の設定								
使用しません。 受講態度:30% 出席レポート:50% レポート:20% S:探究的な姿勢で意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを 分に理解した適切な内容である。他者の意見も踏まえ、建設的な意見も言。A:意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを理解した内容 ある。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。B:概ね意欲的に取り組み レポート及び発言は、課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見 ある。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。B:概ね意欲的に取り組み レポート及び発言は、課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見 言える。C:課題のねらいを概ね踏まえて、学習活動ができ、何とか自分の意 が言える。 参考書 「を考集の容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考 を複数論は一人配置が多く、社会に出た時から実践力を求められます。基礎 を変える。を確認できるように、学内の講義・実習、教育実習で学んだことを関	テ=	F スト		成績評価の方法・基準								
参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ) 授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考 養護教諭は一人配置が多く、社会に出た時から実践力を求められます。基礎 書や参考文献を紹介します。 なことを確認できるように、学内の講義・実習、教育実習で学んだことを関				S: 探究的な姿勢で意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを分に理解した適切な内容である。他者の意見も踏まえ、建設的な意見も言える。A: 意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを理解した内容ある。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。B: 概ね意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見か言える。C: 課題のねらいを概ね踏まえて、学習活動ができ、何とか自分の意								
授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考 養護教諭は一人配置が多く、社会に出た時から実践力を求められます。基礎書や参考文献を紹介します。 教育実習で学んだことを関	参	学書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)								
100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	授	 業ごとに授業内容に応じた講義資		養護教諭は一人配置が多く、社会に出た時から実践力を求められます。基礎的なことを確認できるように、学内の講義・実習、教育実習で学んだことを関連								

科目名	教職実践演習 (栄養教諭)				学年学	期 4年後期	単位数	2	ナンパ・リンク・		研究室	W-02
担当者	山﨑 保差	寺・小松	茂美・藤江 直子	玲子・廣田	必修選	択 必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2四	限	
関連資格							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関						履修文	寸象入 🖰	学年度(読替	科目)		
	A B											

対象:栄養教諭 大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践 的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわ たって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 社会性及び対人関係能力 児童・生徒理解及び児童・生徒指導能力 栄養教諭の専門的知識 「食に関する指導」能力 を身につける。

授業の進め方

1 ガイダンス 「教職実践演習」授業の意義と目的		-マ 今後の目己の課題を見 *計画(名回のニ ス等)		ᄪᅠᇰᄡᄼᆄᅅᄆᅛᄳᆂᄜᄯᄆᄒᆓᅩ	つ 書 い か に + `本 中 却 - と + +	
1 ガイダンス 「教職実践演習」授業の産会と目的	安 回					
2 期待される教員像について		•	ガイダンス 「教職実践演習」持	受業の意義と目的	ガイダンスの内容を確認・整理・	
	2	期待される教員像について	期待される教員像について グループ討議		グループ討議の「振り返り」提出	
### 12 *** ### 15 ** ### 15 ** ### 15 ** ### 15 ** ### 15 ** ### 16 ** ### 16 ** ### 16 ** ### 16 ** ### 16 ** ### 16 ** #### 16 ** #### 16 ** #### 16 ** #### 16 ** #### 16 ** #### 16 ** ##### 16 ** ##### 16 ** ##### 16 ** ##################################	3	「学校・家庭・地域の連携 及び協働」	「学校・家庭・地域の連携及び協働」	について	事前課題:学校・家庭・地域の連携・協働の在り方/内容のまとめ(4時間)	
5 生徒指導上の諸問題	4	子どもの心理・児童理解			グループ討議の「振り返り」提出	
### 19	5	生徒指導上の諸問題		見律」を中心として)	グループ討議の「振り返り」提出	
7 学級経営上の諸問題 (中) デが経営上の諸問題 (中) デが経営上の諸問題 (中) 学級経営上の諸問題 (中) 学級経営上の諸問題 (中) 学級経営上の諸問題 (中) 学級経営上の諸問題 (南) 学級経営上の諸問題 (高) 学級経営上の諸問題 (高) 学級経営上の諸問題 (高) 学級経営上の諸問題 (高) 学級経営上の諸問題 (連路・メディアリテラシーを中心として) フループ討議の「振り返り」提出 (4時間) 事前学習:メディアリテラシーフいて / グループ討議の「振り返り」提出 (4時間) 学級の安全と危機管理 学級の安全と危機管理 学級の安全と危機管理 クループ討議 (情報管理・事故・災害への対応を中心として) リカ 提出 (4時間) 事前課題:学校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間) 事前学習:文校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間) 事前学習:文校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出 (4時間) 事前学習:文校の危機管理 グループ討議の「振り返り」 援 (4時間) 事前学習:文校現場の人権 グループ討議の「振り返り」 援 (4時間) 事前学習:文校現場の人権 グループ討議の「振り返り」 援 教科と特別活動で実施する (4時間) 事前学習:文校現場の人権 グループ討議 「食に関する指導」の再点検 指導案の作成に関するグループ討議 「作り返り」 援 教科と特別活動で実施する「食に関する指導」の再点検 指導案の作成に関するグループ討議 (4時間) 事前学習:文校現場の人権 グループ討議 (4時間) 事前学習:文校現場の人権 グループ討議 (4時間) 事前学習:文校現場の上が上が計論の「振り返り」提 (4時間) 事前学習:文校現場の上が上が計論の「振り返り」提 (4時間) 事前学習:文校別第12 (4時間) 事前学習:文校別第12 (4時間) 事前学習:文校別第12 (4時間) 事前学習:文校別第12 (4時間) 事前学習:文校別第12 (4時間) 第12 (4時間) 第	6	生徒指導上の諸問題		題行動を中心として)	グループ討議の「振り返り」提出	
8 学級経営上の諸問題 (中)	7	学級経営上の諸問題 (中)	学級経営上の諸問題 (中) グループ討議(いじめ・不登校	を中心として)	グループ討議の「振り返り」提出	
9 学級経営上の諸問題 (高)	8	学級経営上の諸問題 (中)	学級経営上の諸問題 (中) 発達障害の子どもの理解とその	D対応の仕方	グループ討議の「振り返り」提出	
学級の安全と危機管理	9	学級経営上の諸問題 (高)	学級経営上の諸問題 (高) グループ討議(進路・メディフ	アリテラシーを中心として)	事前学習:メディアリテラシーに ついて / グループ討議の「振り返 り」提出 (4時間)	
学級経営上の諸問題	10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 グループ討議(情報管理・事故	女・災害への対応を中心として)	グループ討議の「振り返り」提出	
12 画」の作成	11	学級経営上の諸問題	学級経営上の諸問題 グループ討議(教員に求められ	1る人権感覚) (外部講師)	グループ討議の「振り返り」提出	
「食に関する指導」の再点 「食に関する指導」のコーディネーターとしての栄養教諭の役割 「食に関する指導」のファンは、は時間) 「食に関する指導」のコーディネーターとしての栄養教諭の役割 「食に関する指導」の取り組み 「水ート とめ、ア・ドラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12	「食に関する指導の全体計 画」の作成		艾について	事前学習:食に関する具体的指導 計画 グループ討議の「振り返り」提出	
14	13	「食に関する指導」の再点	教科と特別活動で実施する「食に関す 指導案の作成に関するグループ	する指導」の再点検 プ討議	グループ討議の「振り返り」提出	
受講生各目の到達点の確認と今後の努力目標の設定)		ディネーターとしての栄養		ターとしての栄養教諭の役割	グループ討議「振り返り」提出	
使用しません。			まとめ 課題レポートのテーマについて 受講生各自の到達点の確認と ²	今後の努力目標の設定	1	
S:探究的な姿勢で意欲的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらい 分に理解した適切な内容である。他者の意見も踏まえ、建設的な意見も言え。 A:意物的に取り組み、レポート及び発言は、課題のねらいを理解した内 ある。他者の意見を踏まえ、自分の意見が言える。B: 概ね意欲的に取り組 レポート及び発言は、課題のねらいを概ね把握した内容である。自分の意見 言える。C:課題のねらいを概ね踏まえて、学習活動ができ、何とか自分の が言える。						
	使用	月しません 。		S:探究的な姿勢で意欲的に取り組み、 分に理解した適切な内容である。他者の 。A:意欲的に取り組み、レポート及び ある。他者の意見を踏まえ、自分の意見 レポート及び発言は、課題のねらいを明 言える。C:課題のねらいを概ね踏まえ	レポート及び発言は、課題のねらいを十)意見も踏まえ、建設的な意見も言える 発言は、課題のねらいを理解した内容、 見が言える。B:概ね意欲的に取り組み、 ほれ握した内容である。自分の意見が	
授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考 書や参考文献を紹介する。 教職課程のまとめとなる授業です。グループ討議などを中心に進めていきま が、栄養教諭の特性を踏まえて、健康栄養学科で学んだ専門科目の知識や技 等を応用し、積極的な姿勢で学んでほしいと思います。	参考	書				
	授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考 書や参考文献を紹介する。 教職課程のまとめとなる授業です。グループ討議などを中心に が、栄養教諭の特性を踏まえて、健康栄養学科で学んだ専門科 等を応用し、積極的な姿勢で学んでほしいと思います。					

													100
科目名	地理歷史科指導法 I				学年学	纠	2・3年前期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	非常勤
担当者		仁利	1 利明		必修選	髸択	選択必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(社会)	中一(社会)						履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関				この関連性			履修刘	付象入	学年度 (読替:	科目)		
1	② ③ A B				C								

本講義は、中学校学習指導要領にもとづいて中学校社会科がめざす目標や教科としての特色について学ぶとともに、地理的分野と歴史的分野の目標と内容、分野相互の共通点や関連性などについて理解と認識を深めていきます。また、国際社会に生きる平和で民主的な社会を形成していく生徒の、地理的認識を養い歴史的思考力を培うことを目的に、教材研究、学習指導案の作成、模擬授業などを通して中学校社会科における各分野の指導に必要な基礎的知識や技能の修得をめざします。

学修到達目標

中学校社会科の各分野の目標と内容への理解を深め、生徒の地理的認識を養い歴史的思考力を培う授業のあり方を検討し、教材研究の深 化、学習指導計画の立案、授業目標の設定、指導内容の精選、学習指導案の作成、教育実習を念頭にした模擬授業を通して、生徒の主体 的な学びを支援する実践的な指導力を修得している。

講義のほか、教材研究、学習指導案の作成、模擬授業、模擬授業後の考察などを組み合わせて展開します。模擬授業は、地理歴史科 3科 目を受講生が交代で行い、授業後の意見交換や相互評価などを通して成果と課題を共有し、自らの授業作りに役立てていきます。

	と と計画(各回のテーマ等)※	事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	記載以外にも適宜課されます。
回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義ガイダンス 中学校社会科の目標	講義の概要、到達目標、授業の進め方、評価方法などを説明します。中 学校社会科の目標について学習指導要領をもとに考察します。	学習指導要領解説社会編の第 1章 、第 2章第 1節を事前に読み予習 する。(4時間)
2	地理的分野と歴史的分野の 目標と内容	地理的分野と歴史的分野の目標とについて理解を深め、各分野の内容を 考察します。	中学時代のノートなどを見直し授 業で学んだことを整理する。(4時間)
3	中学校社会科の授業と教材 研究、模擬授業の計画	生徒の学びを支援する授業のあり方と教材研究について考えます。本講 義で受講生が行う模擬授業担当と日程を検討します。	学習指導要領解説社会編の第 2章 第 2節を事前に読んで予習する。 (4時間)
4	地理的分野の授業のあり方 と教材研究	生徒が地理的な見方・考え方を働かせる授業のあり方を考察し、教材研究の具体的な進め方について考えます。	教科書や資料集以外で授業に活用できる教材について考えておく。 (4時間)
5	地理的分野の授業と学習指 導案の作成	受講生が担当する模擬授業の学習指導案-次案を素材として検討し、模 擬授業の展開を支える学習指導案を作成していきます。	担当授業の教材研究を進めて事前 に学習指導案 1次案を作成する。 (4時間)
6	地理的分野の学習指導案の 検討 地理的分野の模擬授 業①	模擬授業の学習指導案二次案を受講生相互に検討します。地理的分野の 模擬授業①を行い、受講生同士の意見交換や相互評価を行います。	担当する授業の教材研究を深めて 学習指導案 2次案を作成する。 (4時間)
7	地理的分野の模擬授業②	前時に続き地理的分野模擬授業②を行います。授業後に受講生同士の意 見交換や相互評価などを行い、成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して 成果と課題を明確にする。(4時間)
8	地理的分野の模擬授業のま とめ 意見交換と考察	地理的分野の模擬授業を通した成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業 のあり方を考えてまとめる。(4時 間)
9	教材研究と学習指導案の再 考	模擬授業の体験をふまえ、教材研究の重要性や学習指導案の意義、授業 の進め方などについて考察します。	事前の教材研究と担当授業のでき 具合の関係を振り返り整理する。 (4時間)
10	歴史的分野の授業のあり方 と教材研究	生徒が歴史的な見方・考え方を働かせる授業のあり方を考察し、教材研究の具体的な進め方について考えます。	教科書や資料集以外で授業に活用できる教材について考えておく。 (4時間)
11	歴史的分野の授業と学習指 導案の作成	受講生が担当する模擬授業の学習指導案一次案を素材として検討し、模 擬授業の展開を支える学習指導案を作成していきます。	担当授業の教材研究を進めて事前 に学習指導案 1次案を作成する。 (4時間)
12	歴史的分野の学習指導案の 検討 歴史的分野の模擬授 業①	模擬授業の学習指導案二次案を受講生相互に検討します。歴史的分野の 模擬授業①を行い、受講生同士の意見交換や相互評価を行います。	担当する授業の教材研究を深めて 学習指導案 2次案を作成する。 (4時間)
13	歴史的分野の模擬授業②	前時に続き歴史的分野模擬授業②を行います。授業後に受講生同士の意 見交換や相互評価などを行い、成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して 成果と課題を明確にする。(4時間)
14	歴史的分野の模擬授業のま とめ 意見交換と考察	歴史的分野の模擬授業を通した成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業 のあり方を考えてまとめる。(4時 間)
15	地理歴史科指導法の研究と まとめ	地理的分野と歴史的分野の目標や授業のあり方、授業方法などを改めて 考察し、今後の課題を明確にしていきます。	講義や模擬授業で得たことを整理 して提出物や試験に備える。(4時 間)
	トスト	成績評価の方法・基準	
F	中学校学習指導要領解説 社会網	福」文部科学省編(日本文教出版)(生協で 受講態度:20% レポート:30% 課題 (日本文教出版) (生協で 受講態度:20% レポート:30% 課題	1:30% 定期試験:20%

「中学校学習指導要領解説 社会編」文部科学省編(日本文教出版)(生協で 購入してください。) 「新編 新しい社会 地理」坂上康俊ほか著(東京書籍)(別途、指示します 「新編 新しい社会 歴史」坂上康俊ほか著(東京書籍)(別途、指示します 「新編 新しい社会 地図」矢ヶ崎典隆ほか著(東京書籍)(別途、指示しま す。)

受講態度:20% レポート:30% 課題:30% 定期試験:20% S:教科科目の目標や内容を理解して教材研究を深め、教育実習水準の学習指導案を作成して意欲的に模擬授業を行い、指導力を高めている。A:目標や内容を理解して教材研究を基に学習指導案を作成し、模擬授業等に積極的に取り組んでいる。B:目標や内容を踏まえて学習指導案を作成し、模擬授業等に取り組んでいる。C:内容に沿って学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。

参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ)

「中学校学習指導要領」文部科学省編(東山書房) 「アドバンス中学地理資料」(帝国書院) 「アドバンス中学歴史資料」(帝国書院) 他は諸

他は講義の中で紹介します。

学校現場での指導経験を活かした講義展開をします。生徒に何を伝え、考えさせるかという問題意識を持つとともに、新聞や関連書籍を読んで教科指導に関わる基礎的知識を蓄積し、自らのものの見方や考え方を深めてください。

科目名	地理歷史科指導法Ⅱ				学年学	期	2・3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	非常勤
担当者		仁和	斗 利明		必修選	銀択	選択必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(社会)	中一(社会)						履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性						履修刘	付象入	学年度 (読替:	科目)		
1	2	② ③ A B											

本講義は、地理歴史科指導法 I の内容を発展させ、中学校社会科がめざす目標や教科の特色、地理的分野と歴史的分野の性格と目標、分野相互の関連性などについての理解と認識をさらに深めます。また、生徒の地理的認識を養い歴史的思考力を培う授業はどうあるべきかを意識して教材研究や学習指導案を深めていくとともに、複数回の模擬授業への取り組みを通して中学校社会科における各分野の指導に求められる総合的な知識と高い技能の修得をめざします。

学修到達目標

中学校社会科の各分野の目標と内容をふまえ、各分野の授業のあり方を追求し、年間および単元学習指導計画の立案、教材研究を深めた 学習指導案の作成、指導内容の精選、生徒の学習活動の検討、評価の観点について考察しながら各分野の模擬授業に取り組み、教育実習 に臨むためのより実践的な指導力を修得している。

授業の進め方

「中学校学習指導要領」文部科学省著(東山書房) 「アドバンス中学地理資料」(帝国書院) 「アドバンス中学歴史資料」(帝国書院) 他は諸

他は講義の中で紹介します。

講義のほか、教材研究、学習指導案の作成、模擬授業、模擬授業後の考察などを組み合わせて展開します。模擬授業は、教育実習を想定 したより実践的なものになります。模擬授業後の成果と課題を受講生が共有し、一人一人の授業作りに役立つ取り組みを深めます。

授美		事前事後学修の時間は1単位科目は1時	間、2単位科目は4時間が目安です。	
旦	テーマ	内容	3	事前事後学修
1	講義ガイダンス 学習目標と学習指導計画	授業概要、学修目標、授業の進め方、 各分野の目標にもとづいて学習指導記	成績評価方法などを説明します。 画を考えていきます。	教科書にもとづいて各科目の年間 指導計画を事前に立案する。(4時間)
2	模擬授業の展開 教材研究と学習指導案 A	模擬授業 A~ Cの担当と日程を検討し I の模擬授業体験をふまえて学習指導	」ます。教材研究を深め、指導法 享案を作成していきます。	担当授業を年間および単元指導計 画のなかに位置づけて考える。 (4時間)
3	学習指導案 Aの検討 模擬授業 A①	模擬授業 Aの学習指導案を相互に検言業後に受講生同士の意見交換や相互記	けします。模擬授業 Aを実施し、授 評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて 事前に学習指導案 Aを作成する。 (4時間)
4	模擬授業 A②	前時に続いて模擬授業 Aを実施し、技 互評価などを行って成果と課題を共存	受業後に受講生同士の意見交換や相 すします。	受けた模擬授業の内容を整理して 成果と課題を明確にする。(4時間)
5	模擬授業 Aのまとめと考察	模擬授業 A全体を通して成果と課題を 材研究・学習指導案・指導技術などの	を確認し、授業目標・授業展開・教)観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業 のあり方を考えてまとめる。(4時間)
6	授業内容と学習活動の検討 学習指導案 Bの作成	授業者が展開する授業内容と生徒の主 検討します。模擬授業 Bの学習指導案	上体的な学習活動との関連について そを作成していきます。	生徒の主体的な学びを支援する授 業内容と指導方法を考える。(4時 間)
7	学習指導案 Bの検討 模擬授業 B①	模擬授業 Bの学習指導案を相互に検言業後に受講生同士の意見交換や相互言	ー けします。模擬授業 Bを実施し、授 評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて 事前に学習指導案 Bを作成する。 (4時間)
8	模擬授業 B②	前時に続いて模擬授業 Bを実施し、技 互評価などを行って成果と課題を共	受業後に受講生同士の意見交換や相 すします。	受けた模擬授業の内容を整理して 成果と課題を明確にする。(4時間)
9	模擬授業 Bのまとめと考察	模擬授業 B全体を通して成果と課題を 材研究・学習指導案・指導技術などの	全確認し、授業目標・授業展開・教 2観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業 のあり方を考えてまとめる。(4時 間)
10	学習活動と評価観点の検討 学習指導案 Cの作成	生徒の学習活動をどのように評価する て検討します。模擬授業 Cの学習指導	るか、評価の観点の設定などについ 身案を作成していきます。	生徒の学習活動について何をどのように評価するかを考える。(4時間)
11	学習指導案 Cの検討 模擬授業 C①	模擬授業 Cの学習指導案を相互に検言業後に受講生同士の意見交換や相互評	付します。模擬授業 Cを実施し、授 評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて 事前に学習指導案 Cを作成する。 (4時間)
12	模擬授業 C②	前時に続いて模擬授業 Cを実施し、技 互評価などを行って成果と課題を共有	受業後に受講生同士の意見交換や相 すします。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
13	模擬授業 Cのまとめと考察	模擬授業 C全体を通して成果と課題を 材研究・学習指導案・指導技術などの	を確認し、授業目標・授業展開・教 D観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業 のあり方を考えてまとめる。(4時 間)
14	模擬授業 A~ Cの分析とま とめ	模擬授業 A~ C全体を通して成果と訳・教材研究・学習指導案・指導技術な	課題を確認し、授業目標・授業展開 などの観点から分析します。	模擬授業の成果と教育実習に向け ての課題や改善点を整理する。 (4時間)
15	まとめ	各分野の目標や授業のあり方、授業内、教育実習に向けて成果と課題を明確	内容や指導技術などを改めて考察し なにしていきます。	講義や模擬授業で得たことを整理 して提出物や試験に備える。(4時 間)
-	トスト		成績評価の方法・基準	
歴「法「法「法」	担科指導法Ⅰで購入済です。 新編 新しい社会 地理」坂上身 Ⅰで購入済です。 所編 新しい社会 歴史」坂上身 Ⅰで購入済です。 新編 新しい社会 地図」矢ヶ崎	長俊ほか著(東京書籍) 地理歴史科指導	S:指導法 I の学びを発展させ、教材を)	得している。A:指導法Iの学びに基づ 指導力の向上をめざしている。B:指導 とし、模擬授業等に取り組んでいる。
導	去Iで購入済です。 		履修上の注意(学生へのメッセージ	<i>y</i>)

学校現場での指導経験を活かした講義展開をします。広い視野と十分な教材研究を土台に、現代世界の諸課題への生徒の理解を深め、平和で民主的な社会の実現を考えさせるという問題意識を持った模擬授業の取り組みを期待します。

科目名	公民科指導法			学年学	期	2・3年前期	単位数	2	ナンパ・リンク・		研究室	非常勤	
担当者		宮本	和夫		必修選	訳	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(社会)、高一(公民)							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロマ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの				この関連性			履修文	1象入字	学年度(読替	科目)		
	A B				С								

後期によっても困らないだけの実践能力を身につけることを目的とします。第4講までは「公民」という教科にはどのような科目があり、その内容・目的は何であるかを理解し、第5講以降「現代社会」について具体的に学び、実際に教壇に立ち模擬授業を行い、授業とはどのようなものかを体験します。また、公民科における情報機器や教材の活用法についても学んでいきます。

学修到達目標

公民科の「窓口」としての現代社会の内容を包括的に理解して、それを正しくわかりやすく伝える力を身につける。

授業の進め方

講義計画にある模擬授業の回数は受講生の数によって変動することがあるので、必ずしも講義計画どおり進まないことがあります。模擬 授業は教科書にそってその内容を教えるという一般的形態の授業を主としますが、具体的には授業者の工夫に任されます。

接続のガイダンス 接続の目指すもの。1年間の見通し。自分を表現する(自己紹介)	授	業計画(各回のテーマ等)	事前事後学修の時間は1単位科目は1時	間、2単位科目は4時間が目安です。	記載以外にも適宜課されます。
1 講義のガイダンス 講義の目指すもの。1年間の見通し。自分を表現する(自己紹介) (人民科の分野で展り下げて講義してした)でできた。大阪問題出の (人民科という教科について(1) - その目標を中心として ・					
2 数量がたこり現代社会の受験を振り返る (4時間)	1	講義のガイダンス			公民科の分野で掘り下げて講義し てほしいテーマを考え次回提出。
型性を考えてまとめる(4時間)	2	教育課程上の現代社会の位 置づけについて	公民科という教科について(1) - そ	の目標を中心として -	代の公民科の授業を振り返る
# 教わる"ことと"教える"こと。何を教えるのか。どう教えるのか。 図 翻雑性について考えをまとめる (相時間) # 指導案とは 「現代社会」の学習指導案作成 政治的分野について 意見、感想をまとめる (相時間) # 指導案検討 「現代社会」の学習指導案作成 経済的分野について 意見、感想をまとめる (相時間) # 指導案検討 「現代社会」の学習指導案作成 経済的分野について 意見、感想をまとめる (相時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Aグルー プリの批評を登課、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Bグルー プリの批評を登課、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Cグルー プリの批評を整理、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Eグルー プリの批評を整理、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Eグルー プけわれた模擬授業について自分な 別の批評を整理、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Eグルー プリの批評を整理、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Gグルー プラルた模擬授業について自分な 別の批評を整理、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Gグルー プラルた模擬授業とこいに自分な 別の批評を整理、記録する (4時間) # 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業主節の方法・基準 関係を定していている記述とのたこと、疑問会を記述された。 第 と と と に と と に を 記述する (4時間) # 授業論を深める	3	現代社会を学ぶとは	 公民科という教科について(2) - そ 	の内容を中心として -	
意見、感想をまとめる(4時間) 指導家検討 「現代社会」の学習指導案作成 経済的分野について 無限、感想をまとめる(4時間) 提業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Aグループに批評し、多角的に整理、記録する(4時間) 提業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Bグループの化群を整理、記録する(4時間) 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループの化群を整理、記録する(4時間) 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループの批評を整理、記録する(4時間) 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Gグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Gグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Gグループの批評を整理、記録する(4時間) 「現代社会」の模擬授業とこの行法の表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別	4	教えと学び	" 教わる " ことと " 教える " こと。 何	可を教えるのか。どう教えるのか。	困難性について考えをまとめる
1	5	指導案とは	「現代社会」の学習指導案作成 政治	台的分野について	
投業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ: Bグループ 行われた模擬授業について自分な	6	指導案検討	「現代社会」の学習指導案作成 経済	斉的分野について 	本講座の卒業生の授業案について 意見、感想をまとめる(4時間)
9 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Cグループ 行われた模擬授業について自分な リの批評を整理、記録する(4時間) 行われた模擬授業に応いて自分な リの批評を整理、記録する(4時間) 哲学実実習に学ぶ 講師による模擬授業の展開 自分の行なった授業を省みて気づいたこと、疑問点を記録する(4時間) 自分の行なった授業を省みて気が 関点を記録する(4時間) にことを記録する(4時間) 「一篇校現代社会」の無限に対する(4時間) 「一篇校現代社会」の無限に対する(4時間) 「一篇校現代社会」の無限に対する(4時間) 「一篇校現代社会」の無限に対するにと、新教科目の目標や内容を理解し、教材研究を表し、数析料目の目標や内容を理解し、教材研究を表し、教科科目の目標や内容を理解し、教材研究を表し、教科科目の目標や内容を理解し、教材研究を表し、教科科目の目標や内容を理解し、教材研究を表えが、工作の言語の学を作成して機関授業を行うことができる。以教科目の目標や内容を理解し、教材研究を表えると述のできる。と述できる、と述を提供を表することができる。と述を表して書記録が表されまることでできる。と述を表しま述を表するに表明すること。	7	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Aグルー	りに批評し、多角的に整理、記録
10 授業実習に学ぶ 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループ 行われた模擬授業について自分なりの批評を整理、記録する (4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Eグループ 「力れた模擬授業について自分なりの批評を整理、記録する (4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループ 「力れた模擬授業について自分なりの批評を整理、記録する (4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Fグループ 「力れた模擬授業について自分なりの批評を整理、記録する (4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Gグループ 「力れた模擬授業について自分なりの批評を整理、記録する (4時間) 「現代社会」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Gグループ 「力れた模擬授業について自分なりの批評を整理、記録する (4時間) 自分の行なった授業を省みて気づいたことや参考になったこと、疑問点を認まする (4時間) 自分の行なった授業を省みて気づいたこととを記録する (4時間) 「現代社会」の模擬授業を振り返り、反省点や学んだ点を出し合って授業への理 講義と模擬授業実践を顧みて、教育点を深める 各自の模擬授業を振り返り、反省点や学んだ点を出し合って授業への理 講義と模擬授業実践を顧みて、教育にしていて認識を深めたこと、新たにしたことを記録する (4時間) 「意校現代社会」伊藤光晴ほが著井上貴文ほか編(実教出版) ISBN:978-4- (407-20206-9 (別途、指示します。) 「銀額に対して模様授業を行うことができる。A 教科科目の目標や内容を理解して表明を実施が研究を表して教研研究を深め、教育実習水準の学習指導を作成して模擬授業を行うことができる。B 的 科科目の目標や内容を理解して表明で表示のよる。A 教科科目の目標や内容を理解して機模授業を行うことができる。 日報時目の目標や内容を理解して表明でする。A 教科科目の目標や内容を理解して表明でする。C 生産的を積極的へ表明すること。を書画を積極的に表明すること。 「本語を積極的に表明すること」を表現を構造を構造的で表明すること。 「本語を積極的に表明すること」を表現を構造して表明すること)を表現を構造の表示のに対して対しまして、技術を関するに表明すること。 「本語を積極的に表明すること」を表現を構造して表明すること)を表現を構造のに表明すること。 「本語を積極的に表明する」と、「表記を構造的に表明する」と、「対しな、「技術学」と、「表記を構造的に表明する」と、「表記を表明と表明にです。 日間 「本語・日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間	8	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Bグルー	りの批評を整理、記録する(4時
11 授業実習に学ぶ	9	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Cグルー	りの批評を整理、記録する(4時
12 授業実習に学ぶ	10	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Dグルー	りの批評を整理、記録する(4時
13 授業実習に学ぶ	11	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Eグルー	りの批評を整理、記録する(4時
14 授業実習に学ぶ 講師による模擬授業の展開 自分の行なった授業を省みて気づいたことや参考になったこと、疑問点を記録する(4時間) 日点を記録する(4時間) 日点を記録する(4時間) 日点を記録する(4時間) 日点を記録する(4時間) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	12	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Fグルー	りの批評を整理、記録する(4時
14 授業実習に学ぶ 講師による模擬授業の展開 いたことや参考になったこと、疑問点を記録する(4時間) 講義と模擬授業実践を顧みて、教解を深める 日日の模擬授業を振り返り、反省点や学んだ点を出し合って授業への理 講義と模擬授業実践を顧みて、教職について認識を深めたこと、新たにしたことを記録する(4時間) アキスト 「高校現代社会」伊藤光晴ほか著井上貴文ほか編(実教出版) ISBN:978-4-407-20206-9 (別途、指示します。) 「ISBN:978-4-2-20206-9 (別途、指示します。) 「ISBN:978-4-2-20206-9 (別途、指示します。) 「国際・大会教授・大会教授・大会教授・大会教授・大会教授・大会教授・大会教授・大会教授	13	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析プ	模擬授業実施グループ:Gグルー	りの批評を整理、記録する(4時
15 授業論を深める	14	授業実習に学ぶ	講師による模擬授業の展開		いたことや参考になったこと、疑
「高校現代社会」伊藤光晴ほか著井上貴文ほか編(実教出版) ISBN:978-4-407-20206-9 (別途、指示します。)			解を深める 		職について認識を深めたこと、新
407-20206-9 (別途、指示します。) S: 教科科目の目標や内容を理解して教材研究を深め、教育実習水準の学習指導案を作成して模擬授業を行うことができる。A: 教科科目の目標や内容を理解し、教材研究を表生に学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。B: 教科科目の目標や内容を予まえて学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。C: 担当科目の内容に沿って学習指導案を作成することができる。C: 担当科目の内容に沿って学習指導案を作成することができる。C: 担当科目の内容に沿って学習指導案を作成することができる。受講態度とは模擬授業の合評会で、生産的な意見および自らの授業に生かせる点等を積極的に表明すること。 参考書 「高等学校学習指導要領解説 公民編」(東京書籍) 「中学校学習指導要領解説 社会科」(東洋館出版社) 「南等学校学習指導要領解説 社会科」(東洋館出版社)	テ	キスト		成績評価の方法・基準	
「高等学校学習指導要領解説 公民編」(東京書籍) 教師として重要な資質は、単に教え方が上手だというだけでなく、授業に対す 「中学校学習指導要領解説 社会科」(東洋館出版社) る周到な準備、授業時間に遅れないなど授業に対する直剣な態度です。毎回き				S:教科科目の目標や内容を理解して教材 案を作成して模擬授業を行うことができ 教材研究をもとに学習指導案を作成 教科目の目標や内容をふまえて学習指導 きる。C:担当科目の内容に沿ってデ 受講態度とは模擬授業の合評会で、生産	オ研究を深め、教育実習水準の学習指導 をる。A:教科科目の目標や内容を理解し いて模擬授業を行うことができる。B:教 事案を作成し、模擬授業を行うことがで 領導案を作成することができる。
「高等学校学習指導要領解説 公民編」(東京書籍) 教師として重要な資質は、単に教え方が上手だというだけでなく、授業に対す 「中学校学習指導要領解説 社会科」(東洋館出版社) る周到な準備、授業時間に遅れないなど授業に対する直剣な態度です。毎回き	参	考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ	")
	Γ ₁ Γ ₁	高等学校学習指導要領解説 公民 中学校学習指導要領解説 社会科 中学校、高等学校学習指導要領」	編」(東京書籍) 4」(東洋館出版社)	教師として重要な資質は、単に教え方かる周到な準備、授業時間に遅れないなと	・ ド上手だというだけでなく、授業に対す ビ授業に対する真剣な態度です。毎回き

科目名		公民科	指導法		学年学	期	2・3年後期	単位数	2	ナンパ゛リンク゛		研究室	非常勤
担当者		宮本	和夫		必修選	뫬	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(公民)						履修条件	教職	課程履修者				
ディプロ	マポリシーと	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの[履修文	才象入 🖰	学年度 (読替	科目)		
	A B				С								

前期の講義を受けて、後期では「政治・経済」と「倫理」をとりあげます。教壇での模擬授業を繰り返し実践することにより、教師として の実践的能力を身につけます。模擬授業は受講生が交代して行い、終了後、自己評価・相互評価を行い、担当者がコメントします。

学修到達目標

現代社会のより深い展開である政治経済と倫理の科目について理解を広め、わかりやすく教えることができるようになる。

授業の進め方

講義計画にある模擬授業の回数は受講生の数によって変動することがあるので、必ずしも計画通り進まないことがありますが、各自3回の 模擬授業実施を予定しています。授業する単元については、各自の希望を尊重します。

-		。	
授		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。 内容	記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修
1	政治経済の教育課程上の位 置づけについて	「政治・経済」その目標と内容について	ニュース・ミニ解説の準備を行なう(4時間)
2	ミニ授業の実習	ニュース・ミニ解説実習(プレ模擬授業)	他の人のミニ解説を聞いての感想 、意見を記録する(4時間)
3	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Aグループ	模擬授業についての感想、意見要望を記録する (4時間)
4	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Bグループ	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
5	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Cグループ	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
6	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Dグループ	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
7	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析 模擬授業実施グループ:Eグループ	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
8	倫理という科目についての 教育課程上の位置づけ	「倫理」の学習指導案の作成	卒業生の授業案を参考に自分の選 んだテーマの指導案の試作する (4時間)
9	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー思想の源流を探るー	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
10	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析-世界の宗教の特徴について-	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
11	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析-西洋思想の特徴と現代-	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
12	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析-東洋思想の特徴と現代-	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
13	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析-日本の思想の歴史-	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
14	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析-現代の思想の課題-	模擬授業についての感想、意見、 要望を記録する(4時間)
15	政治経済、倫理を教えるこ との意味をあらためて考え る	今日のグローバル社会において、政治経済および倫理の教育が必要とされる時や場面を想像しながら自由闊達なディスカッションを行なう	これまでの講義の全体的な感想を 記して提出(4時間)
テ=	キスト	ーーーーー 成績評価の方法・基準	
٢,	六 高校現代社会」伊藤光晴ほか著井 -20206-9(別途、指示します。	F上貴文ほか編(実教出版) ISBN:978-4-)) S:科目相互の関連性などにも理解を深 とともに、考察や相互評価なども主体的 いる。A:教材研究を深めて模擬授業を で指導力の向上をめざしている。B:学	₹:20% め、指導内容を精選した模擬授業を行う 切に取り組み実践的な指導力を習得して 行い、考察や意見交換などにも取り組ん 習指導案を作成し、模擬授業と授業後の いでいる。C:学習指導案を作成し、模擬

参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ)

「高等学校学習指導要領解説 公民編」(東京書籍) 「中学校学習指導要領解 説 社会科」(東洋館出版社) 「中学校学習指導要領」(東山書房) 「高等学 校学習指導要領」(東山書房)

よい授業とは、単に教え方が上手いというだけではありません。教師の授業に対する周到な準備・情熱・意欲、生徒と共に学ぼうとする真摯な態度が求められます。それを体感してほしいと思います。

科目名 一 商業科指導法 学年学期 2・3年前期 単位数 2 ナンパ・リンク・	研究室	非常勤
担当者 丸山 新吉 必修選択 必修 科目種別 講義 オフィスアワー		
関連資格 高一(商業) 履修条件 教職課程履修者		
ディプロマポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)		
A B C		

学修到達目標

商業教育の本質を理解し、その内容を十分理解した上で、教師としての在り方を考えることができる。また、常に新しいビジネス社会の 変化について認識を深め、新しい教育をめざす資質・態度を養えるようになる。

授業の進め方

教室での講義を中心としながらも、実践的な指導力の育成を目標に、できる限り履修者が主体的に学習できるよう、ホームワークを活用して授業を進めます。

	て授業を進めます。		
<u>授</u>		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。 内容	記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修
1		高等学校における商業教育の必要性	テキスト P.7 ~ P.10をよく読ん できてください。 (4時間)
2	商業教育の必要性と意義	商業教育の意義	テキスト P.11 ~ P.14をよく読 んできてください。(4時間)
3	わが国の商業教育の歩み	新制商業教育の開始まで	テキスト P.15 ~ P.20をよく読んできてください。 (4時間)
4	わが国の商業教育の歩み	学習指導要領(試案)から平成元年の改訂まで	テキスト P.21 ~ P.29をよく読 んできてください。(4時間)
5	わが国の商業教育の歩み	学習指導要領 平成11年の改訂	テキスト P.30 ~ P.34をよく読 んできてください。 (4時間)
6	学習指導要領とその理解	教育課程の編成方針	テキスト P.35 ~ P.39をよく読 んできてください。(4時間)
7	学習指導要領とその理解	教科「商業」の理解	テキスト P.40 ~ P.45をよく読んできてください。(4時間)
8	学習指導要領とその理解	「総合的な学習の時間」の理解	テキスト P.46 ~ P.47をよく読 んできてください。(4時間)
9	各科目の学習内容とそのねらい	ビジネス基礎	テキスト P.48 ~ P.52をよく読 んできてください。(4時間)
10	各科目の学習内容とそのね らい	マーケティング分野	テキスト P.53 ~ P.64をよく読んできてください。(4時間)
11	各科目の学習内容とそのねらい	ビジネス経済分野	テキスト P.65 ~ P.76をよく読 んできてください。(4時間)
12	各科目の学習内容とそのね らい	会計分野	テキスト P.77 ~ P.93をよく読 んできてください。(4時間)
13	各科目の学習内容とそのね らい	ビジネス情報分野	テキスト P.94 ~ P.113をよく読 んできてください。(4時間)
14	各科目の学習内容とそのね らい	総合的科目	テキスト P.114 ~ P.124をよく 読んできてください。(4時間)
15	まとめ	商業科指導法 で学んだ内容のまとめ	商業科指導法 で学んだ内容をレポートにまとめてください。 (4時間)
	キスト	成績評価の方法・基準	
本	教職必修 最新商業科教育法 新記 商業教育学会編(実教出版) 📙	J版 平成25年度実施カリキュラム対応」日 定期試験:100% SBN:987-4-407-32265-1 (生協で購入して S:授業内容を90%以上理解して受講態度:	がきわめて優秀。A:授業内容を80%程度

「教職必修 最新商業科教育法 新訂版 平成25年度実施カリキュラム対応」E 本商業教育学会編(実教出版) ISBN:987-4-407-32265-1 (生協で購入して ください。)

S:授業内容を90%以上理解して受講態度がきわめて優秀。A:授業内容を80%程度 理解して受講態度が優秀。B:授業内容を70%程度理解して受講態度が普通。C:授 業内容を60%程度理解して受講態度が普通。

参考書履修上の注意(学生へのメッセージ)

「高等学校学習指導要領解説 商業編」 「高等学校学習指導要領」 学習指導要領の変遷は早期にテキストを入手して事前に熟読してください。 1982年より松商学園高等学校の教員として勤務して現在に至る。

科目名		商業科指導法				期	2・3年後期	単位数	2	ナンパ゛リンク゛		研究室	非常勤
担当者		丸山 新吉				訳	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業))						履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラムポリシー。	この関連性			履修文	才象入 与	学年度 (読替	科目)		
		A B											

学習指導は学校における教育活動の中心であり、これを確実に行うことが教師の任務です。商業科指導法 の内容を受けて、年間指導計画と学習指導案(授業指導案)の作成を実際に行い、生徒として経験した内容も参考にしながら指導方法を検討し、受講者全員が模擬授業(50分)を行います。その際に授業担当以外の学生は、生徒として授業を受けながら評価をしてもらいます。教育の現場において、生徒が自ら学ぶための指導・援助が実践できる指導者の育成を目標とします。

学修到達目標

年間指導計画と学習指導案を実際に作成し、模擬授業(50分)を実際におこなって、相互に評価することができる。教育の現場において、 生徒が自ら学ぶための指導・援助が実践できる指導者となる。

授業の進め方

教育実習を視野に入れた実践的な指導力の育成を目標に、できる限り履修者が主体的に学習できるよう、ホームワークを活用して授業を 進めます。

授	業計画(各回のテーマ等)	事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	記載以外にも適宜課されます。
回	テーマ	内容	事前事後学修
1	指導計画と授業展開	教育課程と学習指導	テキスト P.125 ~ P.127をよく 読んできてください。 (4時間)
2	指導計画と授業展開	指導計画	テキスト P.127 ~ P.128をよく 読んできてください。(4時間)
3	指導計画と授業展開	指導形態と指導方法	テキスト P.129 ~ P.132をよく 読んできてください。(4時間)
4	指導計画と授業展開	年間指導計画作成の実際	テキスト P.133 ~ P.135をよく 読んできてください。(4時間)
5	指導計画と授業展開	学習指導案作成の実際	テキスト P.136 ~ P.142をよく 読んできてください。(4時間)
6	指導計画と授業展開	プレゼンテーションと授業	テキスト P.143 ~ P.147をよく 読んできてください。(4時間)
7	商業教育と人間形成	商業教育を通じて育成したい生徒像	テキスト P.148 ~ P.149をよく 読んできてください。(4時間)
8	商業教育と人間形成	商業教育と特別活動	テキスト P.150 ~ P.155をよく 読んできてください。(4時間)
9	商業教育と人間形成	商業教育と生徒指導	テキスト P.156 ~ P.158をよく 読んできてください。(4時間)
10	商業教育と人間形成	商業教育と進路指導・キャリア教育	テキスト P.159 ~ P.163をよく 読んできてください。(4時間)
11	模擬授業と授業観察	模擬授業(50分)と授業観察 Aグループ	授業実施者は学習指導案を作成し 反省をレポートに、観察者は感想 をまとめてください。(4時間)
12	模擬授業と授業観察	模擬授業(50分)と授業観察 Bグループ	授業実施者は学習指導案を作成し 反省をレポートに、観察者は感想 をまとめてください。(4時間)
13	模擬授業と授業観察	模擬授業(50分)と授業観察 Cグループ	授業実施者は学習指導案を作成し 反省をレポートに、観察者は感想 をまとめてください。(4時間)
14	商業科教師への期待	新しい時代における教師の在り方 ほか	テキスト P.164 ~ P.173をよく 読んできてください。(4時間)
15	まとめ	商業科指導法 で学んだ内容のまとめ	商業科指導法 で学んだ内容をレポートにまとめてください。 (4時間)
テ=	トスト	成績評価の方法・基準	

テキスト

成績評価の方法・基準

「教職必修 最新商業科教育法 新訂版 平成25年度実施カリキュラム対応」日本商業教育学会編(実教出版) ISBN:987-4-407-32265-1 商業科指導法で購入済です。

定期試験:50% 課題:50% 課題は「模擬授業実習(50分)」であり、受講者全員一回は行う。 S:授業内容を90%以上理解して課題を高度に実施できる。A:授業内容を80%程度 理解して課題を高度に実施できる。B:授業内容を70%程度理解して課題を普通に 実施できる。C:授業内容を60%程度理解して課題を普通に実施できる。

参考書

「高等学校学習指導要領解説 商業編」文部科学省著実教出版編 ISBN:978-4-407-32002-2 商業科指導法 で購入済です。 「高等学校学習指導要領」 商業科指導法 で購入済です。

履修上の注意 (学生へのメッセージ) 模擬授業で教える内容について、専門知識の習得をお願いします。また、板書時に誤字・筆順間違い等が無いように予習しておいて下さい。 1982年より松商学園高等学校の教員として勤務して現在に至る。

科目名		情報科指導法					3年前期	単位数	2	ナンパ・リンク・		研究室	W-31
担当者		室谷 心				訳	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	高一(情報))						履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーと						履修文	才象入 🖰	学年度(読替	科目)		
	A B			С									

この授業は高校で「情報」を教える教師を目指す人のための科目です。高校の教科としての「情報」は何を目指すのか、また、どうすればそれを実際の授業で実現できるのか。将来皆さんが高校の「情報」の教師として、何をどんな風に教えていけばよいのか、それを考察することがこの授業の目的です。

学修到達目標

自ら授業計画をたて、目指す授業の指導案が書けるようになる。

授業の進め方

講義と課題の発表により、授業を進めます。

皆	さんの課題の成果を授業につ	^{そて}		
		事前事後学修の時間は1単位科目は1時		
回	テーマ	内容	}	事前事後学修
1	理想の情報教育とは	今までに自分が受けてきた情報教育を かを考えます。	とふり返り、情報教育の理想とは何	他の人の考えと、自分の考えの比較検討を行い、「情報教育」の目指すものを考える。(4時間)
2	指導要領を読む	高等学校学習指導要をよみ、文部科学	2省の目指す情報教育を理解する。	学習指導要領に書かれていることと、自分の理想との比較検討を十分に行う。(4時間)
3	情報倫理	ネット上のさまざまなトラブルを考え 報倫理 " をどう教えるかを考える。	え、ネット社会での正しい態度 "情	ネット上、ネット外。社会の構成 員としての態度の同異を検討する 。(4時間)
4	情報検索	情報源として、「図書館 vs インター 導するか考える。	-ネット」どのような使いわけを指	自分の周りの情報をフロー型とストック型の視点で分けて、得手不得手を考える。(4時間)
5	エントロピーと情報量	情報量の考え方を理解し、インフラスィアデータの普及や利用との関係を考	ストラクチャーの整備とマルチメデ ぎえる。	自分の携帯に入っている音楽や動 画のファイルサイズを実際に計算 してみること。(4時間)
6	タイピング練習	コンピュータへのデータ入力法をいか イピング、マウス、音声入力などいろ 教えるか考える。	かに身につけさせるかを考える。タ らいろな入力方法の使い分けをどう	音声入力やジェスチャー入力を試 してみる。(4時間)
7	ワープロを教える	高校生が身につけるべきワープロ技法 ワープロ技法である。	まを考える。キー人力教育ではなく	生徒の手本となる書類を自分で作成してみる。(4時間)
8	表計算ソフトを教える	ビジネスアプリで最も役立つといわれが身につけるべき表計算ソフトの技技	1る表計算ソフトの価値と、高校生 技能を考える。	表計算ソフトの技法について自分 仕様のミニマムセットを作ってみ る。(4時間)
9	ヴァーチャル世界	 教育におけるヴァーチャル世界の功罰 	『を考えてみよう。	自分の子供の頃と、これからの子供を取り巻く世界の違いをまとめてみる。(4時間)
10	プログラミング教育	コンピュータを自由にコントロールす モダンなプログラミング技法について	する楽しさをどう伝えるか。また、 こも学びましょう。	並べ替えアルゴリズムを自分で実 行できるように練習する。(4時間)
11	情報発信	誰もが情報の発信者となれる WEB2.0 ームページとアクセシビリティーを考	の世界、情報発信手段としてのホ ぎえる。	身近なページのアクセスビリティ をチェックしてみる。(4時間)
12	プレゼン入門	プレゼンテーションの教え方と教育に	こおけるICTの活用。	分かりやすいプレゼン技法を纏め る。(4時間)
13	指導要領をもう一度	いろいろ学んだうえで、高等学校学習 学省の目指すところをもう一度考える	習指導要領をもう一度読み、文部科 3。	指導要領の良くできている点、足らない点をリストアップする。 (4時間)
14	理想の情報教育とは	あらためて、これからの情報教育の理 	里想を考える。	自分なりの高等学校「情報」のプランを組んでみる。(4時間)
	まとめ	各自が考えてきた、高等学校「情報」	の指導プランを比較検討する。	他の人のプラントの比較を踏まえて、自分の「高等学校情報」のプランをより良くする。(4時間)
	キスト		成績評価の方法・基準	
	高等学校学習指導要領解説情報編 指示します。)		定期試験:60% 課題:40% 課題とは、授業中の議論への参加の度合 S:教科書の任意の範囲について、発展的 A:自ら選んだ範囲について、発展的な排 B:自ら選んだ範囲について、標準的な排 C:自ら選んだ範囲について、指導計画を	がな指導計画を立てることができる。 5導計画を立てることができる。 5導計画を立てることができる。

履修上の注意 (学生へのメッセージ) 参考書 人に教えるには、まず自分がよく理解している必要があります。情報関連の授 業をたくさん取り、いろいろな知識を身につけましょう。 「高等学校学習指導要領」文部科学省編

科目名		情報科指導法					3年後期	単位数	2	ナンパ・リンク・		研究室	W-31
担当者		室谷 心				戥択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2回	限	
関連資格	高一(情報))						履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの						履修文	才象入:	学年度(読替	科目)		
	A B			С									

で、 では高校で「情報」という科目を教える教師を目指す人のための科目です。 指導法 では高等学校での「情報」の授業の組み立て を実際にできるようになりましょう。 「情報科指導法 I」での考察を生かし、 理想の授業を目指して実際に授業をやってみましょう。お互いの授業を検討し、検討成果を次の 授業にフィードバックさせながらステップアップして、より良い授業の構成を考えていきます。

学修到達目標

指導案を作りそれに沿った授業ができるようになる。 自らの行った(模擬)授業を振返り、次の授業の改善につなげられるようになる。

授業の進め方

| 受講学生で順番に教師役と生徒役を務め、典型的な題材について模擬授業を行い、人に説明することの難しさと、情報教育の要点の理解 | を目指します。

		= 						
授第 回	≰計画 (各回のテーマ等) │	事前事後学修の時間は1単位科目は1時 内容		記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修				
	ガイダンス	ガイダンスと班分け	.	事則事後子修 情報科指導法 Iで修得した指導案 のつくり方を復習し、模擬授業の テーマを考えておく。(4時間)				
2	テーマ選定	各自が行う模擬授業のテーマを選定し に調整します。	希望する模擬授業のテーマを考え ておく。決まったテーマについて 準備を始める。(4時間)					
3	授業のゴールとデザインを 考える	授業評価と授業設計の考え方や例を基 ザインを考える。	基に、テーマにふさわしい授業のデ	自分の提案したデザインと他の人 のデザインの比較検討 (4時間)				
4	指導案の作成法	情報科指導法 Iで修得した事を思いと 材準備について考える。	出しながら、指導案の作成法と、教	情報科指導法 Iの内容を良く復習 する。指導案を作ってみる。(4時間)				
5	教材準備	情報科指導法 Iで修得した事を思いと 材準備について各人の準備状況を発え 機器の教材としての活用について検討	長し比較討論を行う。とくに、情報	授業での議論を踏まえて指導案を 修正し、補助教材の準備を行う。 (4時間)				
6	模擬授業1(情報倫理)の 準備	利用する補助教材を確定し、模擬授業 を行い、指導案を仕上げる。	業1(情報倫理)のための教材研究	指導案に沿って授業の練習をする。(4時間)				
7	模擬授業1(情報倫理)	模擬授業1(情報倫理)を行う。他の	学生は生徒役を演じる。	教師役も生徒役も授業内容の内容 の評価を行う。(4時間)				
8	模擬授業1(情報倫理)の 評価と反省	模擬授業1(情報倫理)に対する評価	と反省を議論する。	議論した評価と反省を各自まとめる。(4時間)				
9	模擬授業2(デジタルデータ)の準備	模擬授業1の反省を踏まえて、模擬授 材研究を行い、指導案を仕上げる。	模擬授業2の指導案を完成させて おく。(4時間)					
10	模擬授業2(デジタルデータ)と評価	模擬授業2(デジタルデータ)を行う 互いに講評を行い評価と反省を議論。		教師役も生徒役も授業内容の内容 の評価を行う。(4時間)				
11	模擬授業3(プログラミン グ)の準備	模擬授業1、2の反省を踏まえて、模様 の教材研究を行い、指導案を仕上げる		議論した評価と反省を各自まとめる。(4時間)				
12	模擬授業3(プログラミン グ)と評価	模擬授業3(プログラミング)を行う 互いに講評を行い評価と反省を議論。	。他の学生は生徒役を演じる。お する。	模擬授業3の練習を十分に行う。 (4時間)				
13	模擬授業4 (表計算ソフト) の準備	今までの模擬授業にたいする反省を5 ト)のための教材研究を行い、指導3		議論した評価と反省を各自まとめる。模擬授業4の練習を十分に行う。(4時間)				
14	模擬授業4(表計算ソフト)と評価	模擬授業4(表計算ソフト)を行いそ	の評価と反省を議論する。	模擬授業についての反省を纏めて おく。(4時間)				
15	全体の総括	各自、模擬授業についてのまとめを多		授業についての検討を深める。 (4時間)				
テキ	F スト		成績評価の方法・基準					
	高等学校学習指導要領解説情報編 4指導法 で購入済です。	B」文部科学省編(開隆館出版販売) 情	課題:50% 定期試験:50% 課題とは模擬授業およびその前後の議論 S:教科書の任意の範囲について、発展的 を行うことができる。 A:自ら選んだ者 、それに沿った授業を行うことができる 的な指導計画を立て、それに沿った授業 範囲について、指導計画を立て、それに	がおります。 かなおりなおります。 かないで、発展的なおりまり画を立て が、 B:自ら選んだ範囲について、標準 もな行うことができる。 C:自ら選んだ				
参考	学書		 履修上の注意(学生へのメッセージ	§上の注意(学生へのメッセージ)				
ر ا	 5等学校学習指導要領」(東山書		模擬授業に先立って指導案の作成があり、模擬授業の後お互いの授業について					
								

科目名 社会科指導法 学年学期 2・3年前期 単位数 2 ナンパ・リング・	研究室	非常勤
担当者 平澤 香 必修選択 必修 科目種別 講義 オフィスアワー		
関連資格 中一(社会) 履修条件 教職課程履修者		
ディプロマポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)		
A B C		

本講義では、中学校社会科がめざす、国際社会に生きる民主的,平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、中学校の社会科教員として必要な指導法の基礎を身に付けることをねらいとしています。さらに、戦後の中学校教育の変遷を踏まえるとともに、新たに登場した社会科について,カリキュラム、学習指導、評価といった様々な視点と,社会の変化や学校教育の諸課題と関連づけながら社会科教育の在り方を考察します。また、優れた実践例も紹介します。

学修到達目標

- ・社会科学習の意義やカリキュラム理論を理解し指導と評価が一体となった授業を構想するための年間指導計画を作成することができる
- 。 ・優れた先人の実践例から、生きる力や確かな学力を育成するための指導方法を習得する。

授業の進め方

|教員から提示されるテーマを受講者がそれぞれ選択して調べ、その発表を中心に全体で議論を深めながら講義を進めます。また、フィー |ルドワークなどの作業的体験的な学習も随時取り入れます。

_		フな学習も随時取り入れます。	
		事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	
1	オリエンテーション	<u>内容</u> オリエンテーション - 講義の概要 -	事前事後学修 学習指導要領及び3分野の教科書 を事前に熟読しておくこと(4時間)
2	社会科のあゆみ	戦後の社会科教育のあゆみ	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
3	社会科のカリキュラム理論	社会科学習の意義とカリキュラムの理論	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
4	地理的分野のカリキュラム	地理的分野の年間カリキュラム	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
5	地理的分野の評価	地理的分野の指導と評価のポイント	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
6	歴史的分野のカリキュラム	歴史的分野の年間カリキュラム	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
7	歴史的分野の評価	歴史的分野の指導と評価のポイント	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
8	公民的分野のカリキュラム	公民的分野の年間カリキュラム	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
9	公民的分野の評価	公民的分野の指導と評価のポイント	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
10	実践例(1)	学び方を学ぶ社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
11	実践例(2)	話し合いや発表を生かした社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
12	実践例(3)	インターネットやGISを活用した社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
13	実践例(4)	調査・体験活動を重視した社会科学習の実践例(アウトキャンパス)	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
14	評価問題	社会科評価問題の工夫と改善	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
15	まとめ	まとめ - これからの社会科を考える	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
	F スト	成績評価の方法・基準	
Г	中学校学習指導要(平成29年告示	₹)領解説 社会編」(東洋館出版社)(別 受講態度:50% 課題:30% レポート	: 20%

「中学校学習指導要(平成29年告示)領解説 社会編」(東洋館出版社)(別途、指示します。) 「中学校社会科地図」(帝国書院)(別途、指示します。) 「新しい社会 地理」(東京書籍)(別途、指示します。) 「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き 」(帝国書院)(別途、指

示します。) 「社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして」(帝国書院)(別途、指示

受講態度:50% 課題:30% レポート:20% S:到達目標達成のために進んで課題に取り組み、各回の授業内容をすべて理解し指導と評価が一体となった年間指導計画を作成することができる。A:到達目標達成のために課題に取り組み、各回の授業で学んだことを理解し年間指導計画を作成することができる。B:到達目標達成のために課題に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解し年間指導計画を作成することができる。C:到達目標達成を理解して課題に取り組み、年間指導計画を作成することができる。

参考書 「中学校学習指導要領」(東山書房)

します。)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

中学校社会科の免許取得を希望する皆さんは、目指す社会科の教員像を明確にもつとともに、社会科好きの生徒を育成するには、どんな知識、概念や技能を身に付けなければならないかを常に念頭に置いて受講してください。

科目名	社会科指導法					期	2・3年後期	単位数	2	ナンパ・リング		研究室	非常勤
担当者	平澤 香					訳	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格 中	中一(社会)							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロマカ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの				の関連性			履修文	才象入 🖰	学年度 (読替	科目)		
	A B			С									

本講義では、中学校社会科がめざす、国際社会に生きる民主的,平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、中学校の社会科教員として必要な指導法の基礎を身に付けることをねらいとしています。さらに、生徒の主体的な学習を実現するためにどうすればよいのかについて、「適切な課題を設けて行う学習」に焦点を当てながら、実践的に考察します。

学修到達目標

- ・社会科の授業を実践するに当たっての教材開発の方法やICTを含めた教材教具の活用方法を身に付ける。 ・指導案作成や模擬授業を通して、社会科教員として必要な知識や技能を養う。

授業の進め方

本講義では、上高地でのアウトキャンパスで実際に資料の収集を行ったり、教材・教具を開発して指導案を作ったりするなどして模擬授 業を行うとともに、学生相互で評価し合うなど、作業的・体験的な活動を多く取り入れて講義を進めます。

		で計画し合うなと、作業的・体験的な活動を多く取り入れて講義を進めまま、東京東後学校の時間は4単位科目は4時間、2単位科目は4時間が日本です。	
了: 回	業計画 (各回のテーマ等) │	事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。 内容	記載以外にも週且謎されまり。 事前事後学修
_	オリエンテーション	オリエンテーション - 講義の概要 -	学習指導要領及び3分野の教科書 を事前に熟読しておくこと(4時間)
2	学習指導要領	現行学習指導要領とその解説	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
3	資料の収集と活用(1)	地理的分野の学習資料の収集と活用(アウトキャンパス)	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
4	教材教具の利用と開発(1)	地理的分野の教材教具の利用と開発	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
5	模擬授業(1)	地理的分野の授業づくりと模擬授業	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
6	資料の収集と活用(2)	歴史的分野の学習資料の収集と活用(アウトキャンパス)	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
7	教材教具の利用と開発(2)	歴史的分野の教材教具の利用と開発	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
3	模擬授業(2)	歴史的分野の授業づくりと模擬授業	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
9	資料の収集と活用(3)	公民的分野の学習資料の収集と活用(アウトキャンパス)	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
0	教材教具の利用と開発(3)	公民的分野の教材教具の利用と開発	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
1	模擬授業(3)	公民的分野の授業づくりと模擬授業	前回授業で渡した資料を事前によ く読んで予習しておくこと
2	新しい社会科学習(1)	国際理解と社会科学習	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
3	新しい社会科学習(2)	情報化・ICTの活用と社会科学習	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
4	新しい社会科学習(3)	環境・資源エネルギーと社会科学習	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
5	まとめ	まとめ - 中学校社会科における授業改善の視点	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
- :	キスト	成績評価の方法・基準	
官官	中学校学習指導要領(平成29年台 出版社)(別途、指示します。) 中学校社会科地図」(帝国書院 新しい社会 地理」(東京書籍) 循	5示)解説 社会編」文部科学省編(東洋 受講態度:50% 課題:30% レポート S:到達目標達成のために進んで課題に取り(別途、指示します。)	双リ組み、各回の授業内容をすべて理解 パできる。A:到達目標達成のために課題 定理解し指導案の作成や模擬授業を行 に課題に取り組み、各回の授業で学んた
U	ます。)	りと世界の動き」(帝国書院)(別途、指示 は会をめざして」(帝国書院)(別途、指示 社会をめざして」(帝国書院)(別途、指示	♥業を行つことができる。C:到達目標達 ○作成や模擬授業を行うことができる。

参考書

「中学校学習指導要領」(東山書房)

自分は社会科の教員としてどのような授業実践を行いたいかを明確にもってください。このため優れた教育者の著作にふれるとともに、恩師や先輩から現在の生徒の実態や社会科の授業の現状について直接話を伺っておいてください。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

													01
科目名		体育科指導法 I				纠	2年後期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	S-13
担当者		岩間	1 英明		必修選	髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5	限	
関連資格	レク・コーディ(教育)、中一	(保体)、高一	·(保体)			•	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	プポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 カーマー・カース カー・ファイン カー・フェイン カー・ファイン カー・ファイン カー・ファイン カー・フェー・ファイン カー・ファイン カー・ファイン カー・ファイン カー・フェー・ファイン カー・ファイン カー・フェー カー・フェー・ファイン カー・フェー カー・フェー フェー・フェー フェー・フェー・フェー フェー・フェー フェー・フェー フェー・フェー フェー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ						履修文	付象入	学年度 (読替:	科目)		
1	2	② ③ A B C											
1	l		I	1		1							

本講義は中学校および高等学校学習指導要領に基づいた、教材づくり、教材研究、単元構成、授業展開の基本的な考え方及び評価方法の 具体的理解など、中学校および高等学校における体育授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について学習し、保健体育科の教師を目指 す上で必要な能力やスキルの獲得を目的としています。自分のこれまでの経験を生かして、学習者としての子どもにとって『よい体育授 業』とはどのようなものなのかを追究しながら、体育科教育の価値や意味を問い直していきます。

学修到達目標

体育学習を展開していく上で必要な基礎的な知識と基本となる事項を理解して、年間計画、単元構想、評価計画などを実際に作成できる 力を身につけ、最終的には体育の授業細案を書けるようになる。また併せて、体育の教材である各スポーツ種目について、その技術やル ール、指導方法などについて理解している。

授業の准め方

指導案の各項目を中心に毎回の講義ではテーマを決め、体育授業を展開していく上で必要となる基本的な知識を学習するとともに、実際に指導案を作成する上で起こりやすい課題や、体育授業を実施する際に問題となる点について追究して、学習を深めていきます。

回 1 カ	テーマ ガイダンス	事前事後学修の時間は1単位科目は1時 内容 講義計画・展開及び評価方法等の確認 育に関する話題を採り上げながら、6	容 忍をします。また、最近の体育科教	記載以外にも適且課されます。 事前事後学修 事前にシラバスを読んでくる。授
1 7	ガイダンス	講義計画・展開及び評価方法等の確認 育に関する話題を採り上げながら、係	忍をします。また、最近の体育科教	
/1	日健仕会社の数科セング仕	や役割と責務について考えていきます	本育の授業の特徴と体育教員の資質	事前にシラハスを祝んでくる。投 業後、体育科教育の諸問題につい てレポートにまとめる。 (2時間)
	保健体育科の教科および体 育分野・科目体育の目標	学習指導要領に基づき体育の教科目 体育では何を問われているかを考え、 ての意味をとらえ直します。	票について学習します。特に昨今、 子どもの立場から体育の教科とし	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、体育の教科目標の 背景についてまとめる。(2時間)
3 (R健体育科の教科の内容 1)体つくり運動、器械運 動、陸上競技	学習指導要領に基づき体育の教科内? の区分やその指導内容について、自身でいきます。 (内容項目A~C)	学について学習します。各運動種目 5の経験に照らし合わせながら考え	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、項目A~Cの指導内 容についてまとめる。(5時間)
	R健体育科の教科の内容 2)水泳、球技	学習指導要領に基づき体育の教科内? の区分やその指導内容について、自身 ていきます。(内容項目D~E)	学について学習します。各運動種目 5の経験に照らし合わせながら考え	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、項目D~Eの指導内 容についてまとめる。(5時間)
	R健体育科の教科の内容 3)武道、ダンス、体育理 倫	学習指導要領に基づき体育の教科内? の区分やその指導内容について、自身 ていきます。(内容項目F~H)	字について学習します。各運動種目 5の経験に照らし合わせながら考え	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、項目F~Hの指導内 容についてまとめる。(5時間)
	旨導計画の作成と内容の取 ○扱い(1)	体育のカリキュラム構成について、/ 学習を踏まえた年間計画の作成と、P	小学校から高等学校までの12年間の 内容の取り扱いについて学習します	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、例題に沿って年間 指導計画を作成する。(4時間)
7 指	旨導計画の作成と内容の取 ○扱い(2)	スコープ(内容構成)とシーケンス(の単元構想について学習し、単位時間。また、体育科におけるICT教育の基	間の指導案の形式的な理解をします	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、例題に沿って単元 構想案を作成する。(4時間)
	旨導計画の作成と内容の取 ○扱い(3)	体育授業の学習方法(A型・B型学習、)と、ICT教育のメリット・デメリッ間の指導案作成について学習します。	トについて学び、具体的な単位時	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。授業後、例題に沿って授業 指導案を作成する。(4時間)
9 当	学習評価の目的と方法(1)	国立教育政策研究所の示した資料に基 て、指導と評価の関係や観点別学習も 的な考え方を学習します。	基づき、体育学習の学習評価につい 犬況評価など、評価についての基本	事前に資料を読む。授業のまとめとして評価補助簿を作成してみる。(4時間)
10 当	学習評価の目的と方法(2)	国立教育政策研究所の示した資料に基 について、具体的に学習活動に即した す。	基づき、体育学習の学習評価の設定 と評価規準の作成の仕方を学習しま	事前に資料を読む。授業のまとめとして評価補助簿を作成してみる。(4時間)
11 指	 指導案作成(1)	スポーツ種目の特性や生徒の実態のとまえた教材化(教材作成)の仕方、 までの学習を総合的にとらえ、具体的	単元の目標や展開の仕方など、これ	単元構想についてこれまでの復習 をしておき、授業後、課題に即し た単元構想を立てる。(5時間)
12 指	旨導案作成(2)	これまで学習してきた評価の基本的# に作成した単元構想に合わせた評価語	考え方や評価の仕方を生かし、前時 計画を立てます。	評価についてこれまでの復習をしておき、授業後、課題に即した評価計画を立てる。(5時間)
13 指	旨導案作成(3)	前時までに作成した単元構想の中からに応じた学習方法に基づき、本時の日		学習方法についてこれまでの復習 をしておき、授業後、課題に即し た本時案を作成する。(5時間)
14 指	旨導案作成(4)	これまで一人一人が作成してきた指導 意見交換や見直しを行い、それぞれの	享案全体について、グループごとに D良い点や課題を見つけ出します。	事前に自分の指導案を完成させておく。授業後、指摘をされた部分の修正をおこなう。(5時間)
	構義全体のまとめ	体育授業を創るということについて、 作成までを振り返ります。また、体育 事についても考えていきます。	基本的な考え方から実際の指導案育授業以外の部活動運営や体育的行	これまでの学習を振り返り、体育 授業を創り出すということの意味 や方法をまとめる。(2時間)
テキン			成績評価の方法・基準	
育】」 ISBN: 「評化 体育】	」国立教育政策研究所 教育説 :978-4-316-30051-1(生協で購 価規準の作成、評価方法等のT	こ夫改善のための参考資料【中学校保健体 様程研究センター編(教育出版) 構入してください。) こ夫改善のための参考資料【高等学校保健 情課程研究センター編(教育出版) 構入してください。)	定期試験:60% レポート:40% ここで示しているレポートには、指導計に関わるものを中心に、授業のまとめな試験的割以上で、レポートの内容が実際Aは試験8割以上、レポートの内容・形式7割以上、レポートは内容が指導要領に合です。Cは試験6割以上、レポートは形	に全てを含みます。Sの評価規準は定期 の授業で通用するレベルの場合です。 こともに概ね良好の場合です。Bは試験 適合しており、形式が整えられている場
一高	学校学習指導要領解説 保健体	は育編」(東山書房) 建体育編 体育編」(東山書房)	履修上の注意(学生へのメッセーシ より良い体育授業を模索していく姿勢で 習指導要領を確実に理解するなど、主体 現場の経験を生かした講義展開をします	

科目名	体育科指導法Ⅱ					纠	3年前期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-13
担当者	岩間 英明					選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限		
関連資格	中一(保体))、高一(保体	<u>;</u>)					履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	:の関連性		履修刘	付象入 🕆	学年度(読替	科目)						
1	② ③ A B C												

本講義は学習指導要領及び体育科指導法 I の講義内容を踏まえ、教材研究、単元構成、授業展開についての基本的な考え方と評価方法の 具体的理解など、体育授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について模擬授業を通して学び、体育教師としての実践的指導力の獲得を 目的としています。模擬授業では教師役、生徒役それぞれの立場からその授業について検討し、課題や解決策を考えたり、それらをレポ ートにまとめたりして、よりよい体育授業を追究していきます。

学修到達目標

自分たちで想定した年間計画に基づき、指定された領域の単元計画、評価計画を立て、そのうちの1単位時間の指導家を作成し、模擬授業が実施できる。また、そのために学習指導要領や多様な教授法など、教科指導に関する内容を総合的に理解し、指導案作成、模擬授業とも学校現場で実際に行われるレベルに近づき、実践ができる。

授業の准めた

講義は模擬講義を中心に行います。受講者の人数によりTTによる指導とする場合もありますが、全員が1回以上、模擬授業で教師役を経験し、授業後に検討会を行ます。また毎時間、授業についての感想・意見をレポートにまとめ提出することとします。

授業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。	事前事後学修 事前にシラバスを読み、保体科指導法基礎 I の内容を復習しておく。(4時間) 学習指導要領を再読し、自分の担当領域について十分理解しておく。(4時間) 学習指導要の体つくり運動につい
ガイダンスとして講義計画・学習展開について確認します。また、体育 1 ガイダンス 料指導法 I で学習した単元構想、評価、指導案等の基本的考え方や作成 方法の確認をします。 授業を削り出すための知識や必要事項の内容について、さらに理解を深	事前にシラバスを読み、保体科指導法基礎 I の内容を復習しておく。(4時間) 学習指導要領を再読し、自分の担当領域について十分理解しておく。(4時間) 学習指導要の体つくり運動につい
授業を削り出すための知識や必要事項の内容について、さらに理解を深 2 授業を創る手順の確認 めます。また、授業づくりのための名種資料、ICTの活用などを含む宝	当領域について十分理解しておく。(4時間) 学習指導要の体つくり運動につい
践事例に基づき、学校現場レベルの授業について考えます。	
3 模擬授業(体つくり運動) 「体つくり運動」の模擬授業を行います。領域の内容の"体ほぐしの運動"と"体力を高めるための運動"のバランスを考え、1時間の授業を構成します。	て予習し、授業後に課題をレポートにまとめる。(4時間)
4 模擬授業(器械運動) 「器械運動」の模擬授業を行います。領域の内容の4つの種目のうちーつの種目について、個に応じた学習課題の持たせ方や指導方法、安全配慮などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の器械運動について 予習し、授業後に課題をレポート にまとめる。(4時間)
5 模擬授業(陸上競技) 「陸上競技」の模擬授業を行います。領域内容の各種目から一つの種目を選び、個に応じた学習課題の持たせ方や指導方法、安全配慮などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の陸上競技について 予習し、授業後に課題をレポート にまとめる。(4時間)
6 模擬授業(球技 ゴール型)の模擬授業を行います。領域内容のバスケットボール、サッカー、ハンドボールから一つ選び、チームや個人の課題の持たせ方、個人・集団技能の指導方法を考えて授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。 (4時間)
7 模擬授業(球技 ネット型) 「球技 ネット型」の模擬授業を行います。領域内容のバレーボール、 テニス、バドミントン、卓球から一つ選び、チームや個人の課題の持た せ方、個人・集団技能の指導方法を考えて授業を構成します。	ートにまとめる。 (4時間)
8 模擬授業(球技 ベースボール型」の模擬授業を行います。領域内容のソフトボール型) ・ル型) 「球技 ベースボール型」の模擬授業を行います。領域内容のソフトボールについて、チームや個人の課題の持たせ方、個人・集団技能の指導方法、個人差の考慮などを考えて授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。(4時間)
9 模擬授業(武道 剣道) 「武道」の模擬授業を行います。領域内容の3種目のうち、今回は学習 条件を考慮して剣道を選択して、礼法や武道の特性、個人技能の指導方 法などを中心に授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。(4時間)
10 模擬授業(ダンス) 「ダンス」の模擬授業を行います。領域の内容の3つのダンスから一つを選択し、ダンスの特性にあった指導の仕方を考えて1時間の授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。(4時間)
11 模擬授業(体育理論 中学 校) 「体育理論」の模擬授業を行います。中学校の領域内容の3つから、一つを選択して、資料の活用やディスカッションなどを取り入れた課題学習などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。(4時間)
12 模擬授業(体育理論 高等 学校) 「体育理論」の模擬授業を行います。高等学校の領域内容の3つから、一つを選択して、高校生にふさわしい資料の活用やディスカッションなどを取り入れた課題学習などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。(4時間)
13 模擬授業(選択制授業 領域内選択) 「選択制授業」の模擬授業を行います。器械運動の領域内選択とし、4種目のうちから複数種目を設定して、生徒に選択させた授業を行い、選択制授業の特徴と指導方法を考えた授業構成をします。	学習指導要領の当該領域について 理解をして、授業後に課題をレポ ートにまとめる。(4時間)
模擬授業全体を通して、単元計画、評価計画、指導案作成、教材研究、 ICTの活用、資料づくりなど、授業の事前の準備を中心に振り返り、課題やその解決方法についてまとめます。	全ての模擬授業のレポートを読み 直し、授業の見方や評価について レポートにまとめる。(4時間)
模擬授業全体を通して、授業中の生徒への指示、指導方法、ICT活用方法、安全配慮、学習規律など、授業における生徒への対応を中心に振り返り、課題やその解決方法についてまとめます。	全ての模擬授業のレポートを読み 直し、生徒の対応の仕方について レポートにまとめる (4時間)
テキスト 成績評価の方法・基準	
「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) に高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 人してください。) 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「機模授業の指導家及び場別以上、模擬授業の指導家ならびに授業、レポート・20% 「機模業の指導家の指導家及で教授を表現。」 「最近での授業評価ができたり模擬授業の指導家ならびに授業、レポート・20% 「最近での授業評価ができたり、「最近に提供を表現は験7割以上、スムーズを模別で、これのでは、「最近での授業評価ができたり、」といる。 「会には定期試験6割以上、模擬授業は1合とします。」	して総合的に評価していきます。Sは定期 授態度が現場で通用するレベル、レポー 場合です。以下Aは定期試験8割以上で、 トの授業評価が概ね良好な状況の場合 経授業、自分なりの授業評価ができた場 指導案、授業が形式通りに成立できた場
参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ	")
「中学校・高等学校 保健体育教科書および実技副読本」 一般書店では購 入できませんので、希望者は申し出て下さい。 中学校及び高等学校の学習指導要領(東山書房) 梅音店では購展開力を身につけていくための講義で 要になります。学校現場の経験を生かし	よ。主体的な学習態度と十分な準備が必 -

科目名		保健科指導法 I					2年前期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	S-13
担当者	岩間 英明					髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5	 限	
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	才象入 气	学年度 (読替:	科目)		
1	② ③ A B C												

本講義は中学校および高等学校学習指導要領に基づいた、教材づくり、教材研究、単元構成、授業展開についての基本的な考え方と評価 方法の具体的理解など、中学校および高等学校における保健授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について学習し、保健体育科の教師 を目指す上で必要な能力やスキルの獲得を目的としています。自分のこれまでの経験を生かして、学習者としての子どもにとって『よい 保健授業』とはどのようなものなのかを追究しながら、保健教育の価値や意味を問い直していきます。

学修到達目標

保健学習を展開していく上で必要な基礎的な知識と基本となる事項を理解して、年間計画、単元構想、評価計画などを実際に作成できる 力を身につけ、最終的には保健の授業細案を書けるようになる。また併せて、保健の教材である健康に関する各内容について理解してい る。

指導案の各項目を中心に毎回の講義ではテーマを決め、保健授業を展開していく上で必要となる基本的な知識を学習するとともに、実際 に指導案を作成する上で起こりやすい課題や、保健授業を実施する際に問題となる点について追究していきます。

収オ	業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。								
回	テーマ	内容	容	事前事後学修					
1	ガイダンス	講義計画・展開及び評価方法等の確認に関する話題を採り上げながら、保 役割と責務について考えていきます。	建の授業の特徴と体育教員の資質や	事前にシラバスを読んでくる。保 健教育の諸問題についてまとめて みる。(2時間)					
2	保健体育科の教科および保 健分野・科目保健の目標	学習指導要領に基づき保健の教科目標保健教育では何を問われているかを考としての意味をとらえ直します。	票について学習します。特に昨今、 考え、子どもの立場から保健の教科	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。保健教育の目標についてま とめる。(2時間)					
3	保健体育科の教科の内容 (1)	学習指導要領に基づき保健の教科内? 能の発達」「健康と環境」「傷害の限 経験に照らし合わせながら考えている	防止」の指導内容について、自らの	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。該当項目の指導内容につい てまとめる。(5時間)					
4	保健体育科の教科の内容 (2)	学習指導要領に基づき体育の教科内? 活と疾病の予防」「現代社会と健康」 に照らし合わせながら考えていきます。	の指導内容について、自らの経験	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。該当項目の指導内容につい てまとめる。(5時間)					
5	保健体育科の教科の内容 (3)	学習指導要領に基づき体育の教科内? じる健康」「社会生活と健康」の指導 し合わせながら考えていきます。	容について学習します。「生涯を通 算内容について、自らの経験に照ら	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。該当項目の指導内容につい てまとめる。(5時間)					
6	指導計画の作成と内容の取 り扱い(1)	保健のカリキュラム構成について、、 学習を踏まえた年間計画の作成と、P		事前に学習指導要領の関係項目を 読む。例題に沿って年間指導計画 を作成する。(4時間)					
7	指導計画の作成と内容の取 り扱い(2)	スコープ(内容構成)とシーケンス(の単元構想について学習し、単位時間 。また、保健科におけるICT教育の基	間の指導案の形式的な理解をします	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。例題に沿って単元構想案を 作成する。(4時間)					
8	指導計画の作成と内容の取 り扱い(3)	保健授業の多様な学習方法(実習や写論などの専門性を有する教職員の参加 位時間の指導案作成について学習しま	Π、ICTの活用)について学び、単	事前に学習指導要領の関係項目を 読む。例題に沿って単位時間の指 導案を作成する。(4時間)					
9	学習評価の目的と方法(1)	国立教育政策研究所の示した資料に基 て、指導と評価の関係や観点別学習も 的な考え方を学習します。		事前に資料を読む。授業のまとめ として評価計画を作成してみる。 (4時間)					
10	学習評価の目的と方法(2)	国立教育政策研究所の示した資料に基 について、具体的に学習活動に即した す。		事前に資料を読む。授業のまとめ として評価補助簿を作成してみる 。(4時間)					
11	指導案作成(1)	生徒の実態のとらえ方、それまでの財成)の仕方、単元の目標や展開の仕7とらえ、具体的な単元構想を立てまる	方など、これまでの学習を総合的に	単元構想についてこれまでの復習 をしておき、課題に即した単元構 想を立てる。(5時間)					
12	指導案作成(2)	これまで学習してきた評価の基本的ま に作成した単元構想に合わせた評価語		評価についてこれまでの復習をしておき、課題に即した評価計画を立てる。(5時間)					
13	指導案作成(3)	前時までに作成した単元構想の中からに応じた学習方法に基づき、本時のE	ら任意の1時間を選び、単元の展開 目標と展開を作成します。	学習方法についてこれまでの復習 をしておき、課題に即した本時案 を作成する。(5時間)					
14	指導案作成(4)	これまで一人一人が作成してきた指導 意見交換や見直しを行い、それぞれの	算案全体について、グループごとに D良い点や課題を見つけ出します。	事前に自分の指導案を完成させておく。指摘をされた部分の修正をおこなう。(5時間)					
15	講義全体のまとめ	保健の授業を創るということについて 案作成までを振り返ります。また、信 動についても考えていきます。	て、基本的な考え方から実際の指導 保健の授業以外の健康教育や特別活	これまでの学習を振り返り、保健 の授業を創り出すということの意 味や方法をまとめる。(2時間)					
-	ニスト		成績評価の方法・基準						
育】 ISB 「評 体育	」国立教育政策研究所 教育説 N:978-4-316-30051-1(生協で購 評価規準の作成、評価方法等のコ	二夫改善のための参考資料【中学校保健体 集程研究センター編(教育出版) 養入してください。) 二夫改善のための参考資料【高等学校保健 資課程研究センター編(教育出版) 養人してください。)	14 注討「騒×判 ソ ト レ ホー ト ()) 内 公 ・ 形 刊	適合しており、形式が整えられている場!					
参考	書		履修上の注意(学生へのメッセーシ	")					
Гф	· 二学校学習指導要領、高等学校学	· 習指導要領、保健体育編」(東山書房)	より良い保健授業を模索していく姿勢で 習指導要領を確実に理解するなど、主体 現場の経験を生かした講義展開をします	○講義に臨んで下さい。そのためには学 本的な学習態度と準備が必要です。学校 「。					

													0.1
科目名	保健科指導法Ⅱ					纟期	2年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-13
担当者		岩間	英明	必修選	髸択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5	限		
関連資格	中一(保体)	、高一(保体	:)、中一(保	建)、高一(保		•	履修条件	教職	課程履修者				
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	象入	学年度 (読替:	科目)		
1	② ③ A B C												

本講義は学習指導要領及び保健科指導法 I の講義内容を踏まえ、教材研究、単元構成、授業展開についての基本的な考え方と評価方法の 具体的理解など、保健授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について模擬授業を通して学び、体育教師としての実践的指導力の獲得を 目的としています。模擬授業では教師役、生徒役それぞれの立場からその授業について検討し、課題や解決策を考えたり、それらをレポ ートにまとめたりして、よりよい体育授業を追究していきます。

学修到達目標

自分たちで想定した年間計画に基づき、指定された領域の単元計画、評価計画を立て、そのうちの1単位時間の指導案を作成し、模擬授業が実施できる。基本的に指導案作成、模擬授業とも学校現場で実際に行われるレベルを要求しており、学生にとってはかなり厳しい要求水準となるため、学習指導要領や多様な教授法など、教科指導について総合的に理解することが必要です。

受業の進めず

授業は模擬授業を中心に行います。受講者の人数によりTTによる指導とする場合もありますが、全員が1回以上、模擬授業で教師役を経験し、授業後に検討会を行います。また毎時間、授業についての感想・意見をレポートにまとめ提出することとします。

		事前事後学修の時間は1単位科目は1時		
1文 2		争刑争後子修り時间は1単位科目は1時 内容		記載以外にも適且課されます。 事前事後学修
	ガイダンス	ガイダンスとして講義計画・学習展 科指導法 I で学習した単元構想、評値 方法の確認をします。	- 見について確認します。また、保健	事前にシラバスを読んでくる。保体科指導法基礎Ⅱの内容について再確認する。(4時間)
2	授業を創る手順の確認	授業を創り出すための知識や必要事項 めます。また、授業づくりのための名 践事例に基づき、学校現場レベルの打	各種資料、ICTの活用などを含む実	学習指導要領を再読し、担当領域 について理解を深め、単元構想を 練る。(4時間)
3	模擬授業(心身の機能の発達と心の健康 1)	「心身の機能の発達と心の健康」の核 資料を収集し、生徒が理解しやすいり 授業を構成します。	模擬授業を行います。題材に関する 内容を考え、精選した上で1時間の	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
4	模擬授業(健康と環境)	「健康と環境」の模擬授業を行います 徒が理解しやすい内容を考え、精選し。	r。題材に関する資料を収集し、生 した上で1時間の授業を構成します	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
5	模擬授業(傷害の防止 1)	「傷害の防止」の模擬授業を行います 徒が理解しやすい内容を考え、精選し 。	け。題材に関する資料を収集し、生 した上で1時間の授業を構成します	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
6	模擬授業(健康な生活と疾 病の予防)	「健康な生活と疾病の予防」の模擬技 を収集し、生徒が理解しやすい内容を を構成します。		学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
7	模擬授業(現代社会と健康 1)	「現代社会と健康」の模擬授業を行い、生徒が理解しやすい内容を考え、** ます。	います。題材に関する資料を収集し 青選した上で1時間の授業を構成し	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
8	模擬授業(生涯を通じる健 康 1)	「生涯を通じる健康」の模擬授業を行し、生徒が理解しやすい内容を考え、 します。	テいます。題材に関する資料を収集 精選した上で1時間の授業を構成	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
9	模擬授業(社会生活と健康 1)	「社会生活と健康」の模擬授業を行い、生徒が理解しやすい内容を考え、料ます。	ヽます。題材に関する資料を収集し 青選した上で1時間の授業を構成し	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
10	模擬授業(心身の機能の発 達と心の健康 2)	「心身の機能の発達と心の健康」の枝 資料を収集し、ブレインストーミング など多様な指導方法を工夫して1時間	ブやロールプレイング、実習や実験	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
11	模擬授業(傷害の防止 2)	「傷害の防止」の模擬授業を行います レインストーミングやロールプレイン 法を工夫して1時間の授業を構成しま	/グ、実習や実験など多様な指導方	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
12	模擬授業(現代社会と健康 2)	「現代社会と健康」の模擬授業を行い、プレインストーミングやロールプレ 導方法を工夫して1時間の授業を構成	レイング、実習や実験など多様な指	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
13	模擬授業(生涯を通じる健 康 2)	「生涯を通じる健康」の模擬授業を行 し、ブレインストーミングやロールフ 指導方法を工夫して1時間の授業を構	プレイング、実習や実験など多様な	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
14	模擬授業(社会生活と健康 2)	「社会生活と健康」の模擬授業を行い、ブレインストーミングやロールプレ 導方法を工夫して1時間の授業を構成	レイング、実習や実験など多様な指	学習指導要領や資料で題材の理解 をして、授業後に授業の中の課題 をレポートにまとめる。(4時間)
15	模擬授業のまとめ	模擬授業全体を通して、教材づくり、 生徒への指示、指導方法、ICT活用方 応について振り返り、課題やその解約	指導案などの授業の事前準備や、 法など、授業における生徒への対 快方法についてまとめます。	これまでの模擬授業のレポートを 読み直し、課題とその解決方法を レポートにまとめる。(4時間)
テニ	キスト		成績評価の方法・基準	
さ「大	い。) 高等学校学習指導要領解説 保優 してください。)	(季福) (東山書房) (生協で購入してくだまからいます。 (東山書房) (生協で購入して) (東山書房) (生協で購入して) (東山書房) (生協で購入して) (東山書房) (生協で開からいます。)	定期試験:50% レポート:20% 指導案、模擬授業の状況などを30%とし 試験9割以上、模擬授業の指導案及び教 トは適切な視点での授業評価ができた場 模擬授業の指導案ならびに授業、レポー 。Bは定期試験7割以上、スムーズな模据 合。Cは定期試験6割以上、模擬授業は指 合とします。	易合です。以下Aは定期試験8割以上で、 -トの授業評価が概ね良好な状況の場合 経授業、自分なりの授業評価ができた場
参	考書		履修上の注意(学生へのメッセーシ	")
	中学校、高等学校 保健体育 教 希望者は申し出てください。	(科書」 一般書店では購入できないので	保健授業の指導案作成、授業構成の力を るだけ多くの資料を収集、準備をして請 さい。学校現場の経験を生かした講義居	₫義ならびに模擬授業に取り組んでくだ │

科目名		保健科指導法Ⅲ					3年前期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	S-23
44 11 11						纠	3-1-10391	平匹奴		12/1 /2/		的プレエ	2
担当者	小松 茂美					選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日1限		
関連資格	中一(保健))、高一(保健	<u>t</u>)				履修条件	教職	課程履修者				
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修刘	付象入	学年度(読替	科目)		
1	② ③ A B C												

本講義は養護教諭が保健の授業を担当することを想定して講義を展開していきます。保健授業における養護教諭の位置づけは、学習指導要領では「専門性を有する教職員」と示されている通り、保健授業の特定分野において保健体育科の教員以上の高い専門性が求められています。そのため、本講義では養護教諭の参加が求められることの多い保健授業の題材に特化して、その内容に関する幅広い知識とより深い理解をしていくことを目的としていきます。

学修到達目標

保健科指導法 I・Ⅱの内容をさらに深化させ、養護教諭にふさわしい幅広い知識をより深く理解したレベルにまで引き上げる。教科書の内容はもちろん、生徒の興味・関心を高め、科学的認識と日常生活における実践力の向上につながるような内容についての理解と、それを子どもたちに指導していくための、養護教諭としての立場を加味した教授方法を習得する。

講義は、保健の題材のテーマについて養護教諭としての視点を加え、その内容を周辺知識まで拡げて、学習を展開します。そのため、予習段階の資料収集が必要であり、それをどのように授業に取り入れていくかを全員で討議・追究していきます。

授美	建計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容	¥	事前事後学修						
1	ガイダンス	講義計画や保健の目標について再確認	裂します。	小・中・高で扱う保健の内容と目標についてまとめてくる。(4時間)						
2	心身の機能の発達(1)	"身体機能の発達、生殖に関わる機能をさらに深めて学習していきます。 教授方法についても考察していきま	また、授業でどのように指導するか	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
3	心身の機能の発達(2)	"精神機能の発達と自己形成、欲求やついて、教科書の内容をさらに深めてどのように指導するか、教授方法にて	7学習していきます。また、授業で	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
4	健康と環境	"身体の環境に対する適応能力・至適"について、教科書の内容をさらに浴業でどのように指導するか、教授方法	深めて学習していきます。また、授	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
5	応急手当(1)	"中学校での応急手当"について、教 ていきます。また、授業でどのように 考察していきます。	枚科書の内容をさらに深めて学習し に指導するか、教授方法についても	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
6	健康な生活と疾病の予防(1)	"疾病の発生要因、生活行動・生活習"について、教科書の内容をさらに治業でどのように指導するか、教授方法	深めて学習していきます。また、授	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
7	健康な生活と疾病の予防(2)	"感染症の予防、保健・医療機関や医の取組"について、教科書の内容をきた、授業でどのように指導するか、	さらに深めて学習していきます。ま	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
8	現代社会と健康(1)	"健康の考え方"について、教科書のます。また、授業でどのように指導すていきます。	O内容をさらに深めて学習していき するか、教授方法についても考察し	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
9	現代社会と健康(2)	"健康の保持増進と疾病の予防の生活教科書の内容をさらに深めて学習して に指導するか、教授方法についてもま	ていきます。また、授業でどのよう	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
10	現代社会と健康(3)	"健康の保持増進と疾病の予防の薬物で、教科書の内容をさらに深めて学習ように指導するか、教授方法について	引していきます。また、授業でどの	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
11	現代社会と健康(4)	"精神の健康"について、教科書のPす。また、授業でどのように指導するいきます。	内容をさらに深めて学習していきまるか、教授方法についても考察して	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
12	応急手当(2)	"高等学校での応急手当"について、 していきます。また、授業でどのよう も考察していきます。	教科書の内容をさらに深めて学習 5に指導するか、教授方法について	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
13	生涯を通じる健康	"生涯の各段階における健康、保健・機関"について、教科書の内容をされ 授業でどのように指導するか、教科	らに深めて学習していきます。また	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
14	社会生活と健康	"環境と健康、環境と食品の保健、労容をさらに深めて学習していきます。 か、教授方法についても考察していき	また、授業でどのように指導する	事前に当該の内容について資料を 収集しておく。内容の確認と教授 方法をまとめる。(4時間)						
	講義全体のまとめ	これまでの保健授業の内容について、 疑問などについて、全体および個人で のまとめをします。	で討議しながら振り返り、講義全体	これまでまとめてきた内容を読み 直し、保健授業における養護教諭 の役割を再認識する。(4時間)						
-	トスト		成績評価の方法・基準							
さら入って	中学校学習指導要領解説 保健体 ハ。) 。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	*育編」(東山書房)(生協で購入してくだ 建体育編 体育編」(東山書房)(生協で購 引) 書房)	定期試験:50% レポート:50% S:学習内容を十分理解し、探究的な姿を十分達成し、期待以上の学習成果を得究的な姿勢を持ち課題に取り組み、学修習内容を理解し、課題に取り組み、学修到資を理解し、課題に取り組み、学修到資	勢を持ち課題に取り組み、学修到達目標 持ている。A:学習内容を十分理解し、探 到達目標を十分達成できている。B:学 到達目標を達成できている。C:学習内 賃目標を概ね達成できている。						
П	考書 小学校学習指導要領解説 体育網		履修上の注意(学生へのメッセーシ 養護教諭が保健の授業を行う意味につい							
保(健の教科書(小、中、高)の購入	、布室有は、甲し出てくたさい。	養護教諭が保健の授業を行う意味につい 的な学習態度と準備が必要です。学習指 に臨んでください。学校現場の経験を活	行等安原や教科書の内容を埋解して講義 活かし講義します。						

科目名	保健科指導法IV					⊭期	3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-23	
担当者	小松 茂美					氎択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1限			
関連資格	中一(保体))、高一(保体	;)				履修条件	教職課程履修者						
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	付象入	学年度(読替	科目)			
1	② ③ A B C													

本講義は養護教諭が保健の授業を担当することを想定して模擬授業を中心に講義を展開していきます。保健授業における養護教諭の位置 づけは、学習指導要領では「専門性を有する教職員」と示されている通り、保健授業の特定分野において保健体育科の教員以上の高い専 門性が求められています。そのため、本講義では養護教諭の参加が求められることの多い保健授業の題材に特化して、その内容について 模擬講義を通して実践的に理解していくことを目的としていきます。

学修到達目標

模擬授業を通して保健科指導法 I・Ⅱの内容をさらに深化させ、養護教諭にふさわしい幅広い知識をより深く理解し、実践レベルに引き上げる。教科書の内容はもちろん、生徒の興味・関心を高め、科学的認識と日常生活での実践力向上につながるような内容についての理解と、養護教諭としての立場を踏まえそれを子どもたちに指導していくための教授方法を、習得する。

授業の准め方

保健の題材のテーマについて、養護教諭としての知識を活かしその内容を周辺知識まで拡げて、模擬授業を中心に講義を進めます。指導 案作成、模擬授業、その後の討議などを通して、養護教諭としての実践的な保健授業を追究していきます。

選挙		案作成、模擬授業、その後の討議などを通して、養護教諭としての実践的な保健授業を追究していきます。 「極端記事(タロのデース等)、火車益車後労権の時間は186分目は1時間、286分目は4時間が日本でき、記載い場により変字調されます。										
1 カイダンス 複数素のから、19年間の大きないで全員です。また、保険機能とおけ、												
2 世級文業		, ,		*								
3 () 20 () 2 (2	模擬授業 心身の機能の発 達(1)	容をさらに深めた模擬授業を行い、哲	もの成熟、"について、教科書の内受業後に指導内容や教授方法につい	ておき、授業後に感想・意見をレ							
### 1 日本の作物をきらに深めた模擬検索を行い、授業後に指導の容の内容といて理解しておき、授業後に感想・意見をしまった。 「一年学校での応急手当」について、教科書の内容をさらに深めた模擬検索を行い、授業後に振導の内容について理解していて、教科書の内容をさらに深めた模擬検索を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年学校での応急手当」について、教科書の内容をさらに深めた模擬検索を行い、授業後に振導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年ので、教科書の内容をさらに深めた模擬検索を行い、授業後に振導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年ので、教科書の内容をさらに深めた模様検索を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年を企業を能嫌し、変更をしまった。」 「一年ので、教科書の内容をさらに深めた模様検索を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年を企業後に振導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年ので、教科書の内容をさらに深めた模様検察を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年を企業後に振導内容を教授方法について会員で評価・検討します。 「一年ので、教科書の内容をさらに深めた模様検察を行い、授業後に指導内容の表していて理解しておき、授業後に必要・意見をした。 「一年を企業を能嫌し、変更をしまるとを能す。」 「一年の代料増進と疾病の下の変勢は用、感染をとその予防。」 「一年の代料増進と疾病の下の変勢は用、感染をとその予防。」 「一年の代料増進と疾病の下の変勢は用、悪な病とその予防。」 「一年の代料増進と疾病の下の変勢は用、寒療に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年の代料増進と疾病の下の変勢相用、悪な病とその予防。」 「一年の代料増進と疾病の下の変勢は用、表現をに指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「一年の代料増進と疾病の下の変勢は用、表現をといのできる」でおき、授業後に感見をしまった。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の代料・検討します。 「一年の子の代料・検討します。 「一年の子の代料・検討します。 「一年の子の代料・検討します。 「一年の子の代料・検討します。 「一年の子の代料・検討します。 「一年の子の代料・検討します。 「一年の子の経・検討します。 「一年の子の経・検討します。 「一年の子の経・変し、の経験と表し、 「一年の子の経・変し、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の様が表し、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入ままり、 「一年の子の経験を入まましまり、 「一年の子の経験を入ましまり、 「一年の本の様が表し、 「一年の子の経験を入ましまり、 「一年の本の本の代表しまり、 「一年の本の本の代表しまり、 「一年を入ましまり、 「一年の本の本の代表しまり、 「日本の本の代表しまり、 「日本の本のの代表しまり、 「日本の本の代表しまり、 「日本の本の代表しま	3	模擬授業 心身の機能の発 達(2)	ついて、教科書の内容をさらに深めた	~模擬授業を行い、授業後に指導内	ておき、授業後に感想・意見をレ							
5 応急手当(1) 業を行い、授業後に振傳内容や教授方法について全員で評価・検討しま「おき、授業後に感想・意見をしまった。 (は時間) 1 (1) (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	4	健康と環境	"について、教科書の内容をさらに※	深めた模擬授業を行い、授業後に指	ておき、授業後に感想・意見をレ							
(こついて、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指していて、教育書の内容をさらに深めた機擬授業を行い、授業をに関していて、理解していて、教科書の内容をさらに深めた機擬授業を行い、授業が、ニートにまとめる。(4時間) で、教科書の内容を対象がまたについて全員で評価・検討します。 事前に当該の内容について理解して、教科書の内容をさらに深めた機擬授業を行い、授業後に感駆。夏見をした、投業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 事前に当該の内容について理解して、教科書の内容をさらに深めた機擬授業を行い、授業後に感じ、夏見をした。	5	応急手当(1)	"中学校での応急手当"について、教業を行い、授業後に指導内容や教授だす。	教科書の内容をさらに深めた模擬授 方法について全員で評価・検討しま	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)							
7 問題はよいに失物の方的 の取組 について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業 (本語・ 授業後に態見・意見をし 液に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 ポートにまとめる。(4時間) 事前に当該の内容について理解しい、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 事前に当該の内容について理解しておき、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 事前に当該の内容について理解しておき、授業後に基準・意見をしたした。 大学書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について登員で評価・検討します。 事前に当該の内容について理解しておき、使業後に感想・意見をした。 カードにまとめる。(4時間) 現代社会と健康(3) "健康の保持増進と疾病の予防の生活習慣病、喫煙・飲酒"について助きなき、授業後に悪想・意見をした。 「健康の保持増進と疾病の予防の業物乱用、感染症とその予防"について教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。 「特別と健康(3) 「精神の健康"について教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容と教授方法について全員で評価・検討します。 「精神の健康"について教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容と教授方法について全員で評価・検討します。 「高等学校での応急手当"について、教科書の内容をさらに深めた模擬・意見をした。 「高等学校での応急手当"について、教科書の内容をさらに深めた模擬・意見をした。 「本語を通じる健康 機関"について教科書の内容をさらに深めた模擬・変をでい、授業後に指導内容と教授方法について全員で評価・検討します。 「生涯の各段階における健康、保健・医療制度および地域の保健・医療・対にまとめる。(4時間) 「生涯の各段階における健康、保健・医療制度および地域の保健・医療・対にまとめる。(4時間) 「生涯の各段階における健康、保健・医療制度および地域の保健・医療・対にを表し、教育の容について理解して会員で評価・検討します。 「環境と健康、環境と自命保健、労働と健康」について教科書の内容について理解して会員で評価・検討します。 「環境と健康、環境と自命保健、労働と健康」について教科書の内容について理解して会員で評価・検討します。 「環境と健康、環境と自命保健、労働と健康」について教科書の内容について理解して会員で評価・検討します。 「環境と健康、環境と全に深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容と内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容と教教表の意見に、で、授業を信息の表別を指述の対します。 「本語、授業後に基別・意見を表別・意見を表別・意見を見いして、対しま方、と表別を記述されて、表別を記述されていて、表別を記述されていて、表別を記述されていて、表別を記述されているのでは、表別を表別を表別を表別を表別を表別を示述されているのでは、表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	6		"について、教科書の内容をさらに※	深めた模擬授業を行い、授業後に指	ておき、授業後に感想・意見をレ							
現代社会と健康(1) い、投業後に「指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	7		"感染症の予防、保健・医療機関や医の取組"について、教科書の内容をさ後に指導内容や教授方法について全員	薬品の有効利用、健康を守る社会 さらに深めた模擬授業を行い、授業 員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)							
現代社会と健康(2) 教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授 ておき、複業後に感想・意見をし方法について全員で評価・検討します。	8	現代社会と健康(1)	"健康の考え方"について、教科書のい、授業後に指導内容や教授方法につ	D内容をさらに深めた模擬授業を行 Dいて全員で評価・検討します。	ておき、授業後に感想・意見をレ							
10 現代社会と健康(3) て、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や 教授方法について全員で評価・検討します。	9	現代社会と健康(2)	教科書の内容をさらに深めた模擬授業	Ěを行い、授業後に指導内容や教授	ておき、授業後に感想・意見をレ							
現代社会と健康(4) 投業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	10	現代社会と健康(3)	"健康の保持増進と疾病の予防の薬物で、教科書の内容をさらに深めた模様教授方法について全員で評価・検討し	が乱用、感染症とその予防"につい 疑授業を行い、授業後に指導内容や します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)							
12 応急手当(2) 授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討し ます。	11	現代社会と健康(4)	"精神の健康"について、教科書のP、授業後に指導内容や教授方法につい	内容をさらに深めた模擬授業を行い ヽて全員で評価・検討します。	ておき、授業後に感想・意見をレ							
13 生涯を通じる健康 機関"について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に基準を通じる健康 に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	12	応急手当(2)	授業を行い、授業後に指導内容や教技	教科書の内容をさらに深めた模擬 受方法について全員で評価・検討し	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)							
14 社会生活と健康	13	生涯を通じる健康	"生涯の各段階における健康、保健・機関"について、教科書の内容をされた指導内容や教授方法について全員で	・医療制度および地域の保健・医療 5に深めた模擬授業を行い、授業後 で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)							
資料活用など、事前の準備や授業中の生徒への対応について、課題やそ 読み直し、課題とその解決方法を しポートにまとめる。(4時間) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してくだ さい。) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「中学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。) 「市等学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領」(東山書房) (東山書房) (東山書房房) (東山書房) (東山	14	社会生活と健康	容をさらに深めた模擬授業を行い、技	労働と健康"について、教科書の内受業後に指導内容や教授方法につい	ておき、授業後に感想・意見をレ							
「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「中学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領」(東山書房) 「東山書房) 「東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領」(東山書房) 「東山書房) 「東山書房)(生協で購入してください。) 「東護護衛としての特性を生かし、生徒が実生活での ま護教諭のしての時代を書かり、養護教諭の日間が開発できる。 B: 教材研究を積み、養護教諭としての特性を生かし、生徒が実生活での立場を書が、東護教諭としての特性を生かし、生徒が実生活での立場を書が、東護教諭としての特性を生かし、生徒が実生活での立場を書が、東護教諭としての特性を生かし、生徒が実生活での立場を書が、東護教諭としての特性を生かし、生徒が実生活での立場を書が、東護教諭としての古場を書が、東護教諭としての立場を書が、東京教諭といる主が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭としての立場を書が、東京教諭といるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると			資料活用など、事前の準備や授業中の	走への指示、内容理解、指導方法、 D生徒への対応について、課題やそ	読み直し、課題とその解決方法を							
さい。) 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) 「中学校学習指導要領」(東山書房)(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領」(東山書房) 「東山書房) 「東山書房)(生協で購入してください。) 「東山書房)(東山書房)(生協で購入と高め意味的。 「東部の世界が記念者の、選携教諭としての特別等できる。 B: 教材研究を有み、養護教諭の限制ができる。 B: 教材研究を積み、養護教諭としての特別等できる。 B: 教材研究を積み、養護教諭としての特別等できる。 A: 教材研究を行み、養護教諭の日間が明治できる。 A: 教材研究を行み、養護教諭の日間が開かれている。A: 教材研究を一分に積み、養護教諭の日間が明治できる。 A: 教材研究を有み、養護教諭としての立場を書から、表述の主ない。 「本社の学とからに取ります。「東山書房)(生徒が興味・関心を持ち取り組む学習活動の展開が明治できる。 A: 教材研究を行み、養護教諭の日間が明治できる。 A: 教材研究を行み、養護教諭の日間が明治できる。 A: 教材研究を一分に積み、養護教諭の日間が明治できる。 B: 教材研究を積み、養護教諭としての立場を書から、表述の主ない。 「本社の学習活動の展開が明治できる。 B: 教材研究を積み、養護教諭としての立場を書から、表述の主ない。 「大学校学習指導要領解説」(東山書房)(東山書	-											
「小学校学習指導要領解説 体育編」(東洋館出版社) 保健授業における養護教諭の役割をとらえ、より専門性の高い指導案の作成力	さい	い。) 高等学校学習指導要領解説 保健 してください。) 中学校学習指導要領」(東山書房	 	S:教材研究を十分に積み、養護教諭と 実践に活かせる知識の習得に繋がる学習研究を十分に積み、養護教諭の知識も活に取り組む学習活動の展開が期待できるの立場を考慮し、生徒が興味・関心をもる。C:教材研究を積み、生徒が興味・展開が概ね期待できる。	しての特性を生かし、生徒が実生活での 習活動の展開が十分期待できる。A:教材 折かし、生徒が興味・関心を高め意欲的 る。B:教材研究を積み、養護教諭として きち取り組む学習活動の展開が期待でき 関心を持ち、授業に取り組む学習活動の							
	Γ/	卜学校学習指導要領解説 体育線	a」(東洋館出版社)	保健授業における養護教諭の役割をとら	るえ、より専門性の高い指導案の作成力							

科目名	地域教育活動				学年学	期	2・3・4年通 年	単位数	1	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-02
担当者	山﨑 保寿					訳	選択必修	科目種別	演習	オフィスアワー	前期:月後期:月]曜日2限]曜日2限	
関連資格	高一(商業) 高一(保体)	、高一(情報 、養教一、中	会)、高一(公 髙一(英語)	:民)、中一(*	保体	;),	履修条件	教職	課程履修者				
ディプロマ	・ マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)												
1	2	3	Ā	В	С								

本科目は、地域の教育関係組織や団体等の諸活動に学生たちがボランティアとして参加し、地域社会に対する理解を深めるとともに、大学で学んだ理論を実際の場で検証する機会の提供を目的とします。具体的には、地域の教育関係組織・団体及び社会福祉関係の施設での教育活動を30時間以上行い、その活動証明書、レポート作成をもって単位の認定を行います。

学修到達目標

- 1. 地域社会の教育関係組織・団体での実際の体験や活動を通して、豊かな人間観、教育観を形成する一助とする。 2. 自発的、積極的態度を身につけ、人間関係の構築(コミュニケーション)の仕方、社会人としての常識の基本を学ぶ。 3. 活動を通して地域社会を体験的に理解し、関心を深める。

最初に本授業科目の意義とねらいを十分理解させた上で、受講生たちが参加できる地域の教育関係組織・団体や社会福祉施設等を一例として提示します。受講生は教育活動に参加して、その結果をレポートとして提出し、総括とします。

授到回	巻計画(各回のテーマ等)※ テーマ	事前事後学修の時間は1単位科目は1時 内容		記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修					
1	ガイダンス1	地域教育活動の授業の意義とねらい	及び学内手続きの方法	シラバスの読み・活動先の調査 (4時間)					
2	ガイダンス2	参加可能な機関・団体の一例紹介と参	参加者の心構え	第1回授業の復習と自己の活動計画の検討、作成(4時間)					
3	地域教育活動への参加1	地域教育活動への参加(活動先でのガ	(イダンス)	教育活動先についての理解(4時間)					
4	地域教育活動への参加2	地域教育活動への参加(コミュニケー	ションの取り方)	自己の活動態度等についての省察 ーコミュニケーションー(4時間)					
5	地域教育活動への参加3	地域教育活動への参加(個別指導を中	心として)	自己の活動態度等についての省察 - 個別指導 - (4時間)					
6	地域教育活動への参加4	地域教育活動への参加(集団指導を中	心として)	自己の活動態度等についての省察 -集団指導-(4時間)					
7	地域教育活動への参加5	地域教育活動への参加(活動の中間総	括)	自己の活動態度等についての省察 、活動報告会への準備(4時間)					
8	地域教育活動報告会	中間の活動報告と自己の課題の確認		中間活動報告レポートの作成(4時間)					
9	地域教育活動への参加6	地域教育活動への参加(中間教室との	関わり)	自己の活動態度等についての省察 -中間教室-(4時間)					
10	地域教育活動への参加7	地域教育活動への参加(特別支援学級	との関わり)	自己の活動態度等についての省察 -特別支援学級-(4時間)					
11	地域教育活動への参加8	地域教育活動への参加(放課後学習支	援の取り組み)	自己の活動態度等についての省察 - 放課後学習支援-(4時間)					
12	地域教育活動への参加9	地域教育活動への参加(児童センター	との関わり)	自己の活動態度等についての省察 -児童センター-(4時間)					
13	地域教育活動への参加10	地域教育活動への参加(活動の総括)		自己の活動態度等についての省察 、活動報告会への準備(4時間)					
14	地域教育活動報告会 I	地域教育活動の活動状況の報告		自己の活動態度等についての省察 と活動成果のまとめ(4時間)					
15	地域教育活動報告会Ⅱ	地域教育活動の活動状況の報告とまと	とめ	レポートの作成(4時間)					
-	Fスト		成績評価の方法・基準 出席レポート:30% レポート:70%						
	月しません。	って課題に意欲的に取り組み、各回の授 で表現することができる。A:到達目標達 組み、各回の活動で学んだことを理解 。B:到達目標達成のために探求姿勢を とんだことについて概ね理解し、文章で 校を理解して、課題に取り組み、各回の							
Γz	斧書 トャリア教育が創出する新たな教	対育環境 一地域連携で生み出す主体性と	履修上の注意(学生へのメッセーシ 本授業は、学校教育活動との2科目の中	E意(字生へのメッセーシ) 学校教育活動との2科目の中から1科目選択という選択必修科目です					
価し	価値一」山崎保寿著(松本大学出版会) 松本大学が行う帰納的教育手法と しての地域連携を参考にして下さい。								

科目名	学校教育活動				学年学	期	2・3・4年通 年	単位数	1	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-02
担当者		山峰	保寿	必修選	銀択	選択必修	科目種別	演習	オフィスアワー	前期:月後期:月]曜日2限]曜日2限		
関連資格	高一(商業) 高一(保体))、高一(情報)、養教一、中	3)、中一(社2 1一(英語)、1	会)、高一(公 高一(英語)	民)、中一(何	保体	:),	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	コマポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)												
1	2	3	A	В	С								

本科目は、小・中・高・特各学校における教育活動に学生たちがボランティアとして参加し、学校という組織に対する理解を深めると共に、本学で学んだ教職に関する理論を実際の場で検証する機会を提供することを目的とします。具体的には、学校での教育活動を30時間以上行い、その活動証明書、レポート作成をもって単位の認定を行います。

学修到達目標

- 1、自己の子ども理解を深め、子ども観を形成する一助とする。 2、教育活動での体験をもとに、学内での教職課程科目への理解を深める。 3、自発的、積極的態度を身につけ、人間関係の構築の仕方、社会人としての常識の基本を学ぶ。

授業の進め方

最初に本授業科目の意義とねらいを十分に理解したうえで、それぞれの自己の興味・関心にそって概ね半年以上にわたる教育活動に参加し、その結果をレポートとして提出し、総括をします。

授 三 回	受業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。 回											
	ガイダンス1	学校教育活動の授業の意義とねらい	_	シラバスの読み、および教職課程 履修の手引きの熟読(4時間)								
2	ガイダンス2	参加可能学校の紹介と参加者の態度	・心構え	第1回授業の復習と自己活動計画の検討、作成(4時間)								
3	活動参加1	学校教育活動への参加(活動先での力	· イダンス)	活動先への理解(4時間)								
4	活動参加2	学校教育活動への参加(教員の職務を	中心に)	自己の活動態度等についての省察 - 教員の職務 - (4時間)								
5	活動参加3	学校教育活動への参加(学校の校務分	掌の理解)	自己の活動態度等についての省察 -校務分掌-(4時間)								
6	活動参加4	学校教育活動への参加(学級内での活	動一個別指導)	自己の活動態度等についての省察 (4時間) - 個別指導 -								
7	活動参加5	学校教育活動への参加(学級内での活	動-集団指導)	自己の活動態度等についての省察 -集団指導-、活動報告会準備 (4時間)								
8	学校教育活動中間報告会	学校教育活動への参加状況の報告		中間報告会レポート(4時間)								
9	活動参加6	学校教育活動への参加(生徒指導を中	学校教育活動への参加(生徒指導を中心に)									
10	活動参加7	学校教育活動への参加(学級活動を中	ሁኔ/c)	自己の活動態度等についての省察 -学級活動-(4時間)								
11	活動参加8	学校教育活動への参加(学年・学校行	事の活動を中心に)	自己の活動態度等についての省察 -行事関係-(4時間)								
12	活動参加9	学校教育活動への参加(児童会・生徒	会活動を中心に)	自己の活動態度等についての省察 -児童・生徒会活動-(4時間)								
13	活動参加10	学校教育活動への参加(キャリア教育	・、進路指導を中心に)	自己の活動態度等についての省察 、活動報告会準備(4時間)								
14	学校教育活動報告会1	学校教育活動参加報告会		自己の活動態度等についての省察 、活動成果のまとめ(4時間)								
15	学校教育活動報告会2	学校教育活動参加報告会と全体での記	まとめ	総合レポートの作成(4時間)								
	トスト		成績評価の方法・基準									
1	使用しません。 レポート: 70% 出席レポート: 30% S:到達目標達成のために探求心をもって課題に誠実に意欲的に取り組み、正しく文章で表現できる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、活動内容と課題を文章で表現できる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、各回の活動で学んだことの振り返りをし、文章で表現できる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、各回の活動で学んだことを表現できる。											
_	芳書		履修上の注意(学生へのメッセーシ									
価値	キャリア教育が創出する新たな勃 直―」山﨑保寿著(松本大学出版 ての地域連携を参考にして下さい	版会) 松本大学が行う帰納的教育手法と	本授業は、小・中・高・特各校へのボラ、本学のボランティア活動を行う際の記していた。 目の中から1科目選択という選択必修科	ランティア活動を主要な内容とするため 者注意を遵守する。地域教育活動との2科 目です。								

科目名	教育実践特講				学年学	期 2・3年後期	単位数	2	ナンパ・リング		研究室	S-23
担当者	小松	茂美・山崎	ティア 保寿・藤	疑江 玲子	必修選	択 選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1四	限	
関連資格	高一(商業))、高一(情報 体)、養教一、	(1)、中一(社会 中一(保健)	会)、高一(地 人高一(保健	歴)、高一(2)、中一(英語	公民)、中一(保体 吾)、高一(英語)	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	コマポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(読替科目)											
			Α	В	C							

本講義は、現場の教育実践を直接参観することにより教育及び授業に対する理解・関心を深める契機とし、実際の授業の参観を通して4年 次に行う教育実習へのスムーズな移行ができるようにします。長野県下の中学校、高等学校の授業を参観し、参観後レポートを提出し、 その提出したレポートに基づいてディスカッションや模擬授業を行い、他者と意見を交わしながら授業に対する基本的な理解を深めます

学修到達目標

授業参観の基本的な態度・心得について理解を深め授業の見方を身につけ、参観後のディスカッションと模擬授業をとおして、授業実践 力を身につけると共に、自己表現力・コミュニケーション能力を向上させる。併せて、よい授業・わかる授業についての理解を深める。

授業の進め方

授業参観を2回(2日間)行い、参観後レポートを提出し、提出したレポートに基づいてディスカッションを行います。授業参観の経験を 活かし、各自作成した学習指導案に基づき模擬授業を行い、授業力の向上を図ります。

	がし、台首1F成した子首指導業に基づさ模擬技業を打り、授業力の向上を図りより。 業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
	テーマ	事刑事权于1000周周11101111111111111111111111111111		事前事後学修							
1	ガイダンス	授業の見方について 授業参観の基本的心得について		授業内容を確認し記録整理する (4時間)							
2	高等学校の訪問	授業参観 取得を目指している免害	午教科の授業参観	事前学習:参観のポイント確認 参観レポート提出(4時間)							
3	高等学校の訪問	授業参観 授業参観 と異なる教科	斗の授業参観	事前学習:参観のポイント確認 参観レポート提出(4時間)							
4	中学校の訪問	授業参観 取得を目指している免許者	枚科の授業を中心に授業参観	事前学習:参観のポイント確認 参観レポート提出(4時間)							
5	ディスカッション	高等学校の授業参観で学んだこと		事前学習:授業参観記録の確認 課題レポート提出(4時間)							
6	ディスカッション	中学校の授業参観で学んだこと		事前学習:授業参観記録の確認 課題レポート提出(4時間)							
7	ディスカッション	授業参観をとおして学んだこと教育乳	と習にどう生かすのか	事前学習:自己課題の確認 課題レポート提出(4時間)							
8	学習指導案の作成と教材研 究	学習指導案の作成と教材準備について	て再確認する	事前学習:学習指導案の基礎基本 学習指導案提出準備(4時間)							
9	指導案の作成と教材研究	模擬授業に向けた学習指導案の作成と	- -教材研究	事前学習:教材研究 学習指導案提出準備(4時間)							
10	指導案の作成と教材研究	模擬授業に向け学習指導案をもとにす	收材作成	事前学習:教材の準備 学習指導案提出と教材作成(4時間)							
11	模擬授業と板書の実際	Aグループによる模擬授業とその評価		事前学習:模擬授業の準備 授業レポート提出(4時間)							
12	模擬授業と板書の実際	Bグループによる模擬授業とその評価		事前学習:模擬授業の準備 授業レポート提出(4時間)							
13	模擬授業と板書の実際	模擬授業のまとめ(反省と課題)		事前学習:模擬授業の準備 授業レポート提出(4時間)							
14	授業評価	授業評価について(よくわかる授業、	良い授業にするために)	事前学習:授業の評価 課題レポート提出準備(4時間)							
15	まとめ	良い授業の条件についてまとめ		事前学習:良い授業とは 課題レポートの提出(4時間)							
テキ	テスト		成績評価の方法・基準								
ıN. B	三に応じて プロント資料を配在		○	字は・2004 し.ポート・2004							

テキスト 必要に応じて、プリント資料を配布します。 受講態度: 20% 出席レポート: 30% 実技: 30% レポート: 20% S: 授業参観力、よい授業・わかる授業についての理解に優れ、授業実践力の向 上が期待以上である。A: 授業参観の心得、よい授業・わかる授業について理解 しており、授業実践に活かすことが十分期待できる。B: 授業参観の心得、よい 授業・わかる授業について理解し、教授法を工夫し授業・とのより授業・わかる授業について理解 持できる。C: 授業参観の心得、よい 授業・とのなる授業について理解しており、 授業実践や教授法の工夫に活かすことが概ね期待できる。 参考書 「『大西流授業の見方 授業を見る目を高めるノウハウ25』」大西貞憲/玉 置崇著(KKプラネクサス 2010年) 「農業を見る目を高めるノウハウ25』」大西貞憲/玉 で現場の経験を踏まえ、授業を進めます。学 校現場の経験を踏まえ、授業を進めます。

													10
科目名	教職特講演習 I (教師に求められる実践的指導力)				学年学	纟期	2・3・4年前 期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-01
担当者	藤江 玲子					髬択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日3階	退	
関連資格	高一(商業) 高一(保体))、高一(情報)、養教一、中	()、中一(社: 1一(保健)、1	民)、中一(* 中一(英語)	保体)、高	。)、 ;一(英語)	履修条件	教職	課程履修者				
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性 履修対象入学年度(続替科目)												
1	2	3	A	В	C								

将来、教職に就くために必要な力を身につけます。教員採用試験(小、中、高、特別支援学校教員)の内容を理解し、現状における自己課題を認識しながら教員採用試験合格のための方策について考え、その対応力を高めます。また、新規採用教員、臨時的任用教員(講師等)等についての情報を提供し、教職への夢を失わずに教職へ進むに際しての基礎・基本の大切さを学習します。模擬授業も取り入れ、授業力向上にも取り組みます。

学修到達目標

教員のやりがい、求められる教員の資質と能力について理解を深め、併せて、教育に対する課題意識を高めるとともに、プレゼンテーション能力の向上を図る。また、思考した内容を文字にする能力を高める。

授業の進め方

講義とグループ討議、各自の意見発表を中心に進めます。自分の考えを簡潔にまとめ、文字にして発表を行い、お互いの議論を深める時間を多く取ります。模擬授業では、専門外の模擬授業を聴くことにより、自身の授業力向上に役立てます。

受ける 日本の	間を多く取ります。模擬授業では、専門外の模擬授業を聴くことにより、自身の授業力向上に役立てます。									
1 ガイダンス	_									
2 理想の教員像 本学教職上記学生が考える理想の教員像について討議 第十年学 : 理想の教員像		,								
教育の現状と課題 教育の現状と課題について(長野県教育振興基本計画より)	2	理想の教員像			事前学習:理想の教員像 授業レポート(課題)作成(3時					
5 グループ学習について I グループ学習の利点について考える 模様授業の及び意見交換① 事前学習:学習情報案件成 保護投業の序儀 (24時間) 6 グループ学習について II グループ学習の課題について考える 機様授業のよど 機様授業のよど (44時間) 機様授業のよど (44時間) 7 機械授業のよとめ 模様授業のよどめ 模様投業のまとめ 模様授業のまとめ 模様 (44時間) 機様授業のよど (44時間) 8 グループ学習について III 主体的で学びの深まるグループ学習について考える (44時間) 9 集団面接について 集団面接のポイント 環間面接について (44時間) 事前学習:主体的なグループ学習のあり方 (44時間) 9 集団面接について 集団面接のポイント 環境内容を確認し記録整理 (44時間) 現場集団面接 (44時間) 10 機能展別面接 (24時間) 現場集団面接 (44時間) 11 個人面接について (44時間) 機様関人面接 (44時間) 12 校屋個人面接 (24時間) 現場無別面接 (44時間) 12 校屋個人面接 (24時間) 現場自然のポイント (44時間) 12 校屋個人面接 (24時間) 実校回路接近 (44時間) 13 学校の危機管理 学校現場の間題から (44時間) 事前学習:(4人而接の対処について後業内容を確認し記録整理 (44時間) 14 定められる教員の資質能力 (24時間) 学校規制の開題から (44時間) 15 学級担任の役割について 学級日本のよりまたができる。(44時間) 事前学習:(4年時代)(44時間) 16 学報目を使用します。 (44時間) 学級日本のおりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。計画の構作となりまたができる。とまたができる。とれて登場を表しているのできるとなりまたができる。とは、日本のとなりまたができる。とは、日本のとなりまたができる。とおりできを見まれてきる。とは、日本のとなりまたができる。とは、日本のとなりまたができる。とは、日本のとなりとなってきる。とは、日本のとなりを含むとしたのできる。ともりとなどのはのとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりを含むとなりにもなりに対しません。 5 でなりまたりできまりとなりを含むされてきる。となりとな	3	教員の魅力	教員の魅力について考え、意見交換 学習指導案作成の基本について		事前学習:教員の魅力 学習指導案作成 (6時間)					
5 グループ学習について I 板板投業の及び意見交換① 「株園会業とめ」作成(4時間) 6 グループ学習について II グループ学習の課題について考える 事前学習・学習指導文件成長を支援で成り違う検急 7 模擬授業のまとめ 模擬授業の実践及び意見交換③ 模様授業の報り返り接入した。 8 グループ学習について III 主体的で学びの深まるグループ学習について考える 事前学習・主体的なグループ学習・のあり方・授業内容を確認し記録を理する (4時間) 9 集団而接について 集団面接のポイント 集団面接について 授業内容を確認し記録整理する (4時間) 10 模様保生団面接 模様保生団面接 ・教員採用試験の問題から サイスト ・教員採用試験の問題から サイスト ・教員採用試験の問題から サイスト ・教員採用試験の問題から ・教員採用試験の問題から ・教員採用試験の問題から ・教員採用試験の問題から ・教員採用試験の問題から ・教員採用試験の問題から ・教員採用試験の問題がら 「投業内容を確認し記録整理する (4時間) 11 製造を心を機管理 学校の場所を確認し記録整理 ・教員を確認し記録整理 ・教員を確認し記録整理 ・教員を確認し記録整理 ・教員を確認し記録整理 ・教員を確認し記録整理 ・教園が学習・学校現場に求められているか ・教員経費を確認し記録整理 ・技術学習・学校現場の課題 接近できる。 対議の書は、課題を受けているが対象内容を確認し記録整理 ・会の報目によるの表別は会見が言える。 注意のによりを確認しまないままままままままままままままままままままままままままままままままままま	4	教育の現状と課題	教育の現状と課題について(長野県4 具体的学習指導案の作成	教育振興基本計画より)	事前学習:学習指導案作成 模擬授業の準備 (4時間)					
模擬授業のすとめ 模様授業及で意見交換の 模様授業のよとめ 作成 (4時間) 模様授業のまとめ 作成 (4時間) 単位	5	グループ学習について I			事前学習:学習指導案作成 模擬授業の準備。授業レポート (本時のまとめ)作成(4時間)					
模擬授業のまとめ 模擬投業のまとめ 模様授業のまとめ 模様授業のまとめ 模様授業のまとめ で表 で表 で表 で表 で表 で表 で表 で	6	グループ学習について Ⅱ	グループ学習の課題について考える 模擬授業及び意見交換②		事前学習:学習指導案作成 模擬授業の準備。授業レポート (本時のまとめ)作成(4時間)					
全球ので学びの深まるグループ学習について考える 20まり方式接葉内容を確認し記録を理する (4時間) 集団面接について 集団面接について 集団面接について 投擬集団面接 ・教員採用試験の問題から 中前課題:集団面接への対処について/授業内容を確認し記録整理 する (4時間) 特前課題:集団面接 ・教員採用試験の問題から 中前課題:集団面接 中前課題:集団面接 中間 中前課題:集団面接 中間 中前課題:集団面接 中間 中間 中前課題:個人面接について 投擬個人面接 ・教員採用試験の問題から 中間 中前学習:個人面接について 投援個人面接 ・教員採用試験の問題から 中前学習:個人面接の対処について 大学業内容を確認し記録整理 (4時間) 中前学習:個人面接の対処について 大学業内容を確認し記録整理 (4時間) 中前学習:個人面接の対処について 「中間 中前学習: 個人面接の対処について 中前学習: 個人面接の対処について 中前学習: 個人面接の対処について 中前学習: 個人面接の対処について 中前学習: 個人面接の対処について 中前学習: (保護者が学校に何を明 大の教員にはどのような能力が求められているか 東前学習: 自己分析しているかが表します。 中前学習: 自己分析しているが発表の表別で意味を確認し記録整理 (6時間) 中前学習: 自己分析しているが発表の表別で意味を確認し記録を理 (4時間) 中前学習: 自己分析しているが発表の表別では、変しなを確認し記録を理 (4時間) 中前学習: 自己分析しているが定めって意味を確認し記録を理 (50% 出席しポート: 30% レポート: 20% こまができる。計画の場では、課題を理 日本の表別では、課題を理 日本の表別を理 日本の意味を受けていることができる。計画の場では、課題を理 日本の意味を可能であり、他者の意見を受けている。ことができる。計画の場では、課題を理 日本の意味を可能であり、他者の意見を受けていることができる。に、課題を理解 日本の意味を可能であり、他者の意見を受けていることができる。に、課題を理解 日本の意味を可能であり報告とかできる。に、課題を理解 日本の意味を可能により記述を必要により記述を必要により記述を必要により記述を必要により記述を必要により記述を必要により記述を必要により記述を必要により記述を必要により知識とよって意る。ことができる。 日本の意味を可能により記述を必要により記述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述	7	模擬授業のまとめ	模擬授業の実践及び意見交換③ 模擬授業のまとめ		授業レポート(本時のまとめ)作					
集団面接について 集団面接のポイント 授業内容を確認し記録整理する (4時間) 模擬集団面接 教養採用試験の問題から 事前課題:集団面接への対処について/授業内容を確認し記録整理する (4時間) する (4時間) 事前課題:個人面接について 個人面接について 個人面接について 個人面接について 模擬個人面接 模擬個人面接 ・教養採用試験の問題から 事前学習:個人面接について 授業内容を確認し記録整理する (4時間) 2 校類個人面接 学校現場が抱える課題について考える 事前学習:個人面接の対処について (4時間) 学校現場が抱える課題について考える 事前学習:学校現場の課題 授業内容を確認し記録整理 (5時間) 事前学習:保護者が学校に何を明 今の学校現場に求められれているものは何か 今の学校現場に求められれているものは何か 今の教員にはどのような能力が求められているか 事前学習:保護者が学校に何を明 今の教員にはどのような能力が求められているか 事前学習:自己分析したいるが、授業内容を確認し記録整理 (6時間) 15 学級担任の役割について理解を深める 事前学習:自己分析しポートの作成 (4時間) 4時間、ブリント資料を使用します。	8	グループ学習についてⅢ	主体的で学びの深まるグループ学習に	こついて考える	事前学習:主体的なグループ学習 のあり方/授業内容を確認し記録 整理する(4時間)					
10 模擬集団面接 ・教員採用試験の問題から	9	集団面接について	集団面接のポイント	事前課題:集団面接について 授業内容を確認し記録整理する (4時間)						
11 個人面接について 個人面接のポイント 授業内容を確認し記録整理する (4時間) 接機個人面接	10	模擬集団面接	模擬集団面接 ・教員採用試験の問題から		事前課題:集団面接への対処について/授業内容を確認し記録整理する(4時間)					
12 模擬個人面接 ・教員採用試験の問題から	11	個人面接について	個人面接のポイント		事前課題:個人面接について 授業内容を確認し記録整理する (4時間)					
13 学校の危機管理	12	模擬個人面接	模擬個人面接 ・教員採用試験の問題から		事前学習:個人面接の対処について/授業内容を確認し記録整理 (4時間)					
14 ボーンいて	13	学校の危機管理	学校現場が抱える課題について考える	3	事前学習:学校現場の課題 授業内容を確認し記録整理 (5時間)					
15 学級担任の役割について	14	求められる教員の資質能力 について	今の学校現場に求められれているもの 今の教員にはどのような能力が求め	Dは何か られているか	待しているか/授業内容を確認し					
毎時間、プリント資料を使用します。 受講態度:50% 出席レポート:30% レポート:20% S:探究的な姿勢で意欲的に取り組むことができる。計議の場では、課題を十分 に理解した適切な発言内容であり、建設的な意見が言える。A:意欲的に取り組むことができる。計議の場では、課題を理解した適切な発言内容であり、建設的な意見が言える。A:意欲的に取り組むことができる。計議の場では、課題を理解した発言内容であり、他者の意見を受け止めることができる。計議の場では、課題を理解した発言内容であり、他者の意見を受け止めることができる。C:課題を理解した発言内容であり、他者の意見を受け止めることができる。C:課題を理解し、取り組むことができる。請談の場では、概ね課題の内容を踏まえた発言ができる。 参考書 「学校経営の危機管理 ~トラブル対応と法的解釈~ 1・2」(第一法規) 教職への進路を前提にした授業です。毎時間、各自課題意識をもって授業に臨 み、課題解決に向けて積極的に取り組むことを希望します。教員及び管理職と	15	学級担任の役割について		ప	レポートの作成					
S:探究的な姿勢で意欲的に取り組むことができる。計議の場では、課題を十分に理解した適切な発言内容であり、建設的な意見が言える。A:意欲的に取り組むことができる。計議の場では、課題を理解した適切な発言内容であり、建設的な意見が言える。A:意欲的に取り組むことができる。計議の場では、課題を理解した発言内容であり、他者の意見を受け止めることができる。計議の場では、課題を理解した発言内容であり、他者の意見を受け止めることができる。C:課題を理解した発言内容であり、他者の意見を受け止めることができる。C:課題を理解し、取り組むことができる。請議の場では、概ね課題の内容を踏まえた発言ができる。 参考書 「学校経営の危機管理 ~トラブル対応と法的解釈~ 1・2」(第一法規) 教職への進路を前提にした授業です。毎時間、各自課題意識をもって授業に臨み、課題解決に向けて積極的に取り組むことを希望します。教員及び管理瞭と	テニ	トスト		成績評価の方法・基準						
「学校経営の危機管理 ~トラブル対応と法的解釈~ 1・2」(第一法規) 教職への進路を前提にした授業です。毎時間、各自課題意識をもって授業に臨 み、課題解決に向けて積極的に取り組むてとを希望します。教員及び管理職と	毎日	時間、プリント資料を使用しま す	· ·	S:探究的な姿勢で意欲的に取り組むこに理解した適切な発言内容であり、建設むことができる。討議の場では、課題をることができる。B: 意欲的に取り組む解した発言内容であり、他者の意見を受し、取り組むことができる。討議の場で	とができる。討議の場では、課題を十分 投的な意見が言える。A:意欲的に取り組 P理解し他者の意見を受け止め、発言す ことができる。計議の場では、課題を理					
み。課題解決に向けて積極的に取り組むことを希望します。数員及び管理職と	-									
	Γè	学校経営の危機管理 〜トラブル	ン対応と法的解釈~ 1・2」(第一法規) -	一み、課題解決に向けて積極的に取り組むことを希望します。教員及び管理職と						

科目名	教職特講演習Ⅱ(保健体育科教員としての基礎知識)					纟期	2・3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンケ゛		研究室	非常勤
担当者	佐藤 厚彦					髸択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格	中一(保体))、高一(保体	<u>z</u>)					履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	:の関連性	カリキュラ	ラムポリシーと	:の関連性			履修刘	象入	学年度(読替	科目)		
1	2	3											

本講義は基本的に中学校・高等学校の保健体育科教員として必要な専門知識を、実際の保健授業で活用できるようにより具体化した内容として学ぶことを目的としています。学習指導要領に示されている各領域の内容について、子どもに指導する際に押さえておかなければならない詳細なポイントを徹底したドリル学習により身につけていきます。

学修到達目標

中学校・高等学校の保健体育教員として、保健授業に活用できる程度までより詳細に具体化した知識として身につけている。具体的には保健授業で実際に起こり得る学習指導の課題や教員採用試験の問題などを例に、体育教員としてどのような知識が必要なのかを考察し、それが完全に身につくまで繰り返し学習し、教員採用試験に合格できる力を身につける。

授業の進め方

本講義ではこれまで「指導法」の講義で学んだ内容を復習した後、例題に沿って基本的な課題や問題を全員で考察して理解を深めていきます。さらにその後は、各自でいくつかの例題に取り組み、より確かな知識とします。

		いくつかの例題に取り組み、より唯か		==+N(, (b)) - 2) +						
授到回		事前事後学修の時間は1単位科目は1時 内容		記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修						
1	ガイダンス	授業の目的、学習の進め方を確認しま 取り組み、現在の自分の力を認識しま	す。実際の教員採用試験の問題にす。	事前にシラバスを読んでくる。教 員採用試験のできなかったところ を再度学習する。(4時間)						
2	学習指導要領(1)	体育教師として理解しておかなければ いて学習し、例題に取り組んで知識を		学習指導要領について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)						
3	学習指導要領(2)	体育教師として理解しておかなければ いて学習し、例題に取り組んで知識を		学習指導要領について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)						
4	現代社会と健康(1)	"健康の考え方、心身の機能の発達、 を学習し、関連する例題に取り組んで	精神の健康"について、その内容 知識を深めます。	関連する内容について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)						
5	現代社会と健康(2)	安全、傷害の防止"について、そ 組んで知識を深めます。	関連する内容について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)							
6	現代社会と健康(3)	"応急手当"について、その内容と実 学習し、関連する例題に取り組んで知	習を取り入れた指導方法について 識を深めます。	応急手当について予習をしておき 、例題でわからなかった点を復習 する。(4時間)						
7	生涯を通じる健康(1)	"生涯の各段階における健康"につい 例題に取り組んで知識を深めます。	て、その内容を学習し、関連する	生涯の各段階における健康につい て予習をしておき、例題でわから なかった点を復習する。(4時間)						
8	生涯を通じる健康(2)	"保健・医療制度及び地域の保健・医療 し、関連する例題に取り組んで知識を	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について予習し、わからなかった例題を復習する。(4時間)							
9	生涯を通じる健康(3)	"様々な保健活動や対策"について、 に取り組んで知識を深めます。	その内容を学習し、関連する例題	様々な保健活動や対策について予 習をしておき、例題でわからなか った点を復習する。(4時間)						
10	社会生活と健康(1)	"環境と健康"について、その内容を で知識を深めます。	学習し、関連する例題に取り組ん	健康と環境について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)						
11	社会生活と健康(2)	"環境と食品の保健"について、そのり組んで知識を深めます。	内容を学習し、関連する例題に取	環境と食品の保健について予習を しておき、例題でわからなかった 点を復習する。(4時間)						
12	社会生活と健康(3)	"労働と健康"について、その内容を で知識を深めます。	学習し、関連する例題に取り組ん	労働と健康について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)						
13	保健指導の多様な指導方法 の実際	"ディスカッション、ブレインストー、実習"などの多様な指導方法についんで知識を深めます。	・ミング、ロールプレイング、実験 ・て学習し、関連する例題に取り組	多様な指導方法について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)						
14	総合問題(1)	基本的な内容の総合問題に取り組んで 課題を見つけていきます。	、これまでの学習の成果や今後の	これまでの学習内容について復習 しておき、総合問題の結果から今 後の学習を見通す。(4時間)						
	総合問題(2)	応用的な内容の総合問題に取り組んで 課題を見つけていきます。	、これまでの学習の成果や今後の	これまでの学習内容について復習 しておき、総合問題の結果から今 後の学習を見通す。(4時間)						
テニ	キスト	J.	成績評価の方法・基準							
「2 賢 学 「	「2020年度 教員採用試験対策 中学・高校保健体育」東京アカデミー編(七 覧出版) ISBN:978-4-86455-272-1(生協で購入してください。) また、中学・高等学校(保健体育)学習指導要領解説をそれぞれ購入してください。 基本的には定期テスト及び講義内で実施する小テストの合計点数で評価しますが、得高等学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してください。 上の得点。は27割以上の得点。Bは7割以上の得点。Cは6割以上の得点を2046年で9割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の得点。Bは7割以上の表点とは6割以上の表点となっ。また、それぞれ、15回の講義の得点変動を得点化して若干ですが加算します。									
			覆修上の注意(学生へのメッセーシ	")						
-	送考書 履修上の注意(学生へのメッセージ) から差成れるよー (映画通信社) 教職課程(世間中医)などの教員採用に「体育教員トリア必要な保健の専門知識を良につけるなみ、途辺問題に教名と取									

体育教員として必要な保健の専門知識を身につけるため、演習問題に数多く取り組みます。内容が幅広いので、授業以外の時間も継続的に学習を進めていくことが重要になります。学校現場の経験を生かした講義展開をします。

教員養成セミナー (時事通信社)、教職課程 (共同出版) などの教員採用に 関する月刊誌も読んでいくと、受講する上で大変参考になります。

科目名	教職特講演習 (保健体育科の学習指導法)) 学年学	期	2・3年前期	単位数	2	ナンパ・リング		研究室	非常勤	
担当者	佐藤 厚彦					訳	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)		履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	- 1マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	才象入 字	学年度(読替	科目)		
			Α	В	C								

本講義は基本的に中学校・高等学校の保健体育科教員として必要な専門知識を、実際の体育授業で活用できるようにより具体化した内容として学ぶことを目的としています。学習指導要領に示されている各領域の内容について、子どもに指導する際に押さえておかなければならない詳細なポイントを徹底したドリル学習により身につけていきます。

学修到達目標

中学校・高等学校の保健体育教員として、体育授業に活用できる程度まで詳細に具体化した知識を身につける。具体的には体育授業で実際 に起こり得る学習指導上の課題や教員採用試験の問題などを例に、体育教員としてどのような知識が必要なのかを考察し、それが完全に 身につくまで繰り返し学習し、教員採用試験に合格できる力を身につける。

授業の進め方

本講義ではこれまで「指導法」の講義で学んだ内容を復習した後、例題に沿って基本的な課題や問題を全員で考察して理解を深めていきます。さらにその後は、各自でいくつかの例題に取り組み、より確かな知識とします。

		ごいくつかの例題に取り組み、より確か							
		事前事後学修の時間は1単位科目は1時							
回	テーマ	内名		事前事後学修					
	ガイダンス	授業の目的、学習の進め方を確認しま 取り組み、現在の自分の力を認識しま	きす。実際の教員採用試験の問題に きす。	事前にシラバスを読んでくる。教員採用試験のできなかったところを再度学習する。(4時間)					
2	学習指導要領(目標及び内 容)	体育教師として理解しておかなければ いて学習し、例題に取り組んで知識を	ばならない学習指導要領の内容につ E深めます。	学習指導要領について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)					
3	学習指導要領(内容の取り 扱い)	体育教師として理解しておかなければ いて学習し、例題に取り組んで知識を	ばならない学習指導要領の内容につ をより確かなものとします。	学習指導要領について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)					
4	体つくり運動	「体つくり運」について、その内容を で知識を深めます。	E学習し、関連する例題に取り組ん	「体つくり運動」について予習を しておき、例題でわからなかった 点を復習する。(4時間)					
5	器械運動	「器械運動」について、その内容を与 知識を深めます。	学習し、関連する例題に取り組んで	「器械運動」について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)					
6	陸上競技	「陸上競技」について、その内容と写学習し、関連する例題に取り組んで知	- 逞習を取り入れた指導方法について ロ識を深めます。	「陸上競技」について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)					
7	水泳	「水泳」について、その内容を学習し を深めます。	ン、関連する例題に取り組んで知識 	「水泳」について予習をしておき 、例題でわからなかった点を復習 する。(4時間)					
8	球技(ゴール型)	「球技(ゴール型)」について、そのP 組んで知識を深めます。	内容を学習し、関連する例題に取 <i>り</i>	「球技(ゴール型)」について予習し、わからなかった例題を復習する。(4時間)					
9	球技(ネット型)	「球技(ネット型)」について、そのP 組んで知識を深めます。	内容を学習し、関連する例題に取 り	「球技(ネット型)」について予習 をしておき、例題でわからなかっ た点を復習する。(4時間)					
10	球技(ベースボール型)	「球技(ベースポール型)」を中心に到し、関連する例題に取り組んで知識を	求技全般について、その内容を学習 ⊊深めます。	「球技(ベースボール型)」につい て予習をしておき、例題でわから なかった点を復習する。(4時間)					
11	武道(柔道)(剣道)	「武道(柔道)(剣道)」について、その り組んで知識を深めます。	D内容を学習し、関連する例題に取	「武道(柔道)(剣道)」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)					
12	武道(相撲)及びダンス	「武道(相撲)」及びダンスについて、 に取り組んで知識を深めます。	その内容を学習し、関連する例題	「武道(相撲)」「ダンス」につい て予習をしておき、例題でわから なかった点を復習する。(4時間)					
13	体育理論	「体育理論」について、その内容を与 知識を深めます。	学習し、関連する例題に取り組んで	「体育理論」について予習をして おき、例題でわからなかった点を 復習する。(4時間)					
14	総合問題(1)	基本的な内容の総合問題に取り組んで課題を見つけていきます。	ご、これまでの学習の成果や今後の	これまでの学習内容について復習 しておき、総合問題の結果から今 後の学習を見通す。(4時間)					
	総合問題(2)	応用的な内容の総合問題に取り組んで 課題を見つけていきます。	で、これまでの学習の成果や今後の	これまでの学習内容について復習 しておき、総合問題の結果から今 後の学習を見通す。(4時間)					
テ=	トスト		成績評価の方法・基準						
賢学でもで	「2020年度 教員採用試験対策 中学・高校保健体育」東京アカデミー編(七 買出版) ISBN:978-4-86455-272-1 (生協で購入してください。) また、中 学・高等学校(保健体育)学習指導要領解説をそれぞれ購入してください。 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してください。 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編」(東山書房)(生協で購入してください。 に高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(東山書房)(生協で購入してください。) は3割以上の得点。Bは7割以上の得点。Cは6割以上の得点を必要としまさい。)								
42 -	± =1		屋原 しの注音 / 芒生・のコート	, ,					
参表			履修上の注意 (学生へのメッセーシ	,					
	見管成セミナー(時事通信在)、 する月刊誌も読んでいくと、受請	教職課程(共同出版)などの教員採用に 情する上で大変参考になります。	体育教員として必要な体育の専門知識を り組みます。内容が幅広いので、授業り ことが重要になります。学校現場の経験	人外の時間も継続的に学習を進めていく					

科目名	教職特講演習 (養護教諭としての基礎知識)					空期 2・3年前	前期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-19
担当者		中島	節子	必修選	選択 選択		科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3四	限		
関連資格	養教一、中-	-(保健)、高	一(保健)					履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	コマポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	才象入 字	学年度(読替	科目)		
	A B C												

本講義は、養護教諭として必要な専門知識と技術を獲得することを目的とします。そのため、健康に関する基礎的事項をはじめ、児童生 徒が罹患しやすい疾病の成り立ち、予防、治療、保健室でのケア等の知識を修得します。また、養護教諭の職務に関する学校保健情報、 健康診断、健康相談、保健室運営等についての知識を深め、養護教諭としての基礎能力を高め、実践につなげていけるようにします。

学修到達目標

養護教諭としての専門的知識と技術を復習しながら理解できる。 健康相談活動、応急手当、保健指導などを事例に応じた対応を実践できる。

授業の進め方

専門的知識を深めるために、各回テーマを決めて、事例検討、確認問題と解説を繰り返しながら進めます。また、実践力を身につけるためにロールプレイング、演習しながら技術を向上させます。アウトキャンパスで教育現場での体験学習も行います。

		事前事後学修の時間は1単位科目は1時		-					
回	テーマ	内容	ì	事前事後学修					
1	オリエンテーション 養護 教諭の職務と必要な能力	オリエンテーションを行います。 養護教諭の職務および必要な能力にこ	ついて討議します。	養護教諭の職務について予習、復習する。 (4時間)					
2	保健室の機能と経営	保健室の法的根拠、保健室の機能、保 確認問題を行い、解説をしながら学習		保健室の機能と経営について予習 、復習する。(4時間)					
3	感染症予防	感染症の種類、関係法令について学で。 。	が、感染症予防について学習します	感染予防について予習、復習する 。事例について基礎的な部分を調 ベレポートする。(4時間)					
4	危機発生時における対応	危機発生時における対応について演習 児童生徒の心のケアについて関係者と		危機発生時の事例に対応できるように予習し、実施したことについ て復習する。(4時間)					
5	健康観察	健康観察の目的、実施、養護教諭の処 観察の実施は演習を交えて行います。		健康観察について実践できるよう に予習してくる。実践したことに ついて復習をする。(4時間)					
6	健康観察と事後措置	■例を通して考えます。ロールプレ ⊧す。	健康観察(フィジカルアセスメント含)について、実践できるように予習する。(4時間)						
7	健康診断	健康診断と発達障害についてについて予習レポートする。(4時間)							
8	健康診断の事後措置	健康診断の事後措置の方法について事 傾向と対策について学びます。	児童生徒の多い疾患についてレポートにまとめる。 (4時間)						
9	児童生徒に多い疾患	心疾患、腎疾患、糖尿病などの疾患は ぞれの事例を通して保健指導等の方法 しながら面接方法を検討します。							
10	児童生徒に多い疾患	アレルギー疾患などの疾患について研 例を通して保健指導等の方法を考える 面接方法を検討します。		疾患について基礎的なことを予習 しレポートにまとめる。事例の展 開を考える。(4時間)					
11	救急処置	救急体制の整備と応急手当について 事例を通して実際の対応の仕方を考え		救急蘇生法について予習し、事例 に対応できるようにしておく。 (4時間)					
12	学校に多い外傷の対応	打撲、外傷、捻挫、骨折、脱臼、熱修 ます。事例を通して、実際の対応を派	- 鳥の対応についての確認問題を行い 賃習します。	学校に多い外傷の病態をまとめ、 対応について予習史事例に対応で きるようにする。(4時間)					
13	養護教諭に必要な専門知識 1	食育、性教育についての確認問題を行 して模擬指導を行います。	示います。保健指導を指導案を作成	食育、性教育について予習復習す る。保健指導案を作成する。 (4時間)					
14	養護教諭に必要な専門知識 2	飲酒、喫煙、薬物乱用について健康ぞ行います。	要害と予防教育について確認問題を	飲酒、喫煙、薬物乱用について予習、復習する。(4時間)					
15	学校環境衛生基準	学校環境衛生の法的根拠と検査につい 解説しながら学びます。	1ての確認問題を行います。解答を	学校環境衛生の法的根拠と検査方 法について予習、復習する。 (4時間)					
テ=	F スト		成績評価の方法・基準						
必	要の応じて資料を配布します。		課題:20% 定期試験:70% 実技:11 既習学習を復習しながら応用、実践でき 。レポート提出は確実にできている。S り知識や技術が身について、事例に立 健的知識や技術が身について、事例に立 で、養護教諭としての基礎的知識や技術に かなりの指導を要する。	る能力が身についているか確認します :事前学習を行い養護教諭としての基礎 が応できる。A:養護教諭としての基 が応できる。B:養護教諭として基礎的な :対応できる。B:養護教諭として基礎的な :対応する場合には指導を必要とする。					
参	書		履修上の注意(学生へのメッセーシ	")					
L	よくわかる養護教諭」時事通信出 新養護概説 第10版」采女智津汀 '9816306	出版局編(時事通信社) L著(少年写真新聞社) ISBN:978-	養護教諭の免許取得に向けての科目です。養護教諭に必要な専門的知識や身体及び疾患に関する基礎的な知識・技術を確実に身につけ、実践に結びつけることが前提となります。3年以降での受講が望ましい。						
_									

科目名	教職特講演習V(養護教諭としての実践的指導力)					纟期	2・3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	S-19
担当者	中島 節子					髬択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3四	退	
関連資格	養教一、中一(保健)、高一(保健)							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	付象入 🖰	学年度 (読替:	科目)		
1	② ③ A B C												

養護教諭の職務の中でも特に専門的能力の必要な保健指導、健康相談等に関する基礎的知識を深く学び、児童生徒に対する指導、健康相談が実践できる能力を培うことが目的です。保健室に来室する児童生徒の事例を通して対応の仕方を学びます。それらを考えることで養護教諭の役割についての理解を深めます。

学修到達目標

養護教諭としての保健指導や、健康相談ができる能力を身につける。 養護教諭としての実践に結びついた判断力やコミュニケーション能力を身につける。

授業の進め方

学校で遭遇する機会の多い健康相談事例について、各自が事前レポートを書いてから事例の対応についてデイスカッションをします。また、ロールプレイングを交えて実際に対応できる能力を身につけます。アウトキャンパスで、教育現場での体験学習も行います。

受ける 日本の			「実際に対応できる能力を身につけます。 東共東後光極の時間とは光佐秋日とは間						
1 オリエンテーション を行い、推導のために必要な能力、資料・教材の 資達教諭についての原質学習の内容がある。 (本書間) は	授美								
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	オリエンテーション	オリエンテーションを行い、 指導の 活用の仕方、観察方法を学びます。	ために必要な能力、資料・教材の	養護教諭についての既習学習の内				
4 事例2	2	フィジカルアセスメント		スメントの方法について演習を交え	フィジカルアセスメントについて 予習復習する。 (4時間)				
第7992	3	事例1		を訴える事例について対応を展開し					
金の連携や治療中のこどもとの関わりについて学びます。 学習する。 (4時間) 存検討します。 学習する。 (4時間) 不定整訴があり、疾患を否定される事例を展開します。情報の分析の仕 事前に提示した症状や疾患について学習する。 (4時間) いじめ、不登校などの事例を展開し、養護教諭のかかわりについて検討 いじめ、不登校について学習する。 (4時間) 集団指導が実施できるように、指導家の作成方法や教材研究の基本を学 宏作成をする。 (4時間) 集団指導が実施できるように、指導家の作成方法や教材研究の基本を学 宏作成をする。 (4時間) 集団指導の振りを自てテーマを決めて実際に指導家を作成します。 全自のテーマと対象に合わせて、指導家に指導家を作成します。 全自の乗用指導の振り返りをする。 (4時間) 集団指導の実施 集団指導を行えるように準備します。 全自の乗用指導の振り返りをする。 (4時間) 養護教諭に必要な専門的知 養護教諭に必要な専門的知 養護教諭に必要な育化器、循環器、脳神経、感覚器などの人体の解剖や 全自の乗用指導の振り返りをする。 (4時間) 学校保健安全法など養護教諭に必要な法律について学びます。 養護教諭に必要な専門的知 養護教諭に必要な音化器、循環器、 法律 学校保健な会社など養護教諭に必要な法律について学びます。 養護教諭に必要な専門的知 学校保健な会社など養護教諭に必要な法律について学びます。 養護教諭に必要な資質と能力について登びます。 本の指導と表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	4	事例2	腰痛、関節痛などの外科的な身体症*し、検討します。	犬を訴える事例について対応を展開	事前に提示した疾患や腰痛、関節 痛について学習する。(4時間)				
7 事例5 いじめ、不登校などの事例を展開し、養護教諭のかかわりについて検討 いじめ、不登校について学習する。 (4時間) におす。 (4時間) 集団指導1 集団指導が実施できるように、指導条の作成方法や教材研究の基本を学 する。 (4時間) 集団指導1 集団指導が実施できるように、指導条の作成方法や教材研究の基本を学 デーマについての資料集めと指導条作成します。 名自のテーマと対象に合わせて、指導条に基づいて教材を作成し、集団 指導のための教材を作成する。 (4時間) 集団指導を行えるように準備します。 各自の乗団指導を行えるように準備します。 各自の集団指導の表が、集団指導を行えるように準備します。 各自の集団指導の表が、(4時間) 第2 集団指導をお互いに実施し、評価・検討します。 各自の集団指導の振り返りをする。 (4時間) 第2 集団指導をお互いに実施し、評価・検討します。 名自の集団指導の振り返りをする。 (4時間) 学校保健安全法など養護教諭に必要な消化器、循環器、脳神経、感覚器などの人体の解剖や 集団指導を記して空びます。 (4時間) 学校保健 学校保健における養護教諭に必要な法律について学びます。 養護教諭に関連した法律について学びます。 (4時間) 学校保健 学校保健における養護教諭の役割を学び、学指導要領の内容を確認する。 (4時間) でな保健な全法など養護教諭に必要な法律について学びます。 (4時間) でな保護はおける養護教諭の役割を学び、学指導要領の内容を確認します。 (4時間) でな保護はおける養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 (4時間) まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 (4時間) では、事の学習指導更額の内容を確認する。 (4時間) では、事の学習指導政教教をといて、事例に対してきる。 第2 護教諭として知識や技術が身について、事例に対してきる。 第2 護教諭として知識や技術が身について、事例に対してきる。 第2 護教諭として知識や技術が身について、第2 は、計算を行えているの指導を要する。 (4時間) では、予2 を表する。 (4時間) では、予2 を表するによりないによりないに、事例を展開していきます。 コードを記しているよりに、事例を展開していきます。 コードを記していきます。 コードを記しているよりに、事2 を表する (4時間) では、第2 を表する (4時間) では、4 を表する (4時間) を表する (4時間) では、4 を表する (4時間) を表する (4時間) を表する (4時間) を表する (4時間) を表する (4時間) を表する (4時間) を	5	事例3	精神症状を訴える事例について展開し 合の連携や治療中のこどもとの関わり	します。医療が必要と判断される場)について学びます。	事前に提示した精神疾患について 学習する。 (4時間)				
1	6	事例4	不定愁訴があり、疾患を否定される 方を検討します。	事例を展開します。情報の分析の仕	事前に提示した症状や疾患について学習する。(4時間)				
************************************	7	事例5	養護教諭のかかわりについて検討						
第年前日等1 びながら、各自でテーマを決めて実際に指導案を作成します。 案作成をする。 (4時間) 10 集団指導2 各自のテーマと対象に合わせて、指導案に基づいて教材を作成し、集団 指導のための教材を作成する。 (4時間) 指導を行えるように準備します。 各自の集団指導の振り返りをする。 (4時間) 2 養護教諭に必要な専門的知 養護教諭に必要な消化器、循環器、脳神経、感覚器などの人体の解剖や 解剖学、生理学の復習する。 (4時間) 2 検護教諭に必要な専門的知 歳・法律 学校保健安全法など養護教諭に必要な法律について学びます。 養護教諭に必要な専門的知 満・法律 学校保健な全法など養護教諭に必要な法律について学びます。 (4時間) 2 学校保健 学校保健における養護教諭の役割を学び、学指導要領の内容を確認します。 (4時間) 2 まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 (4時間) 5 まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 2 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 3 (4時間) 5 まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 2 養護教諭としての知識や技術が身について、事例に応じて応用できる。 3 養護教諭としての知識や技術が身について、事例に応じて応用できる。 3 養護教諭としての知識や技術が身について、事例に対応する場合には指導を必要とする。 6 養護教諭としての基礎的知識や技術はよこの基礎別識や技術は一定功について、事例に対応する場合には指導を必要とする。 6 養養教諭としての基礎別識や技術は一の基礎別論や技術は一にからころが、応用するにはかなりの指導を要する 6 養養教諭としての実践能力を身についるが、応用するにはかなりの指導を要する 6 養養教諭としての実践能力を身についるが、応用するにはかなりの指導を要する 6 養養教諭としての実践能力を身につけるとめに、事例を展開していきます。コ	8	事例6							
指導を行えるように準備します。 (4時間) 集団指導の実施 集団指導をお互いに実施し、評価・検討します。 各自の集団指導の振り返りをする。 (4時間) 養護教諭に必要な専門的知 養護教諭に必要な消化器、循環器、脳神経、感覚器などの人体の解剖や 解剖学、生理学の復習する。 (4時間) 養護教諭に必要な専門的知 学校保健安全法など養護教諭に必要な法律について学びます。 養護教諭に関連した法律について 後習する。 (4時間) 学校保健 学校保健における養護教諭の役割を学び、学指導要領の内容を確認しま っ、中、高の学習指導要領の内容 を確認する。 (4時間) まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 な確認する。 (4時間) テキスト 必要に応じて資料を配布します。 成績評価の方法・基準 定期試験: 70% 課題: 30% 既習学習を復習しながら応用、実践できる能力が身についてまどめる。 (4時間) 「新工版 学校保健実務必嫌 第4次改訂版」学校保健・安全実務研究会組 養護教諭としての実践能力を身についているが、応用するにはかなりの指導を要する。 の	9	集団指導1	集団指導が実施できるように、指導3 びながら、各自でテーマを決めて実際	テーマについての資料集めと指導 案作成をする。 (4時間)					
2	10	集団指導2	各自のテーマと対象に合わせて、指導 指導を行えるように準備します。	尊案に基づいて教材を作成し、集団	指導のための教材を作成する。 (4時間)				
13 議・解剖 生理学について学びます。	11	集団指導の実施	集団指導をお互いに実施し、評価・株	食討します。					
学校保健 学校保健における養護教諭の役割を学び、学指導要領の内容を確認します。 小、中、高の学習指導要領の内容を確認する。 (4時間) まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 養護教諭に必要な資質と能力についてまとめる。 (4時間)	12	養護教諭に必要な専門的知識・解剖	養護教諭に必要な消化器、循環器、 生理学について学びます。	歯神経、感覚器などの人体の解剖や	解剖学、生理学の復習する。 (4時間)				
す。小、中、高の指導内容の特徴を発達段階に合わせて検討します。 を確認する。(4時間) まとめ 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。 「養護教諭に必要な資質と能力についてまとめる。(4時間) がでまとめる。(4時間) が表達を関したがら応用、実践できる能力が身についているか確認します。 レポート提出は確実にできている。3. 養護教諭としての知識や技術が身について、事例に対応できる。B. 養護教諭としての知識や技術が身について、事例に対応できる。B. 養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に対応する場合には指導を必要とする。C. 養護教諭としての基礎的知識や技術は身についているが、事例に対応する場合には指導を必要とする。C. 養護教諭としての基礎的知識や技術は一応身についているが、応用するにはかなりの指導を要する。 参考書 「複修上の注意(学生へのメッセージ)	13	養護教諭に必要な専門的知 識・法律	学校保健安全法など養護教諭に必要な	な法律について学びます。	養護教諭に関連した法律について 復習する。 (4時間)				
「大きなの 「大きなの 「大きなの 「大きなの 「大きない 「な	14	学校保健	学校保健における養護教諭の役割を含す。小、中、高の指導内容の特徴を教	学び、学指導要領の内容を確認しま 発達段階に合わせて検討します。	小、中、高の学習指導要領の内容 を確認する。 (4時間)				
必要に応じて資料を配布します。 定期試験:70% 課題:30% 既習学習を復習しながら応用、実践できる能力が身についているか確認します。 。レポート提出は確実にできている。S:養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に応じて応用できる。A:養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に対応できる。B:養護教諭として基礎的な知識や技術は身について、事例に対応する場合には指導を必要とする。C:養護教諭としての基礎的知識や技術は一応身についているが、応用するにはかなりの指導を要する。 参考書 「新訂版 学校保健実務必携 第4次改訂版」学校保健・安全実務研究会編 養護教諭としての実践能力を身につけるために、事例を展開していきます。コ	15	まとめ	養護教諭に必要な資質と能力について	て個々の考えをもとに討議します。					
既習学習を復習しながら応用、実践できる能力が身についているか確認します。レポート提出は確実にできている。S:養護教諭としての知識や技術が身について、事例に応じて応用できる。A:養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に対応できる。B:養護教諭として基礎的な知識や技術は身について、事例に対応する場合には指導を必要とする。C:養護教諭としての基礎的知識や技術は一応身についているが、応用するにはかなりの指導を要する。 参考書 「新訂版 学校保健実務必携 第4次改訂版」学校保健・安全実務研究会編 養護教諭としての実践能力を身につけるために、事例を展開していきます。コ	テニ	Fスト		成績評価の方法・基準					
「新訂版 学校保健実務必携 第4次改訂版」学校保健・安全実務研究会編 養護教諭としての実践能力を身につけるために、事例を展開していきます。コ	必要	要に応じて資料を配布します。		既習学習を復習しながら応用、実践できる能力が身についているか確。レポート提出は確実にできている。S:養護教諭としての知識や技術いて、事例に応じて応用できる。A:養護教諭として基礎的知識や技術なついて、事例に対応できる。B:養護教諭として基礎のな知識や技術なているが、事例に対応する場合には指導を必要とする。C:養護教諭と					
「新訂版 学校保健実務必携 第4次改訂版」学校保健・安全実務研究会編 (第一法規出版) 養護教諭としての実践能力を身につけるために、事例を展開していきます。コミュニケーションやカウンセリング能力、他者との連携についてもロールプレイングなどで実践していくので積極的に参加してください。	参表	芳書		履修上の注意(学生へのメッセーシ	")				
	「养 (含	新訂版 学校保健実務必携 第4 第一法規出版)	次改訂版」学校保健・安全実務研究会編	議護教諭としての実践能力を身につけるために、事例を展開していきます。コミュニケーションやカウンセリング能力、他者との連携についてもロールプレイングなどで実践していくので積極的に参加してください。					

科目名	教職特講演習VI(学校課題の理解と教師の対応力)				学年学	期	2・3・4年後 期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	非常勤
担当者	石井 良治					訳	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格 高	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)、中一(高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中一(英語						:)、 :一(英語)	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロマ:	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修刘	す象入り	芦年度(読替	科目)		
1	2	3	Α	В	С								

近年、保護者や地域住民からの学校に対する意見や要望は多様化しています。場合によっては、保護者と学校が対立し合い、互いに苦しむ状況に陥ることも珍しくはありません。そのような状況を未然に防ぐためには、教職員の初期対応が非常に重要であると言われています。本授業では、複数の事例をとおして学び、教員としての対応能力(コミュニケーション能力)を高めながら教員と保護者や地域住民との良好な関係づくりのあり方、また危機管理の基本姿勢について学びます。

学修到達目標

学校におけるトラブルの具体的な事例について学び、その背景や課題を理解することができる。 教員に求められる重要な力の1つである「コミュニケーション力」「危機対応意識」を高め、多角的に分析する態度を身につけている。

授業の進め方

|いくつかの具体的な事例をもとに、講義とグループ討議やロールプレイを交えながら、問題点の所在を明らかにしながら学習を進めます

-		事前事後学修の時間は1単位科目は1時					
□	テーマ	内名 授業概亜レ授業計画		事前事後学修 レポート提出準備:本時のまとめ			
1	ガイダンス	授業概要と授業計画 学校現場で問題となるトラブルのケー	ースについて概観します。	(2時間)			
2	安心・安全という意識	学校生活における「環境」の意味をE えます。	里解し、「安心・安全」について考	事前学習:苦情の現状 レポート提出準備:本時のまとめ (4時間)			
3	苦情への対応①	生徒からの苦情、保護者からの苦情な 険にしない」とはどういことかについ	を受け止める。「苦情の申し出を邪 ハてグループワークをします。	事前学習:保護者対応の10ヶ条 /レポート提出準備:本時のまと め/(4時間)			
4	苦情への対応②	地域住民からの苦情を受け止める。 ものを理解します。	「地域が学校に向ける目」から学ぶ	事前学習:地域と学校のトラブル の現状/課題レポートの提出準備 (4時間)			
5	苦情への対応③	ロールプレイを通して、苦情対応のれ め解決の方向を探ることについて理解	模擬体験をし、相手の訴えを受け止 解を深めます。	事前学習:対応時の態度・表現 課題レポート提出準備 (4時間)			
6	児童虐待・いじめ・体罰・ 不登校などの現状	児童虐待・いじめ・体罰・不登校なと を深めます。	どについて現状と課題について理解	事前学習:児童生徒をめぐる現状 /レポート提出準備:本時のまと め(4時間)			
7	事例からつかむ対応のヒン ト①	不登校の児童生徒の保護者からの苦かす。	青をもとに支援のあり方をさぐりま	事前学習:苦情のうらにあるものは何か/レポート提出準備:本時のまとめ/(4時間)			
8	事例からつかむ対応のヒン ト②	児童虐待に関わる対応について学校F について理解を深めます。	内外の組織で対応することの大切さ	事前学習:児童虐待対応の法的根拠/レポート提出準備:本時のまとめ(4時間)			
9	事例からつかむ対応のヒン ト③	「クラス内にいじめがあるのに担任し 事例から、いじめ把握の取り組みにこ	ま対応していない」と苦情を受けた ついて理解します。	事前学習:いじめ把握の困難さ 課題レポートの提出準備(4時間)			
10	初期対応の考え方	苦情対応の3段階について理解し、特ます。	に初期対応の重要性の理解を深め	事前学習:未然予防という考え方 /レポート提出準備:本時のまと め(4時間)			
11	個別支援	児童生徒に対して個別指導・個別支持 時の心得について理解を深めます。	爰する機会とねらいを整理し、その	事前学習:個別指導とトラブル回避/レポート提出準備:本時のまとめ/(4時間)			
12	教師の人権感覚	児童生徒の人権感覚の涵養は全教育? の人権感覚という視点から児童生徒へ	舌動でもとめられている。教師自身 への向き合い方を考えます。	事前学習:人権感覚 課題レポートの提出 (4時間)			
13	日常の危機管理意識	「災害」「生徒指導」における日常の例をもとに考えます。	の危機管理意識の在り方について事	事前学習:学校現場で起きやすい イージーミス/レポート提出準備 :本時のまとめ/(4時間)			
14	学校組織と地域連携	「チーム学校」のめざすものと学校な 携について理解を深めます。	を取り巻く地域社会の諸機関との連	事前準備:「チーム学校」のねらい レポート提出準備:本時のまとめ (4時間)			
15	教育現場の課題 まとめ	教育現場で抱えている諸課題をまとる のまとめをします。 (当初の目的が)	め、苦情対応や保護者対応について 達成されたか、成果と課題)	事前学習:学校現場で抱えている 具体的な課題/課題レポートの提 出/(6時間)			
	トスト		成績評価の方法・基準				
1		· ·	L. R: 課題を十分理解し、討議の場では	iする。 は、発言内容が適切であり、視点をかえ 、討議の場では、建設的な意見が言える 、他者の意見を受け止めてその差異を意 計議の場では、概ね課題の内容を踏まえ			
_	芳書		履修上の注意(学生へのメッセーシ				
育	委員会編 東京都教育委員会のH	養者との対話を活かすために〜」東京都教 Pから 対応と法的解釈〜 1・2」(第一法規)	受講者自身の考え方や意見等を述べることで学習が深まりますので、意欲的・ 積極的に参加することを望みます。元中学校長の勤務経験を活かし、講義しま す。				

													10
科目名	教職	教職特講演習Ⅶ(教職教養の基礎)					2・3・4年前 期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-02
担当者		Щ	6 保寿		必修選	髬択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2四	限	
関連資格	高一(商業) 高一(保体)	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)、中高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中一(英健)、						履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修刘	付象入:	学年度(読替	科目)		
1	② ③ A B C												
1													

目的:本講義は、主として教員採用選考試験を受験する学生を対象とし、教職教養の教育学、教育 心理学、発達心理学分野の基礎的知識の総まとめと課題演習により、基礎的な教職教養を身につけ、教員採用選考試験に際しても自信をもって臨むことができるようにします。概要:教育思想、教育史、教育課程、学習指導要領、教育心理学等の基礎的な知識の整理とまとめを行います。

学修到達目標

到達目標: 1. 教職教養の教育学分野の基礎的知識を確実に身につける。 2. 教職教養の教育心理学・発達心理学分野の基礎的知識を確実に身につける。 3. 教員採用選考試験の教育学分野及び教育心理学・発達心理学分野の問題に関する理解を深める。

授業の進め方

授業は、プリント資料を準備し、教育学、教育心理学の各分野の基礎的、基本的知識を体系的に整理し、毎時間の課題演習によりそれらの知識を確実に良につけることができるように講義と演習形式で行います。

	の知識を確実に身につけることができるように講義と演習形式で行います。 授業計画(各回のテーマ等)※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
授到	業計画(各回のナーマ等) <u>※</u> │ テーマ	事前事後学修の時間は1単位科目は1時 内容		記載以外にも適宜課されます。 事前事後学修							
		ガイダンス 授業のやり方について <i>の</i>		資料による問題の作成と回答(4時 間)							
2	心理学理論&心理学史	心理学理論&心理学史についての小う	テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
3	外国の教育思想	外国の教育思想についての小テスト間	問題の回答と説明	資料による問題の作成と回答 (4時間)							
4	学習理論・学習の過程	学習理論・学習の過程(動機付け、ま スト問題の回答と説明	2憶と忘却、認知)についての小テ	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
5	教育課程・学習指導要領	教育課程・学習指導要領についての人	トテスト問題の回答と説明	資料による問題の作成と回答(4時間)							
6	発達と発達理論	発達と発達理論についての小テスト問	問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
7	教育方法・情報教育	教育方法・情報教育についての小テス	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)								
8	地域連携・学校経営	地域連携と学校経営についての小テン	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)								
9	教育行政・教育法規	 教育行政・教育法規についての小テン 	スト問題の回答と説明	資料による問題の作成と回答(4時間)							
10	各種心理検査と教育現場で の実際	各種心理検査と教育現場での実際につ	ついての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
11	生徒指導・学校、学級経営	生徒指導・学校、学級経営についての	D小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
12	適応と適応機制・心理療法	適応と適応機制・心理療法についての	D小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
13	特別支援教育	特別支援教育についての小テスト問題	題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)							
14	教育評価	教育評価についての小テスト問題の回	授業で実施した小テストの復習を リフレクションペーパーにまとめ る(4時間)								
15	まとめ	まとめ		授業の振り返りと反省レポート (4時間)							
	キスト		成績評価の方法・基準								
「ź 社)		験合格問題集」L&L総合研究編(新星出版	・ ハテスト:60% 出席レポート:40% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポータ、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポー								

み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレボトに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。 履修上の注意(学生へのメッセージ)

「2020年版 教員採用試験 各県版(複数を)」 複数の受験県の情報を入手し、過去問を徹底すること。

教員採用選考試験の受験を考えている方は、できるだけ受講するようにして下 さい。

科目名	教職特講演習Ⅷ(教師に求められる文章表現能力)) 学年学	期	2・3年後期	単位数	2	ナンハ゛リンク゛		研究室	W-02
担当者	山﨑 保寿・藤江 玲子						選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2四	艮	
関連資格	高一(商業) 高一(保体))、高一(情報)、養教一、中	₹)、中一(社: 1一(保健)、1	会)、高一(公 高一(保健)、	民)、中一(f 中一(英語)	保体 、高	:)、 :一(英語)	履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーと	の関連性	カリキュラ	ラムポリシーと	の関連性			履修刘	付象入	学年度 (読替:	科目)		
1	2	3	A	В	С								

国的:教師に必要な文章表現能力を身につけ、学校現場で十分対応できる力を育成することです。 概要:教師の仕事に文章表現能力がいかに関わるかについて概説し、教師が文章表現能力を身につけておく必要性を理解させるとともに 、文章表現の基礎的知識、文章表現の技法について学び、個性的、魅力的な小論作文を書くことができる力が身につくような講義を目指 します。

学修到達目標

○文章表現の基礎を身につける。○自分の考えを整理し、相手によくわかるように的確に文章表現できる。○「自分らしさ」を出した個性的な小論作文を書くことができる。

毎回、教科書および設定したテーマに即した基本的知識・情報を提供するとともに、実際に小論作文を書く練習を繰り返すことによって、文章表現能力が高められるように創意工夫をしたいと思います。随時、添削指導も行います。

授到回	禁計画(各回のテーマ等)※ テーマ	事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。 内容	記載以外にも適宜課されます。
1	教師の表現能力	教師の仕事と文章表現の機会(山﨑・藤江)	課題レポートー教師の仕事と表現能力- (4時間)
2	文章表現の基礎	文章表現の基本的スタイル―作文と小論文(山﨑・藤江)	課題レポート-文章表現の基礎 - (4時間)
3	文章表現のルール	文章表現・表記の基本的ルール(山﨑・藤江)	課題レポート-文章表現のルール - (4時間)
4	文章表現法 I	「起承転結」型の文章表現法(山﨑・藤江)	課題レポート-起承転結の文章 - (4時間)
5	文章表現法Ⅱ	「序論・本論・結論」型の文章表現法(山﨑・藤江)	課題レポート-三段型の文章表現 - (4時間)
6	課題小論文 I	課題小論文の書き方(1)―小論文の傾向(山﨑・藤江)	課題レポートー課題小論文 ①-(4時間)
7	課題小論文Ⅱ	課題小論文の書き方(2)―小論文に必要な事前準備(山崎・藤江)	課題レポートー課題小論文 ②一(4時間)
8	課題小論文Ⅲ	課題小論文の書き方(3)―内容構成 相互評価(藤江・山﨑)	課題レポートー課題小論文 ③ - (4時間)
9	課題小論文IV	課題小論文の書き方(4)―内容構成 自己評価(藤江・山﨑)	課題レポートー課題小論文 ④- (4時間)
10	教育時事問題	教育時事問題に関する小論作文(藤江・山崎)	課題レポート-教育時事- (4時間)
11	自己体験	自己体験を入れた小論作文(藤江・山﨑)	課題レポート-自己体験小論文 - (4時間)
12	具体事例	具体的事例を入れた小論作文(藤江・山﨑)	課題レポート-具体的事例と小論 文-(4時間)
13	自分自身のこと	自分の趣味や現在の関心に関する小論作文(藤江・山﨑)	課題レポート-自分らしい小論文 - (4時間)
14	教職観・教師観	自分の教職観や教師観がはっきりしている小論作文(藤江・山﨑)	課題レポートー教職観・教師観 - (4時間)
	まとめ	まとめ―「自分らしさ」を出した個性的な小論作文(藤江・山﨑)	総合レポート(4時間)
二 -	- フト	成績評価の方法・基準	

テキスト 成績評価の方法・基準 出席レポート:80% 小論文への取り組み度:20%。S:課題に意欲的に取り組み、出題のねらいを理解して、論理的な文章で表現できる。A:課題に意欲的に取り組み、段落構成を工夫した文章で表現できる。B:課題に意欲的に取り組み、出題意図を概ね理解し、文章で表現できる。C:課題を理解して、意欲的に取り組み、時間内に表現しようとする。 「授業で指示します」 毎時間、授業者がプリント資料を準備して行います。 参考書 履修上の注意(学生へのメッセージ) 将来教職への進路をめざしている方は、できるだけ受講するようにして下さい 。できれば2年次、3年次と継続して履修をし文章表現能力身にをつけて下さい その都度、必要に応じて紹介します。

科目名	教職特講演習 (学校体育実技指導の基礎)					ź期	3年後期	単位数	2	ナンパ・リング		研究室	S-13
担当者		岩間 英明					選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日5四	限	
関連資格	中一(保体)、高一(保体)							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修文	才象入 🖰	学年度(読替	科目)		
	A B C												

本講義は体育指導において、生徒が新しい運動スキルを獲得したり、陥りやすい運動課題の解決法を見つけ出したりするには、どのような指導をしていけばよいのかを実技を通して分析・研究していき、スポーツの指導実践能力を高めることを目的としています。 本講義では各種スポーツの特性の理解や、それに適した指導法ならびに、指導の際の言葉かけ、運動の場づくりといった指導展開をする上でポイントとなることについて学習していき、生徒が生き生き取り組む体育授業について追究していきます。

学修到達目標

陸上競技のハードル走、器械運動のマットと跳び箱、体つくり運動、ダンス、武道の柔道と剣道、バレーボール、サッカー、バスケット ボールの指導方法と、技術のポイントを学習し、分かりやすく説明したり実技指導ができるようになる。

授業の進め方

参考書

なし

中学校・高等学校の授業でおこなわれるなじみ深いスポーツ種目を中心に展開していきます。各種スポーツの特性の理解、運動技能・技術の指導、学習集団の指導といった点に着目し、実技による学習を展開していきます。

	術の指導、学習集団の指導といった点に着目し、実技による学習を展開していきます。 受業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
_										
		内容	-	事前事後学修						
1	生徒が主体的に学ぶ体育の 授業とは	生徒が主体的に学習するための教師の に対する考え方について	D手だてや教師の基本的な体育授業	自己紹介、体育の授業や先生に対する各自の思いをまとめておく (4時間)						
2	<陸上競技> 腰を高く保った走り方	腰を落とさず、高い位置に保ち、ももる走り方を体感し、指導方法を学ぶ。	らを上げ、腕の振りで推進力をつけ	自分の走り方について知り、考えておく(4時間)						
3	< 陸上競技 > とび越すハードル走からま たぎ越すハードル走へ	ふみ切り位置と着地の位置に着目し遠 法をマスターする。フォームの分析の	きくでふみ切り、近くに着地する走 D方法を知る。	前回の復習を行う(4時間)						
4	<陸上競技 > とび越すハードル走からま たぎ越すハードル走へ	ハードル上での前傾姿勢、ふり上げ版 、ハードルを越えた第一歩を正しく前	即、抜き脚のフォームをマスターし 前方へふみ出す学習をする。	陸上競技についてのまとめを再度 行う(4時間)						
5	<器械運動> マット運動の個々の技と連 続技を学ぶ	回転系、展開系の個々の技を学びポイ	(ントを知る。	マットの単技で自分ができる技、 挑戦したい技について考えておく (4時間)						
6	<器械運動> 連続技を学ぶ	アドバイスと補助の仕方、つまずきの 技術のポイントを学ぶ。	連続技で自分ができる技、構成について考えておく(4時間)							
7	< 器械運動 > とび箱運動の様々なとび方 を学ぶ	腕立開脚とび、閉脚とび、台上前転と な指導について学ぶ	とび箱運動の様々なとび方につい て理解しておく(4時間)							
8	<体つくり運動> 体力を高める運動について	体力を高める運動を様々考案し、目的 業ができる様にする。	体力を高める運動について学習指 導要領を理解しておく(4時間)							
9	<体つくり運動 > 体ほぐしの運動について	体ほぐしの運動について目的、効率、 擬授業ができる様にする。	体ほぐしの運動について学習指導 要領を理解しておく(4時間)							
10	<ダンス> 創作ダンスに取り組もう	模倣の動きを恥ずかしがらずに伸び伸	申びと演ずる。	普段目に付くダンスのステップを 見てイメージしておく(4時間)						
11	<ダンス> 創作ダンスに取り組もう	様々なテーマを即興で数多く動いてみ 演じ、作品を作る。模擬授業を行う。	する。いくつかのフレーズを考案、	前回学んだ動作を取り入れた模擬 授業を考えておく(4時間)						
12	< 武道 > 別道の基本技、柔道の基本 技について学ぶ	剣道・柔道の基本の技、動作、修得と	:安全な指導について学習する。	剣道・柔道の基本技・ルールを事前に理解しておく(4時間)						
13	<球技> バレーボール	フローターサーブ、アンダーハンドゥ ダーハンドパスなどの基本的な技の学 修得、指導法の学習	ナーブ、オーバーハンドパス、アン ^{幹習と三段攻撃、ディフェンス等の}	バレーボールのルール・戦術を事前に調べ、理解しておく(4時間)						
14	<球技> バスケットボール	相手ディフェンスをかわしてのドリフ と指導方法の学習	ブルやパスなどの基本プレーの修得	バスケットボールのルール・戦術 を事前に調べ、理解しておく (4時間)						
15	<球技> サッカー	基本的なプレーの修得と3人対2人のミ 学習	ミニゲームなどの学習と指導方法の	サッカーのルール・戦術を事前に 調べ、理解しておく(4時間)						
テ	キスト		成績評価の方法・基準							
中	学校、高等学校で利用している体		実技:50% 受講態度:50% 毎時間の授業における実技の状況によっ 上記の受講態度は、技能の要領と指導方 授業に対する意欲度…20%、安全に対す 評価基準は合計点数で、90%以上をS、 Cとします。	法についての知識度・理解度 15%						

履修上の注意(学生へのメッセージ)

体育教員に必要な実技能力の向上及び指導のポイントなど学習していきます。 教員採用試験でも体育実技の能力は問われますので、教員を目指す人はできる だけ受講することを勧めます。学校現場の経験を生かした講義展開をします。

科目名	教職特講演習 (教育理論の基礎知識)				学年学	期	2・3年前期	単位数	2	ナンパ・リング		研究室	非常勤
担当者	石井 良治					뫬	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、小二種免							履修条件	教職	課程履修者			
ディプロ	マポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの							履修文	才象入 🖰	学年度(読替	科目)		
	A B C												

本講義は学校現場における教育課題を取り上げ、教科指導に限らず、幅広い場面を想定し、教員としての基礎的な知識技能や取り組み姿 勢を理解することを目的としています。子どもに指導する際に押さえておかなければならない具体的なポイントを押さえて学習していき ます。

学修到達目標

教員として、授業改善や授業展開など学習指導の基本的な知識を身につけている。 学校現場の教育的諸課題を理解した上で、児童生徒への関わり方を理解し、望ましい対応の仕方を実践することができる。

授業の進め方

毎回の講義は学校現場の教育的諸課題について、自分自身の経験や各種資料を参考にディスカッションや講義行い、各自でそれをレポートにまとめていきます。

理事前事後李修の時間は1単位料目は時間、2単位料目は時間が19でで、記事が現今を参加が10分の方で、記事が異々を修り、20分の方で、記事が異なる。 1 カイダンス 関数の目の、学習の進か方を確認します。学校現場の教育課題の問題に 前にシラバスを読み、お育課題に対します。学校教育の新しい流れ 確 主に学習指導要領の能別について概数し、例題に取り組んで知識を深め 学習指導要領の能別について成数し、例題に取り組んで知識を深め 学習指導要領の能別について成数し、例題に取り組んで知識を深め 学習指導要領の能別を読んで、キーカードについてまとめる。(44時 3 成2) 「企業生徒の実際 児童生徒の実際、児童生徒を実施を深めます。 1 収集生徒の実際 児童生徒の実際 児童生徒の実際 児童生徒の実際 児童生徒の実際 児童生徒の実際 児童生徒の実際 児童生徒を演習を表現のます。 1 投票の目体的な指導の具体を演習します。 1 投票の目的なおりに対し、児童生徒を選が表現のます。 1 投票の目的な指導の具体を演習します。 1 投票の目的なおりに別望を通して関係を深めます。 1 投票の目的な指導、現場的な指導の直接を定し、学習形態についての深め、特にグループ デ部形態のそれぞれのねらいと自分の保験を示して機能の基本 2 投票の目体的な指導を変した。 1 投票 2 内のによりと自分の保験を示して機能の基本を認して関係を通します。 2 学認邦値の基本 2 学校できる具体的な 4 規則の表情が定義の異体を検討し、実際の指導を検討して関係を認めます。 2 学認邦値の基本 2 学校できる場合のには、1 投票を検診と 5 投票 2 のには、1 投票を表します。 2 学認邦値の基本 2 学校できる場合のには、1 投票を表します。 2 学は、1 投票を表します。 3 は、1 対策を表します。 4 ときをままが、1 対策を表します。 3 は、1 対策を表します。 3 は、1 対策を表します。 4 ときをままをままり。 4 ときをままり。 4 ときをままり。 4 ときをままり。 4 ときをままり。 4 ときをままりを表します。 4 ときをまます。 4 ときを	_	caco crea y .			\
1 ガイダンス 授業の目的、学習の進め方を確認します。学校現場の教育課題の問題に 宗前にシラバスを読み、教育課題 について発達をする。(44時間) 現在の目分の力、患頭を認識します。 学習指導要領の新しい流れ 確 主て学習指導要領の前文について概観し、例題に取り組んで知識を深め					
学校教育の新しい流れ 確 また学習指導要領の総則について概觀し、例題に取り組んで知識を深め			授業の目的、学習の進め方を確認しま	・ ます。学校現場の教育課題の問題に	事前にシラバスを読み、教育課題
### 1	2	学校教育の新しい流れ 確 認(1)		親し、例題に取り組んで知識を深め	学習指導要領の前文を読んで、キーワードについてまとめる。(4時間)
□	3	学校教育の新しい流れ 確 認(2)		見し、例題に取り組んで知識を深め	学習指導要領の総則を読んで、キーワードについてまとめる。(4時間)
授業改善 提売して受験を受験を受験を受験します。 に整理し、「よい授業」を構想する。 (4時間) 「投業の具体的な場面を想定し、学習形態についての深め、特にグループ 学習形態のそれぞれのねらいをまえめ、力からなかった点を復習する。 (4時間) 教科機断的な指導のねらいと演習を通して理解を深めます。 教科機断的な指導のねらいと演習を通して理解を深めます。 教科機断的な指導のねらいと自分の体験をもとにその指導効果を検討し 教科機断的な指導の認識と工夫を まとめる。 (4時間) 教科機断的な指導のおらいと自分の体験を見上に、具体的な 「作問と評	4	児童生徒の実態	児童生徒の実態を調査データをもとは 立てについて検討し、児童生徒理解を	こ考察し、学校でできる具体的な手 を深めます。	出し具体的な改善策を考える。
2	5	授業改善			に整理し、「よい授業」を構想す
大学科博師的1974日華 具体的な指導場面を想定しながら、理解を深めます。 まとめる。(4時間) まとめる。(4時間) まとめる。(4時間) まとめる。(4時間) 要望評価の基本	6	学習形態	授業の具体的な場面を想定し、学習用活動のねらいと演習を通して理解を別	彡態についての深め、特にグループ 深めます。	とめ、わ <u>か</u> らなかった点を復習す
□ 季音評価の参学 □ □ 「 □ 「 □ 「 □ 「 □ 「 □ 「 □ 「 □ □ □ □ □	7	教科横断的な指導	教科横断的な指導のねらいと自分のを 、具体的な指導場面を想定しながら、	体験をもとにその指導効果を検討し 理解を深めます。	
10 体験活動と言語表現	8	学習評価の基本			
10 体験活動と言語表現	9	学級担任と学級経営		ト的な姿勢を確認し、「児童生徒と	
11 模擬授業 授業構想(しくみ)の基本を理解し、模擬授業の教材研究をします。	10	体験活動と言語表現	学校行事や授業等での体験活動を通し 言葉で表現する教育的ねらいについて	して受け止めた心の動きを分析し、 C理解を深め、演習します。	現し、校正をして復習する。
13 場面指導	11	模擬授業	授業構想(しくみ)の基本を理解し、	模擬授業の教材研究をします。	ておき、例題でわからなかった点
13 場面指導	12	模擬授業	模擬授業と意見交換をして、授業改善	喜の具体的な課題を追究します。	
15 理論のまとめ	13	場面指導			
15 理論のまとめ	14	場面指導	主に義務教育の生活場面を想定し、児践を通して理解を深めます。	見童生徒や保護者への関わり方を実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
必要に応じて資料を配付します。 受講態度:50% レポート:50% 受講態度は、課題への取り組み姿勢で評価する。レポートは毎時間提出するものと、まとめとして提出するもののと解析があり、それぞれに評価し、その合計点によって評価します。 S:課題を高度に分析し、多様な視点からさらに追究を深めようとする。A:課題を分析的にとらえ、創意を生かした考えをまとめることができる。B:課題を的確に理解し、他者の意見との差異を意識して考えをまとめることができる。C:課題を理解し、自分の考えを自分の言葉で表現できる。とができる。C:課題を理解し、自分の考えを自分の言葉で表現できるができる。C:課題を理解し、自分の考えを自分の言葉で表現できるとめることができる。C:課題を理解し、自分の考えを自分の言葉で表現できるとめることができる。C:課題を理解し、自分の考えを自分の言葉で表現できるとの表現を表現します。 参考書 を表現しています。 を表現していまする。 を表	15	理論のまとめ		こついて、これまでの学習に基づい	いて復習し、レポートを完成させ
受講態度は、課題への取り組み姿勢で評価する。レポートは毎時間提出するものと、まとめとして提出するものの2種類があり、それぞれに評価し、その合計点によって評価します。 S: 課題を高度に分析し、多様な視点からさらに追究を深めようとする。A: 課題を分析的にとらえ、創意を生かした考えをまとめることができる。B: 課題を的確に理解し、他者の意見との差異を意識して考えをまとめることができる。C: 課題を理解し、自分の考えを自分の言葉で表現できる。を考書 数員養成セミナー(時事通信社)、教職課程(共同出版)などの教員採用に関する月刊誌も読んでいくと、受講する上で大変参考になります。	テ=	トスト		成績評価の方法・基準	
教員養成セミナー(時事通信社)、教職課程(共同出版)などの教員採用に 教員として必要な基礎的知識や技能を身につけるため、レポートに数多く取り 関する月刊誌も読んでいくと、受講する上で大変参考になります。 組みます。内容が幅広いので、授業以外の時間も継続的に学習を進めていくこ	ļ	≫要に応じて資料を配付します。		受講態度は、課題への取り組み姿勢で記のと、まとめとして提出するものの2種点によって評価します。5:課題を高度点にある。6:課題を分析的にとができる。6:課題を的確に理解し、とができる。6:課題を的確に理解し、	類があり、それぞれに評価し、その合計 に分析し、多様な視点いらさらに追究を らえ、創意を生かした考えをまとめるこ 他者の意見との差異を意識して考えをま
	教	ェー 員養成セミナー(時事通信社)、	教職課程(共同出版)などの教員採用に	教員として必要な基礎的知識や技能を身 組みます。内容が幅広いので、授業以外	まにつけるため、レポートに数多く取り トの時間も継続的に学習を進めていくこ

科目名	介護等体験入門 (総経・人間)				学年学	期	3年前期	単位数	1	ナンパ・リンク・		研究室	A-11
担当者	内藤 千尋・尻無浜 博幸				必修選	戥択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、水曜日4限		
関連資格	中一(社会)、中一(保体)、中一(保健)							履修条件	教職課程履修者				
ディプロ	ディプロマポリシーとの関連性 カリキュラムポリシーとの関連性							履修対象入学年度(読替科目)					
			Α	В	С								

本授業は、介護等体験(社会福祉施設5日間及び特別支援学校2日間)の事前指導として開講しています。したがって、介護等体験の意義・目的を理解し、介護等体験を行うにあたって必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付けることを目的とします。 介護等体験を行う社会福祉施設や特別支援学校の法的根拠や実態、最近の動向等に関する基礎的知識をもって実習に対処できるように進めます。

学修到達目標

- 1.介護等体験の意義・目的を十分に理解し、介護等体験を行う学校・社会福祉施設に関する基本的な知識を身につける。 2.介護等体験を行うにあたっての基本的な知識、技能、態度を身につける。 3.介護等体験の日々の記録の取り方を理解し、自己の目標がどの程度達成されたか検証する態度を身につける。

介護等体験の準備科目として、授業は介護等体験に向けた準備を具体的に展開します。教室での講義を主として、必要に応じて特別支援 学校や福祉現場の方から直接に話を伺う機会を設けます。

授訓	業計画(各回のテーマ等)	事前事後学修の時間は1単位科目は1時	記載以外にも適宜課されます。					
回	テーマ	内容		事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方及び介護等体験の意義と	シラバスを事前に読んでおく (1時間)					
2	特別支援学校1	特別支援学校の概要について説明しま	HPで長野県内の特別支援学校について調べる(3時間)					
3	特別支援学校2	特別支援学校での介護等体験の内容と	第2回授業の復習、希望した地域 の特別支援学校のHPを調べる (4時間)					
4	社会福祉施設1	社会福祉施設の制度について説明しま	第3回授業の復習、社会福祉施設 の制度について調べる(4時間)					
5	社会福祉施設2	社会福祉施設での介護等体験について	第4回授業の復習、第1回授業で配 布された「介護等体験記録」の内 容を確認する(4時間)					
6	社会福祉施設3	社会福祉施設での介護等体験(アンケ ついて説明します。	第5回授業の復習、希望する地域 の社会福祉施設のHPを調べる (4時間)					
7	社会福祉施設4	社会福祉施設での介護等体験についてします。	第6回授業の復習(1時間)					
8	まとめ	これまでの授業の総括		これまでの授業の復習、介護等体 験に臨むための準備(3時間)				
テ=	キスト		成績評価の方法・基準					
	冨祉実習に行くあなたのための湾 ISBN:4-7501-0333-0 (生協で開		課題:50% 受講態度:50% 受講態度(出席・意欲・理解度)と課題(各種提出物含む)を総合して評価します。S:授業内外の課題に積極的かつ自発的に取り組み、介護等体験に必要な知識、技能、態度を十分に身につけ、明確な自己課題を持てた。A:授業内の課題に積極的に取り組み、介護等体験に必要な知識、技能、態度を身につけ、自己課題を持てた。B:授業内の課題を通して、介護等体験に必要な知識、技能、態度を身につけ、自己課題を考えた。C:授業内の課題を通して、介護等体験に必要な知識、技能、態度を理解した。					
参	書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)					
Γ;	教師をめざす人の介護等体験ハン 社会福祉六法 平成30年度版」(フィリア」(ジ アース教育新社	/ドブック 」(大修館書店) 〔新日本法規) t)	介護等体験ではいかに事前準備をして臨むかが学びの深さ、広さを決定します。授業内の準備には制約がありますので、自発的に準備を行い、自己課題を明確にもって体験に臨み、自己課題の解決に繋げてください。					